

I 日本代表関連事業

1 日本代表

①キリンカップサッカー2006

第1戦

期 日：5月9日（火） 19:24 キックオフ
会 場：大阪／大阪長居スタジアム
対 戦：日本代表 1-2（0-1）ブルガリア代表
入場者数：44,851人

キリンカップサッカー2006は、日本代表にとってワールドカップ本大会に向けての国内最後の大会として、ブルガリア代表、スコットランド代表を招き、大阪、神戸、埼玉の3会場で行われた。

第1戦の日本代表対ブルガリア代表は、大阪長居スタジアムで行われた。当日は満員となり、大会への注目度の高さを表した。

2月のフィンランド戦から実施しているビッグブルーフラッグに加え、大会スポンサー各社のプロモーション活動も盛んに行われ、それぞれ来場者に好評を博した。また、初めての試みとして、大阪府在住の小学生から選ばれたキッズコーラス隊による君が代斉唱が行われ、こちらも大変好評であった。

運営面は(社)大阪府サッカー協会の皆様のご協力により滞りなく行われた。

第2戦

期 日：5月11日（木） 19:15 キックオフ
会 場：兵庫／神戸ウイングスタジアム
対 戦：ブルガリア代表 1-5（1-2）スコットランド代表
入場者数：5,780人

続く第2戦のブルガリア代表対スコットランド代表は、神戸ウイングスタジアムで行われた。

試合が平日開催であったこと、外国チーム同士の試合であったことも影響して、来場者の出足が悪く、最終的な来場者数は6,000人程度にとどまった。外国同士の試合において、いかに集客を図るかという課題を残した。しかしながら、熱狂的なスコットランドサポーターも多数来日し、また、試合ではスコットランド代表の鮮やかな攻撃が展開され、会場は大いに盛り上がった。

運営面では、(社)兵庫県サッカー協会の方々のご協力により滞りなく行われた。

第3戦

期 日：5月13日（土） 19:23 キックオフ
会 場：埼玉／埼玉スタジアム2002
対 戦：日本代表 0-0 スコットランド代表
入場者数：58,648人

キリンカップ最終戦、日本代表対スコットランド代表は、埼玉スタジアムで行われた。当日は小雨が舞う、5月としては少し肌寒い天気であった。チケットは早々に完売し、スタジアムは満員となった。

今回、試験的試みとして、駐車券、弁当、プログラム付きのプレミアムシート(15,000円)を販売したが、用意した約200席は早々に完売し、今後の展開の可能性を示唆した。

この日は試合に先立ち、デザイナーの山本寛斎氏による日本代表壮行イベント『勝つぞ

っ』が行われた。世界最大級の熱気球とバルーンを用い、200名を超える子供たちがピッチ上を駆け回るなど、壮大なスケールのパフォーマンスがピッチ上で展開され、ドイツに向かう日本代表にエールを送った。

試合は0-0の引き分けに終わり、結果、スコットランド代表がキリンカップ優勝の栄誉を勝ち取った。

上記の壮行イベントがあった関係もあり運営面が心配されたが、(財)埼玉県サッカー協会の皆様のご尽力もあり、大きな問題もなく終えることができた。

②2006 F I F Aワールドカップドイツ大会 直前合宿

| | |
|------|--|
| 遠征期間 | 5月17日(水)～6月8日(木) |
| 試 合 | 5月30日(火) 20:30K0 Bay Arena/Leverkusen 日本代表 2-2(0-0) ドイツ代表 |
| | 6月4日(日) 15:00K0 LTU Arena/Dusseldorf 日本代表 1-0(1-0) マルタ代表 |
| | 入場者数: 10,802人 |

ワールドカップドイツ本大会前最後の強化試合をデュッセルドルフにて実施した。

現地日本人学校14校から子女1,609名を無料招待し、日曜日午後ということもあり現地在留邦人を中心に10,000人を越える来場者だった。また日本人学校の子女には試合前のセレモニー、フラッグベアラーなどに協力頂いた。

試合運営、チケット販売についてはLTU アレナをホームスタジアムとする地元クラブのFortuna Dusseldorfに委託して行った結果、日本で行う国際試合と同レベルのオペレーションを実施することが出来た。また物販については、現地で書店を運営するOCSが2店舗出店して日本代表グッズの販売を執り行なった。

本年2月のボスニア・ヘルツェゴビナ戦に続く国外のJFA主催試合であったが、現地在住者の協力により日本で行う試合と同様の運営が行うことが出来、JFAとしてノウハウの蓄積となった。

③2006 F I F Aワールドカップドイツ大会

| | |
|-------|---|
| 期間・会場 | 6月9日～7月9日・ドイツ |
| 参 加 国 | グループA: ドイツ、コスタリカ、ポーランド、エクアドル グループB: イングランド、パラグアイ、トリニダード・トバゴ、スウェーデン グループC: アルゼンチン、コートジボワール、セルビア・モンテネグロ、オランダ グループD: メキシコ、イラン、アンゴラ、ポルトガル グループE: イタリア、ガーナ、アメリカ、チェコ グループF: ブラジル、クロアチア、オーストラリア、日本 グループG: フランス、スイス、韓国、トーゴ グループH: スペイン、ウクライナ、チュニジア、サウジアラビア |
| 成 績 | 1位 イタリア、2位 フランス、3位 ドイツ、4位 ポルトガル |

日本はグループステージ敗退

| | |
|-------------|---|
| グループステージ第1戦 | 6月12日(月) 15:00K0 Fritz Walter Stadion/Kaiserslautern 日本代表 1-3(1-0) オーストラリア代表 |
| グループステージ第2戦 | 6月18日(日) 15:00K0 Franken Stadion/Nuremberg 日本代表 0-0 クロアチア代表 |
| グループステージ第3戦 | 6月22日(木) 21:00K0 FIFA World Cup Stadium/Dortmund 日本代表 1-4(1-1) ブラジル代表 |

3大会連続の本大会出場となった2006 F I F Aワールドカップドイツ2007へ臨んだジーコ監督率いる日本代表は、残念ながらグループリーグ突破を果たすことができなかった。第1戦はオーストラリアに対し、先制点を挙げながらも、終盤に失点を重ね敗戦。第2戦のクロアチア戦は互いに決定力を欠き、無得点の引き分け。僅かながらもグループリーグ突破の可能性を残してブラジルと第3戦を戦い、第1戦と同じく、先制点を挙げたものの、逆転され、1分2敗のグループ4位で大会を終えた。

④A F Cアジアカップ予選(ホーム)

期 日：8月16日(水) 19:20 キックオフ
会 場：新潟／新潟スタジアム ビッグスワン
対 戦：日本代表 2-0 (0-0) イエメン代表
入場者数：40,913人

2007年7月に開催される「AFCアジアカップ2007」の予選大会を新潟にて開催した。オシム監督率いる新生日本代表の初の公式戦、また、夏休み中ということもあり40,913人の大観衆がスタジアムに詰めかけた。当日は、気温30.3度、湿度75%という厳しい猛暑の中での試合となった。

招集日前日のメンバー発表というスケジュールであったが、試合は阿部・佐藤寿の得点により2対0で勝ち、勝ち点3を獲得した。また、ファンサービスの新しい試みとしてフェイスペインティング(914名参加)やオリジナル扇子(43,000個)の配布等を実施したが好評を博した。試合運営に関しても(社)新潟県サッカー協会の多大な協力を頂き無事に行われた。

⑤A F Cアジアカップ予選(アウェイ)

遠征期間 8月31日(木)～9月3日(日) サウジアラビア
試 合 9月3日(日) 20:30K0 Prince Abdullah Al Faisal Stadium, Jeddah
日本代表 0-1 (0-0) サウジアラビア代表

⑥A F Cアジアカップ予選(アウェイ)

遠征期間 9月4日(月)～7日(木) イエメン
試 合 9月6日(水) 15:20K0 Al-Mohsen Al-Muraisi Stadium, Sana'a.
日本代表 1-0 (0-0) イエメン代表

当初、2006年3月1日に開催予定のサウジアラビア戦(アウェイ)がAFCの決定により、9月3日に変更となったため、中東における中2日のアウェイ2連戦という厳しい日程となった。

日本と同じくFIFAワールドカップドイツ大会に出場したサウジアラビアの堅守を崩せず、0対1で敗れた。

続くイエメン戦は標高2300mの高地で、荒れたピッチコンディションにも係わらず終了間際の我那覇のゴールにより勝利を収めた。

⑦A F Cアジアカップ予選(アウェイ)

遠征期間 10月8日(日)～12日(木) インド
試 合 10月11日(水) 17:40K0 Sree Kanterava Stadium, Bangalore
日本代表 3-0 (2-0) インド代表

FIFAワールドカップドイツ大会アジア1次予選に続いてのインドでの試合となった。攻守に安定した日本代表が播戸の2ゴールの活躍もあり、危なげなく勝利を収め、2007年7月に東南アジアの4ヶ国で開催されるAFCアジアカップの出場権を獲得した。

⑧ AFC アジアカップ予選(ホーム)

期 日：11月15日(水) 19:10 キックオフ
会 場：北海道／札幌ドーム
対 戦：日本代表 3-1(2-1) サウジアラビア代表
入場者数：40,965人

即ち AFC アジアカップ 2007 本大会への出場権を獲得している日本代表は11月15日、札幌ドームでサウジアラビア代表と予選大会最終戦を戦った。

対戦相手のサウジアラビアは、日本とともに AFC アジアカップ 過去3回の優勝を誇る中東の強豪国である。本大会出場権を獲得しているにも関わらず、11月10日(金)に来日。この試合に対する意気込みを強く感じた。

試合数日前には雪が降り当日の天候が危ぶまれたが、試合日は穏やかな天気恵まれた。

北海道で国際Aマッチが行われたのは、2001年7月1日のパラグアイ代表戦以来。チケットは、ほぼ完売し、札幌ドームには40,965人ものファンが詰めかけた。

来場者サービスでは、JFA オリジナルカイロ、ビニール製の巾着袋を配布。いずれも来場者に好評と(財)北海道サッカー協会より報告を受けた。

運営全般については、(財)北海道サッカー協会、札幌ドーム、地元のJクラブおよびスタッフのご尽力もあり、特に大きな問題もなく無事終えることが出来た。

今後も、日本代表が最高のパフォーマンスを発揮できるよう準備を進めていきたい。

⑨ キリンチャレンジカップ 2006

期 日：8月9日(水) 19:20 キックオフ
会 場：東京都／国立競技場
対 戦：日本代表 2-0(2-0) トリニダード・トバゴ代表
入場者数：47,482人

新生日本代表にとって、初の国際親善試合となった本大会、「KIRIN WORLD CHALLENGE キリンチャレンジカップ 2006」が東京の国立競技場で開催された。

当日、台風の影響も心配されたが、無事開催することができた。チケットは早々に完売し、オシム監督初戦試合の関心の高さを表した。

今回、来場者配布物に扇子、コンコースにはフェイスペインティング、会場ではBGMを流したが、いずれも来場者に好評を博した。

試合は三都主の2ゴールでトリニダード・トバゴ代表に快勝、青く染まった満員の国立競技場のスタンドが大きく沸いた。

運営全般については、(財)東京都サッカー協会、スタジアム、地元のスタッフのご尽力もあり、特に大きな問題もなく無事終えることが出来た。

⑩ キリンチャレンジカップ 2006

期 日：10月4日(水) 19:20K0
会 場：神奈川県／横浜国際総合競技場(日産スタジアム)
対 戦：日本代表 0-1(0-0) ガーナ代表
入場者数：52,437人

⑪ 強化合宿

2007年2月15日(木)～19日(日)、千葉県にてトレーニングキャンプを行った。

⑫ キリンチャレンジカップ 2007

期 日：2007年3月24日(土) 19:32 キックオフ
会 場：神奈川県／横浜国際総合競技場(日産スタジアム)
対 戦：日本代表 2-0(1-0) ペルー代表

入場者数：60,400人

2007年日本代表の初戦は、横浜国際総合競技場(日産スタジアム)にペルー代表を招き開催された。試合当日午後から小雨が降ったり止んだりしていたが、試合の後半には雨も止んだ。

集客については、オシム監督就任後に初招集された海外で活躍する中村(俊)選手、高原選手が加わったこともあり、チケットは完売し、60,400人のファンが詰めかけた。試合は、前半に巻選手、後半には高原選手が、いずれも中村(俊)選手のFKによるアシストで2点奪い2-0でペルーに快勝した。なお、この試合でGK川口選手は日本代表史上2人目の通算100試合出場を達成した。

来場者サービスでは、場外フットボールパークにて「目指せクラッキ！」を初めて実施。JFAアンバサダーである城、武田、小島、相馬の4氏に参加して頂いたこともあり、非常に盛り上がり盛況だった。また、来場者全員にはJFAオリジナルクリアファイルを配布。来場者に好評を博した。

運営全般については、(社)神奈川県サッカー協会、スタジアム、地元のスタッフのご尽力もあり、特に大きな問題もなく無事終わることが出来た。

2 U-22 日本選抜

①U-22 日本選抜 カタール国際トーナメント

期間・会場 2007年1月21日～1月31日・カタール/ドーハ

参加国 日本、カタール、南アフリカ、UAE、バーレーン、エジプト、ベラルーシ
グループリーグ

| | | | |
|-----|----------|-----------|-------------------|
| 第1戦 | 1月21日(日) | 17:30 KO | Qatar Sports Club |
| | U-22日本選抜 | 0-1 (0-1) | U-22南アフリカ |
| 第2戦 | 1月18日(木) | 17:30 KO | Qatar Sports Club |
| | U-22日本選抜 | 0-0 | U-22カタール |
| 第3戦 | 1月20日(土) | 16:45 KO | Arabi Sports Club |
| | U-22日本選抜 | 1-0 (0-0) | U-22 UAE |

U-22 日本選抜は勝点、得失点差で南アフリカと並んだが、総得点差で(1点差)準決勝進出ならず。

3 U-21 (北京オリンピック 2008) 日本代表

①強化合宿

7月31日(月)～8月3日(水)、千葉県習志野市にてトレーニングキャンプを行った。

②強化合宿

9月19日(火)～20日(水)、大阪にてトレーニングキャンプを行った。

③強化合宿

10月17日(火)～18日(水)、埼玉県さいたま市にてトレーニングキャンプを行った。

④日中韓3ヶ国対抗戦

第1戦 (アウェイ)

期 日：8月7日(月) 18:00KO

会 場：Quinhangdao Olympic Stadium/China, Quinhangdao

対 戦：U-21日本代表 2-0 (0-0) U-21中国代表

第2戦 (ホーム)

期 日：10月25日(水) 19:05キックオフ

会 場：東京都／国立競技場
対 戦：U-21 日本代表 2－0（1－0）U-21 中国代表
入場者数：21,190 人

日中韓サッカーU-21 代表交流戦は、2008 年北京オリンピックを目指したU-21 世代の強化、及び次世代を担う日本、中国、韓国の若者がサッカーを通じて交流を図ることを目的に開催された。若者の交流については「日中韓文化交流フォーラム」（日本側代表：平山郁夫氏）協力のもと、監督・選手を交えて交流会を開催する運びとなった。

前々日から降り続いた雨も止み、当日の国立競技場は最高気温 21℃の快晴に見舞われた。当日券も約 4000 枚が売れ、最終的には 21,190 人の観客が集った。U-21 中国代表を迎えて開催された親善試合は、17 分に梶山が、82 分に平山が得点を決め、8 月 7 日に中国・秦皇島オリンピックスタジアムで開催された第 1 戦に続き 2－0 で勝利をおさめた。

また、試合球のプレゼントや日中韓の特産品を詰めた三カ国弁当の販売等のファンサービスが好評を博した。試合運営に関しても（財）東京都サッカー協会の多大な協力を頂き無事に行われた。

第 3 戦（ホーム）

期 日：11 月 21 日（火） 19:20 キックオフ
会 場：東京都／国立競技場
対 戦：U-21 日本代表 1－1（0－1）U-21 韓国代表
入場者数：22,150 人

日中韓サッカーU-21 代表交流戦は、2008 年北京オリンピックを目指したU-21 世代の強化、及び次世代を担う日本、韓国、中国の若者がサッカーを通じて交流を図ることを目的に開催された。若者の交流については「日中韓文化交流フォーラム」（日本側代表：平山郁夫氏）協力のもと、監督・選手を交えて交流会を開催する運びとなり成功裏に終わった。

当日は最高気温 15.3℃の中、22,150 人の観客が集った国立競技場にてU-21 韓国代表を迎えて開催された親善試合は、前半ロスタイムに先制を許したものの、後半に入ると盛り返し、64 分に上田の左クロスが相手のオウンゴールにつながり、11 月 14 日に韓国・昌原で開催された第 1 戦に続き 1－1 で強豪韓国に引き分けた。

また、10 月 25 日に行われたU-21 中国代表戦に引き続き、試合球のプレゼントや日中韓の特産品を詰めた三カ国弁当の販売等のファンサービスが好評を博した。試合運営に関しても（財）東京都サッカー協会の多大な協力を頂き無事に終えることができた。

第 4 戦（アウェイ）

期 日：11月14日(火) 20:00KO
会 場：韓国・昌原
対 戦：U-21日本代表 1－1（0－1）U-21韓国代表

⑤第 15 回アジア競技大会（2006／ドーハ）

期間・会場 11 月 28 日（火）-12 月 15 日（金） カタール・ドーハ
参 加 国 グループ A：ウズベキスタン、カタール、UAE、ヨルダン
グループ B：韓国、バーレーン、ベトナム、バングラディシュ
グループ C：タイ、クウェート、キルギスタン、パレスチナ
グループ D：イラン、香港、インドネシア、モルジブ
グループ E：中国、イラク、オマーン、マレーシア
グループ F：朝鮮民主主義人民共和国、日本、シリア、パキスタン
最 終 成 績 優勝：カタール、準優勝：イラク、3 位：イラン、4 位：韓国
予選グループ第 1 戦 11月29日(水) 17:15KO Qatar Sports Club Stadium

U-21日本代表 3-2(2-0) U-23パキスタン代表
 予選グループ第2戦 12月3日(火) 17:15K0 Qatar Sports Club Stadium
 U-23シリア代表 0-1(0-0) U-21日本代表
 予選グループ第3戦 12月2日(木) 17:15K0 Qatar Sports Club Stadium
 U-21日本代表 1-2(1-1) U-23朝鮮民主主義人民共和国代表

各グループ1位及び2位のうち上位2チームが決勝トーナメント進出。
 日本は2勝1敗でグループ2位、他グループ2位との勝ち点差によりグループリーグ敗退。

日本は第15回アジア競技大会にU-21代表で出場し、上位進出を目指すと同時に2007年に行なわれる北京五輪予選へ向けた強化と位置付け大会に臨んだ。

第1戦、第2戦と連勝した日本は決勝トーナメント進出をかけて朝鮮民主主義人民共和国と対戦したが、1-2で敗れ、グループリーグ敗退に終わった。

⑥アジア男子サッカー2008 2次予選(北京オリンピック2008 2次予選)

期 日: 2月28日(水) 19:20 K0
 会 場: 東京都/国立競技場
 対 戦: U-22日本代表 3-0(1-0) U-22香港代表
 入場者数: 11,909人

⑦北京オリンピック2008 アジア地区予選

期 日: 3月14日(水) 20:45 K0
 会 場: MBPJ Stadium
 対 戦: U-22日本代表 2-1(1-0) U-22マレーシア代表

⑧北京オリンピック2008 アジア地区予選

期 日: 3月28日(水) 19:10 K0
 会 場: 東京都/国立競技場
 対 戦: U-22日本代表 3-0(2-0) U-22シリア代表
 入場者数: 18,495人

北京五輪出場を目指すU-22日本代表は上位2チームが最終予選に進出する2次予選を3連勝でスタートし、最終予選進出をほぼ確実にした。

⑨キリンチャレンジカップ2007

期 日: 2007年2月21日(水) 19:00キックオフ
 会 場: 熊本県/熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)
 対 戦: U-22日本代表 0-0 U-22アメリカ代表
 入場者数: 14,007人

2008年の北京オリンピック出場を目指すU-22日本代表は、2月28日に行われる2次予選の初戦を控え、U-22アメリカ代表との強化試合に挑んだ。熊本でオリンピック代表が国際試合を行うのは初めてとあって、14,007人のファンが詰め掛けた。試合当日は穏やかな天候に恵まれた。

交通アクセスがあまりよくないスタジアムのため観客輸送については懸念されたが、自治体、近隣関係者等の協力によりスタジアム周辺の駐車場を確保、シャトルバスの実施により、観客輸送は滞りなく出来た。

来場者サービスでは、JFAオリジナルカイロ、ブルーカードを配布。試合直前ではスタジアムが青く染まり会場に一体感をもたらした。

運営全般については、(社)熊本県サッカー協会、スタジアム、地元のスタッフのご尽力

もあり、特に大きな問題もなく無事終わることが出来た。

今後も、質の高い運営に取り組むことができるよう主管協会、関係者とともに努めていきたい。

4 U-20 日本代表

①海外遠征（ポルトガル遠征）

| | | |
|----------|---------|--|
| 3月22日(木) | 19:30K0 | Estadio do Moura Atletico Clube MOURA |
| | | U-20日本代表 0-1(0-0) U-20ヨルダン代表 |
| 3月24日(土) | 10:30K0 | Estadio Municipal 25 de Baril-Castro Verde |
| | | U-20日本代表 2-1(0-0) U-20カーボヴェルデ代表 |
| 3月25日(日) | 14:15K0 | Complex Desportivo Fernando Mamede-BEJA |
| | | U-20日本代表 0-3(0-2) U-20ポルトガル代表 |

5 U-19 (U-20 ワールドカップ カナダ 2007) 日本代表

①海外遠征

4月24日(月)～27日(木)、中国でトレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

| | | | |
|----|----------|---------|------------------------------|
| 試合 | 4月26日(水) | 19:30K0 | Helong Sports Center Stadium |
| | | | U-19日本代表 0-2(0-1) U-19中国代表 |

②海外遠征

5月21日(日)～29日(月)、インド/バンガロールにてトレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

| | | | |
|----|----------|----------|--|
| 試合 | 5月25日(木) | 16:15 K0 | Bangalore Football Stadium |
| | | | U-19日本代表 1-0(0-0) U-19インド代表 |
| | 5月26日(金) | 16:15 K0 | Bangalore Football Stadium |
| | | | U-19日本代表 5-1(4-0) Hindustan Aeronautics Limited Club |
| | 5月28日(日) | 16:20 K0 | Bangalore Football Stadium |
| | | | U-19日本代表 1-0(0-0) U-19インド代表 |

③海外遠征

6月19日(月)～7月3日(月)、タイ/バンコックおよびオーストラリア/キャンベラに遠征し、トレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

| | | | |
|----|----------|----------|---|
| 試合 | 6月22日(木) | 17:00 K0 | Royal Thai Army Club Stadium |
| | | | U-19日本代表 3-1(1-0) U-19タイ代表 |
| | 6月24日(土) | 16:00 K0 | KASIKORN BANK CLUB |
| | | | U-19日本代表 1-1(0-1) U-19タイ代表 |
| | 6月29日(木) | 14:00 K0 | Australian Institute of Sport Track & Field |
| | | | U-19日本代表 2-3(1-1) Australian Institute of Sport |
| | 7月1日(土) | 14:00 K0 | Australian Institute of Sport Track & Field |
| | | | U-19日本代表 1-2(0-1) Australian Institute of Sport |

④海外遠征

7月31日(月)から8月6日(日)、サウジアラビア/タイフシティに遠征し、トレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

| | | | |
|----|---------|----------|--|
| 試合 | 8月3日(木) | 19:40 K0 | King Fahad Sports City Stadium Taif City |
| | | | U-19日本代表 4-2(0-0) U-19サウジアラビア代表 |
| | 8月4日(金) | 18:10 K0 | King Fahad Sports City Stadium Taif City |
| | | | U-19日本代表 1-0(0-0) U-19サウジアラビア代表 |

⑤2006 S B S カップ国際ユースサッカー

強化合宿 8月7日(月)～10日(木) 静岡
競技期間 8月12日(土) 15:00 KO 草薙陸上競技場
U-19日本代表 3-0(1-0) U-19韓国代表
8月13日(日) 15:00 KO 藤枝総合運動公園サッカー場
U-19日本代表 3-2(1-1) 静岡ユース
8月15日(火) 14:00 KO 静岡スタジアム(エコパ)
U-19日本代表 1-3(0-0) U-19メキシコ代表

⑥強化合宿

9月11日(月)～14日(木)、市原スポレクパークにてトレーニングキャンプを行った。

⑦強化合宿

10月14日(土)～18日(水)、新潟県十日町にてトレーニングキャンプを行った。

⑧A F C ユース選手権 インド 2006

期間・会場 10月29日(日)～11月12日(日) インド・バンガロール/コルカタ
参加国 グループA: 韓国、ヨルダン、キルギスタン、インド
グループB: 中国、オーストラリア、タイ、UAE
グループC: 日本、朝鮮民主主義人民共和国、IRイラン、タジキスタン
グループD: イラク、サウジアラビア、ベトナム、マレーシア
予選グループ第1戦 10月29日(日) 16:00KO Sree Kanterava Stadium
U-19日本代表 2-0(1-0) U-19朝鮮民主主義人民共和国代表
予選グループ第2戦 10月31日(火) 19:00KO Sree Kanterava Stadium
U-19日本代表 4-0(2-0) U-19タジキスタン代表
予選グループ第3戦 11月2日(木) 15:00KO Sree Kanterava Stadium
U-19日本代表 1-2(1-0) U-19イラン代表
準々決勝 11月6日(月) 16:00KO Sree Kanterava Stadium
U-19日本代表 2-1(1-0) U-19サウジアラビア代表

これにより7大会連続8度目の世界大会(2007年カナダ)への出場権獲得。

準決勝 11月9日(木) 16:00KO Salt Lake Stadium
U-19日本代表 2-2(0-1, 1-0, 1-0, 0-1) PK3-2 U-19韓国代表
決勝 11月12日(日) 20:00KO Salt Lake Stadium
U-19日本代表 1-1(1-1, 0-0, 0-0, 0-0) PK3-5
U-19朝鮮民主主義人民共和国代表

今大会上位4チーム、朝鮮民主主義人民共和国、日本、韓国、ヨルダンが来年7月の世界大会(カナダ)に出場

⑨強化合宿

2007年2月27日(火)～3月7日(水)、千葉県にてトレーニングキャンプを行った。

6 U-18 日本代表

① 第4回仙台カップ国際ユースサッカー大会

期間・会場 8月27日～9月3日・仙台
参加国 日本(日本代表)・日本(東北代表)・ブラジル・フランス

成 績 1位 U-18 ブラジル代表、2位 U-18 フランス代表
3位 U-18 日本代表、4位 U-18 東北代表

第1戦 8月31日(木) 19:00 KO ユアテックスタジアム仙台
U-18日本代表 4-5 (1-4) U-18ブラジル代表
第2戦 9月2日(土) 13:30 KO ユアテックスタジアム仙台
U-18日本代表 1-3 (0-2) U-18フランス代表
第3戦 9月3日(日) 13:30 KO ユアテックスタジアム仙台
U-18東北代表 2-1 (0-0) U-18日本代表

②Australian Youth Olympic Festival 2007

期間・会場 2007年1月16日～1月21日・オーストラリア/シドニー

参加国(男女共) 日本、オーストラリア、中国、韓国

男子U-18最終成績 優勝：U-18韓国代表、準優勝：U-18日本代表、
3位：U-18オーストラリア代表、4位：U-18中国代表

第1戦 1月17日(水) 8:15 KO Valentine Sports Park
U-18日本代表 5-0 (1-0) U-18中国代表
第2戦 1月18日(木) 19:00 KO Valentine Sports Park
U-18日本代表 3-3 (2-1) U-18オーストラリア代表
第3戦 1月20日(土) 16:45 KO Valentine Sports Park
U-18日本代表 0-1 (0-1) U-18韓国代表

7 U-17 (U-20 ワールドカップ 2009) 日本代表

①第10回国際ユースサッカーIN新潟

参加国 グループA：ハンガリー、日本、新潟県選抜

グループB：オーストラリア、韓国、アルビレックス新潟

成 績 1位 オーストラリア、2位 ハンガリー、3位 韓国

予選グループ第1戦 7月14日(金) 新津金屋運動広場

U-17日本代表 6-2 (1-1) U-16新潟県選抜

予選グループ第2戦 7月16日(日) スポアイランド聖籠

U-17日本代表 3-4 (1-2) U-17ハンガリー代表

3位決定戦 7月17日(月) 新発田市陸上競技場

U-17日本代表 0-1 (0-0) U-17韓国代表

②強化合宿

2007年2月19日(月)～24日(土)、福島県/Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

③強化合宿

2007年3月12日(月)～18日(日)、千葉県にてトレーニングキャンプを行った。

8 U-16 (U-17 ワールドカップ 韓国 2007) 日本代表

①モンテギュー国際ユースサッカー大会

期間・会場 4月12日～17日・フランス/モンテギュー

参加国 グループA：中国、イングランド、チュニジア、フランス

グループB：イタリア、ポルトガル、日本、コートジボアール

成 績 1位 フランス、2位 イタリア、3位 チュニジア、

4位 コートジボアール、5位 イングランド、6位 日本、

7位 ポルトガル、8位 中国
 予選グループ第1戦 4月12日(水) 18:00K0 St Georges de Montaigne
 U-16日本代表 3-1(1-0) U-16ポルトガル代表
 予選グループ第2戦 4月13日(木) 18:00K0 Mouilleron
 U-16日本代表 0-1(0-1) U-16コートジボアール代表
 予選グループ第3戦 4月15日(土) 15:00K0 Mouilleron
 U-16日本代表 0-1(0-1) U-16イタリア代表
 5・6位決定戦 4月17日(月) 10:30K0 Bouffere
 U-16日本代表 1-1(0-0) PK 3-4 U-16イングランド代表

②海外遠征

4月26日(水)～5月11日(木)、イラン/テヘランにてトレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

③強化合宿

5月29日(月)～6月4日(日)、滋賀県野洲市にてトレーニングキャンプを行った。

④強化合宿

6月28日(水)～7月2日(日)、埼玉県熊谷市にてトレーニングキャンプを行った。

⑤強化合宿

7月15日(土)～22日(土)、静岡県J-STEPにてトレーニングキャンプを行った。

⑥第7回豊田国際ユースサッカー大会

期間・会場 8月7日(月)-13日(日) 愛知県豊田市
 参加チーム グループA:日本、チェコ、アメリカ
 グループB:韓国、名古屋グランパスエイト・愛知県豊田市高校選抜、
 クロアチア (以上U16代表)
 成績 優勝 韓国、準優勝 日本、
 3位 名古屋グランパスエイト・愛知県豊田市高校選抜、
 4位 アメリカ、5位 チェコ、6位 クロアチア
 大会MVP 金井 貢史 (日本)
 大会MIP ユン ビッグラム (韓国)
 予選グループ第1戦 8月11日(金) 16:30 K0 豊田市運動公園球技場
 U-16日本代表 4-0(1-0) U-16チェコ代表
 予選グループ第2戦 8月12日(土) 16:30 K0 豊田市運動公園球技場
 U-16日本代表 0-0(0-0) U-16アメリカ代表
 決勝戦 8月13日(日) 17:00 K0 豊田スタジアム
 U-16日本代表 0-0(0-0) PK 5-6 U-16韓国代表

⑦北海道国際ユース大会

期間・会場 8月17日(木)-20日(日)
 参加チーム グループA:日本代表、1860ミュンヘン(ドイツ)、北海道代表
 グループB:北海道選抜、韓国・ソウル特別市、
 ブラジル・コリンチアス (以上U16代表)
 成績 優勝 ブラジル・コリンチアス、準優勝 日本代表、
 3位 1860ミュンヘン、4位 韓国・ソウル特別市、5位 北海道代表、
 6位 北海道選抜
 予選グループ第1戦 8月17日(木) 12:00 K0 厚別公園競技場
 U-16日本代表 4-0(2-0) U-16北海道代表

予選グループ第2戦 8月18日(金) 12:00 K0 厚別公園競技場
U-16 日本代表 0-0(0-0) 1860 ミュンヘンU-16 (ドイツ)

決勝戦 8月20日(日) 14:00 K0 札幌ドーム
U-16 日本代表 2-3(1-1) ブラジル・コリンチャンスU-16

⑧AFC U-17選手権 シンガポール2007

直前合宿 8月24日(木)~28日(月) 福島県/Jヴィレッジ

期間・会場 9月3日(日)~17日(日)

参加国 グループA: 韓国、日本、ネパール、シンガポール

グループB: IRイラン、イラク、タジキスタン、イエメン

グループC: 朝鮮民主主義人民共和国、ラオス、ミャンマー、
サウジアラビア

グループD: 中国、バングラデシュ、ベトナム、シリア (以上U16代表)

予選グループ第1戦 9月3日(日) 20:00K0 Jalan Besar Stadium

U-16日本代表 6-0(2-0) U-16ネパール代表

予選グループ第2戦 9月5日(火) 17:00K0 Jalan Besar Stadium

U-16日本代表 1-1(0-0) U-16シンガポール代表

予選グループ第3戦 9月7日(木) 17:00K0 Jalan Besar Stadium

U-16日本代表 3-2(1-0) U-16韓国代表

準々決勝 9月11日(月) 17:00K0 Jalan Besar Stadium

U-16日本代表 1-1(1-0, 0-1, 0-0, 0-0)PK8-7 U-16イラン代表

これにより3大会ぶり4度目の世界大会(2007年韓国)への出場権獲得。

準決勝 9月14日(木) 17:00K0 Jalan Besar Stadium

U-16日本代表 2-0(0-0) U-16シリア代表

決勝 9月17日(日) 20:00K0 Jalan Besar Stadium

U-16日本代表 4-2(0-2, 2-0, 0-0, 2-0)延長 U-16朝鮮民主主義人民共和国代表

日本は94年大会以来2度目の優勝

⑨強化合宿

12月17日(日)~22日(金)、埼玉県にてトレーニングキャンプを行った。

⑩海外遠征

期間・場所 2007年2月3日~10日・メキシコ/グアダハラ

参加国 U-17日本代表、U-17アメリカ代表、U-17カナダ代表、

U-17パラグアイ代表、メキシコ・コロンビア・ボリビア・ベネズエラ等
中南米各クラブ(クラブはU-18で編成)

全24チーム参加(6チーム×4グループ)

グループリーグ第1戦 2月3日(土) 14:00 K0 Estadio Jalisco

U-17日本代表 1-1(1-1) チーバース(メキシコ)

グループリーグ第2戦 2月4日(日) 9:00 K0 Verde Valle2

U-17日本代表 2-2(0-0) カラカス(ベネズエラ)

グループリーグ第3戦 2月4日(日) 17:15 K0 Gigantera2

U-17日本代表 3-0(1-0) サン・ルイス(メキシコ)

グループリーグ第4戦 2月5日(月) 11:00 K0 Verde Valle1

U-17日本代表 4-4(1-2) タウイチ(ボリビア)

グループリーグ第5戦 2月6日(火) 10:00 K0 Verde Valle2

| | | | |
|-------|----------|-------------------|---------------------|
| 準々決勝 | U-17日本代表 | 2-0 (2-0) | オンセ・カルダス (コロンビア) |
| | | 2月8日 (木) 12:00 KO | Club Providencia |
| 準決勝 | U-17日本代表 | 1-1 (1-0) | PK5-3 クルス・アスル(メキシコ) |
| | | 2月9日 (金) 12:30 KO | San Rafael |
| 3位決定戦 | U-17日本代表 | 0-2 (0-1) | アトラス (メキシコ) |
| | | 2月10日 (土) 10:00 | Estadio Jalisco |
| | U-17日本代表 | 0-1 (0-1) | クラブアメリカ (メキシコ) |

⑪強化合宿

2007年3月9日(金)～14日(水)、静岡県/Jステップにてトレーニングキャンプを行った。

⑫沖縄招待

2007年3月26日(月)～29日(木)、沖縄県沖縄市にてトレーニングキャンプを行い、招待大会に参加した。

グループ戦 3月28日(水) 9:00KO 沖縄県総合運動公園多目的広場
U-17日本代表 4-0 (0-0) 那覇高校

グループ戦 3月28日(水) 12:00KO 沖縄県総合運動公園多目的広場
U-17日本代表 4-0 (3-0) 具志川高校

準決勝 3月29日(木) 14:15KO Complex Desportivo Fernando Mamede-BEJA
U-17日本代表 4-0 (2-0) 西原高校

決勝 3月29日(木) 14:15KO Complex Desportivo Fernando Mamede-BEJA
U-17日本代表 3-2 (1-2) ルーテル学院高校

9 U-15 (U-17 ワールドカップ 2009) 日本代表

①フランコガッリーニ国際ユースサッカー大会

期間・会場 4月14日～17日・イタリア/ポルデノン

参加国 日本、ルーマニア、ハンガリー、ユヴェントス、
フィオレンティーナ等32チーム

成績 1位 日本、2位 ユヴェントス、3位 ラピッド・ヴィエナ、
4位 ルーマニア、5位 ハンガリー、6位 フィオレンティーナ 他

グループリーグ第1戦 4月14日(金) 15:00KO Pordenone Fontanafredda
U-15日本代表 3-0 (2-0) コネグリアーノ(イタリア)

グループリーグ第2戦 4月15日(土) 10:00KO Pordenone Fontanafredda
U-15日本代表 2-0 (1-0) ピッツバーグUSA(アメリカ)

グループリーグ第3戦 4月15日(土) 16:30KO Pordenone Fontanafredda
U-15日本代表 3-1 (2-0) レッジオ・エミリア(イタリア)

決勝トーナメント第1戦 4月16日(日) 12:00KO Pordenone Fontanafredda
U-15日本代表 3-0 (3-0) NECニヒメゲン(オランダ)

決勝トーナメント第2戦 4月16日(日) 16:30KO Pordenone Torre
U-15日本代表 1-0 (0-0) LIVゴルゲンス(イタリア)

準決勝 4月17日(月) 10:30KO Porcia Polisportivo

U-15日本代表 1-1 (1-1) PK4-3 ラピッド・ヴィエナ(オーストリア)

決勝 4月17日(月) 15:30KO Stadio Pordenone
U-15日本代表 2-0 (1-0) ユベントス(イタリア)

②強化合宿 (U-18 春季選抜サッカー大会 (前橋育英高校G))

2007年3月3日(土)～9日(金)、群馬県前橋市にてトレーニングキャンプを行い、U-18 春季選抜サッカー大会に参加した。

| | | | |
|---------|----------|-----------|--------|
| 3月7日(水) | 14:00K0 | | |
| | U-15日本代表 | 1-8 (1-4) | 帝京高校 |
| 3月8日(木) | 10:00K0 | | |
| | U-15日本代表 | 3-2 (1-1) | 作陽高校 |
| 3月8日(木) | 13:00K0 | | |
| | U-15日本代表 | 1-6 (0-5) | 前橋育英高校 |
| 3月8日(木) | 13:00K0 | | |
| | U-15日本代表 | 2-4 (2-2) | 国見高校 |

10 U-14 日本選抜

①AFC Asia Youth U-14 Festival of Football

期間・会場 2006年4月7日～11日・グアム

参加国 日本、韓国、グアム、グアムB、マカオ

| | | | |
|-----|----------|------------|-----------------|
| 第1戦 | 4月7日(金) | 17:45K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 0-0 | U-14韓国代表 |
| 第2戦 | 4月7日(金) | 19:15K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 1-0 | U-14マカオ代表 |
| 第3戦 | 4月8日(土) | 08:30K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 1-1 | U-14グアム代表(ホワイト) |
| 第4戦 | 4月8日(土) | 09:50K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 4-0 | U-14グアム代表(ブルー) |
| 第5戦 | 4月8日(土) | 17:45K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 0-0 | U-14韓国代表 |
| 第6戦 | 4月8日(土) | 19:15K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 4-0 | U-14マカオ代表 |
| 第7戦 | 4月10日(月) | 09:40K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 13-0 (6-0) | U-14グアム代表(ホワイト) |
| 第8戦 | 4月10日(月) | 17:25K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 2-0 (0-0) | U-14マカオ代表 |
| 第9戦 | 4月11日(火) | 09:20K0 | Guam GFA |
| | U-14日本選抜 | 12-0 (5-0) | U-14グアム代表(ブルー) |

11 全日本大学選抜

①海外遠征

7月29日(土)～8月7日(月)までオランダに遠征し3試合を戦った。

| | | | |
|-----|---------|-----------|--------------|
| 第1戦 | 8月1日(火) | 於/フンデロー | |
| | 全日本大学選抜 | 2-1 (1-0) | U-23フェイエノールト |
| 第2戦 | 8月2日(水) | 於/ナイメーゲン | |
| | 全日本大学選抜 | 0-1 (0-0) | U-23NEC |
| 第3戦 | 8月5日(土) | 於/フンデロー | |
| | 全日本大学選抜 | 3-2 (1-1) | U-23RKC |

②デンソーカップサッカー 第4回大学日韓定期戦

開催日時: 2007年3月25日(日)

会場: 安養総合運動場/韓国ソウル

対 戦： 3月25日(日)キックオフ14:00
全日本大学選抜 0-3 (0-2) 全韓国大学選抜
優 勝： 全韓国大学選抜
準優勝： 全日本大学選抜

第4回を迎える本大会の全日本大学選抜チームは、第21回デンソーカップチャレンジサッカー島原大会の優秀選手から22名が選考されてフランス遠征を行い、更に選考された18名が出場した。

前半開始10分後、全韓国大学選抜が先制点を挙げリードした。全日本大学はペースを整える前の19分に追加を許してしまう。後半に入っても接戦であったが韓国が72分に追加点を取り勝利を獲得した。

来年度の第5回定期戦は、2008年3月23日(日)国立競技場で対戦する。

12 なでしこジャパン(日本女子代表)

①強化合宿

4月3日(月)～8日(土)、福島県Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

②国際親善試合

期 日：5月7日(日) 13:00キックオフ
会 場：熊本/熊本県民総合運動公園(KKWING)
対 戦：なでしこジャパン 1-3 (1-1) アメリカ女子代表
入場者数：6,681人

本年7月に開催される「AFC女子アジアカップ」を控えた、なでしこジャパン(日本女子代表)の強化試合であり、「2006世界女性スポーツ会議くまもと」のプレイベントとしての位置づけで開催した。

当日は天候も悪く小雨が降る中での試合となったが、観客の出足もよく、去年7月23日開催のオーストラリア代表戦(入場者数：4,191人)を超える6,681人が集まり、なでしこジャパン(日本女子代表)への注目度の高まり、及び熊本県のサッカーへの関心の高さを感じた。

試合運営については、(社)熊本県サッカー協会の協力を頂きスムーズに行われた。

期 日：5月9日(火) 16:00キックオフ
会 場：大阪/大阪長居スタジアム
対 戦：なでしこジャパン 0-1 (0-0) アメリカ女子代表
入場者数：15,908人

7日の熊本に続いて、場所を大阪長居スタジアムに移し、なでしこジャパンとアメリカ女子代表の親善試合が再度行われた。当日は暖かく穏やかな天気にも恵まれた。

キリンカップ日本代表対ブルガリア代表の試合と同日開催であったこともあるが、熊本の来場者数を大幅に上回る15,908人の観衆を集めた。

試合運営については、キリンカップとほぼ同じ体制で対応したことで、問題もなく終えることができた。

③AFC女子選手権大会

直前合宿 7月4日(火)～9日(日) 福島/Jヴィレッジ
期間・会場 7月12日～8月1日・オーストラリア/アデレード
参加国 グループA：中国、日本、ベトナム、チャイニーズタイペイ

グループB：朝鮮民主主義人民共和国、韓国、オーストラリア、タイ、
ミャンマー

最終成績 優勝：中国、準優勝：オーストラリア、3位：朝鮮民主主義人民共和国、
4位：日本
大会得点王：永里 優季(7得点4アシスト) 他一名

予選グループ第1戦 7月19日(水) 14:30 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
なでしこジャパン(日本女子代表) 5-0(1-0) ベトナム女子代表

予選グループ第2戦 7月21日(金) 16:30 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
チャイニーズタイペイ女子代表 1-11(1-4) なでしこジャパン(日本女子代表)

予選グループ第3戦 5月24日(水) 12:00 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
中国女子代表 0-1(0-1) なでしこジャパン(日本女子代表)

準決勝第1試合 7月27日(木) 16:30 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
なでしこジャパン(日本女子代表) 0-2(0-2) オーストラリア女子代表

準決勝第2試合 7月27日(木) 19:30 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
朝鮮民主主義人民共和国女子代表 0-1(0-1) 中国女子代表

第3位決定戦 7月30日(日) 12:30 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
なでしこジャパン(日本女子代表) 2-3(0-3) 朝鮮民主主義人民共和国女子代表

決勝戦 5月27日(土) 15:30 KO ハイन्दマーシュ スタジアム
オーストラリア女子代表 2-2(前半2-0)延長0-0 PK 2-4 中国女子代表

2007年に開催されるFIFA女子ワールドカップ中国の予選を兼ねた本大会は上位3チームに与えられる出場権を懸けての戦いとなった。グループリーグで中国を破り、全勝のグループ1位で準決勝に進出したなでしこジャパンだったが、準決勝のオーストラリア、3位決定戦の朝鮮民主主義人民共和国と連敗し4位に終わったため、北中米カリブ海とのプレーオフにまわることになった。

④アジア大会壮行試合

期 日：11月19日(日) 13:00 キックオフ
会 場：千葉/フクダ電子アリーナ
対 戦：なでしこジャパン 1-0(0-0) オーストラリア女子代表
入場者数：4,093人

12月1日から開催される「第15回アジア競技大会(2006/ドーハ)」に参加するなでしこジャパン(日本女子代表)の壮行試合をオーストラリア女子代表を迎え、千葉のフクダ電子アリーナで開催した。

当日は少し肌寒く、小雨が降る天気にも関わらず、4,000人を超える観客が集まり、なでしこジャパンに対する関心の高さをうかがわせた。

フクダ電子アリーナで初の代表チーム国際試合となったが、(社)千葉県サッカー協会、フクダ電子アリーナ、地元スタッフのご尽力もあり、特に大きな問題もなく無事に終えることが出来た。

⑤海外遠征

遠征期間 11月21日(火)~25日(土) ドイツ
試 合 11月23日(木) 16:00KO ドイツ・カールスルーエ
なでしこジャパン 3-6(0-3) ドイツ女子代表

⑥第15回アジア競技大会(2006/ドーハ)

期間・会場 11月30日~12月14日・カタール/ドーハ
参 加 国 グループA：日本、中国、タイ、ヨルダン

グループB：朝鮮民主主義人民共和国、韓国、チャイニーズ・タイペイ、ベトナム

最終成績 優勝：朝鮮民主主義人民共和国、準優勝：日本、3位：中国、4位：韓国

予選グループ第1戦 11月30日(木) 17:15 KO Al-Arabi Football Stadium
なでしこジャパン(日本女子代表) 13-0(4-0) ヨルダン女子代表

予選グループ第2戦 12月4日(月) 17:15 KO Al-Gharrafa Football Stadium
タイ女子代表 0-4(0-1) なでしこジャパン(日本女子代表)

予選グループ第3戦 12月7日(木) 19:45 KO Al-Rayyan Football Stadium
中国女子代表 0-1(0-1) なでしこジャパン(日本女子代表)

準決勝第1試合 12月10日(日) 16:00 KO Qatar Sports Club Stadium
なでしこジャパン(日本女子代表) 3-1(0-0) 韓国女子代表

準決勝第2試合 12月10日(日) 19:00 KO Qatar Sports Club Stadium
朝鮮民主主義人民共和国女子代表 3-1(1-1、延長2-0、0-0) 中国女子代表

第3位決定戦 12月13日(水) 16:00 KO Qatar Sports Club Stadium
韓国女子代表 0-2(1-1) 中国女子代表

決勝戦 12月13日(水) 19:00 KO Qatar Sports Club Stadium

なでしこジャパン 0-0(前半0-0、延長0-0) PK 2-4 朝鮮民主主義人民共和国女子代表
(日本女子代表)

⑦強化合宿

2007年1月25日(木)~2月3日(土)、静岡県磐田市にてトレーニングキャンプを行った。

⑧海外遠征

期間・場所 2007年2月4日~2月16日・キプロス共和国/ニコシア、ラルナカ

対戦国 日本、ノルウェー、スウェーデン、スコットランド

第1戦 2月9日(金) 15:00 KO Makario Stadium
なでしこジャパン(日本女子代表) 1-0(1-0) ノルウェー女子代表

第2戦 2月12日(月) 15:00 KO GSZ Stadium
なでしこジャパン(日本女子代表) 2-2(2-1) スウェーデン女子代表

第3戦 2月14日(水) 12:00 KO Dasaki Stadium
なでしこジャパン(日本女子代表) 2-0(1-0) スコットランド女子代表

⑨FIFA女子ワールドカップ中国2007予選プレーオフ

第1戦(ホーム)

期 日：2007年3月10日(土) 14:03キックオフ

会 場：東京/国立競技場

対 戦：なでしこジャパン 2-0(1-0) メキシコ女子代表

入場者数：10,107人

FIFA女子ワールドカップ中国2007の出場権がかかったプレーオフ。日本は2大会連続で北中米・カリブ海地域代表、メキシコと国立競技場で戦うことになった。試合当日は穏やかな天候に恵まれた。スタンドには、10,000人を超える観客が集まり、なでしこジャパンを後押しする声援がピッチへ送られた。また、大会及びチーム紹介のリーフレットを兼ね、なでしこの花をデザインしたブルーカードを来場者全員に配布。入場時に掲げてもらった。

試合は、日本が38分澤選手のヘディングで先制。さらに70分にも宮間選手が追加点を挙げて2-0でメキシコに快勝した。

運営全般については、(財)東京都サッカー協会、スタジアム、地元のスタッフのご尽力もあり、特に大きな問題もなく無事終えることが出来た。

第2戦 (アウェイ)

期間・場所 2007年3月17日・メキシコ合衆国/トルーカ

対戦国 メキシコ女子代表

3月17日(土) 12:00 KO Nemesio Diez Statidum/トルーカ
なでしこジャパン (日本女子代表) 1-2 (1-2) メキシコ女子代表

2試合合計スコア 3-2 によりFIFA女子ワールドカップ2008中国大会に出場が決定

13 U-20 日本女子代表

①AFC U-19 女子選手権大会

期間・会場 4月1日～19日・クアラルンプール/マレーシア

参加国 グループA：韓国、朝鮮民主主義人民共和国、日本、インド

グループB：中国、マレーシア、ヨルダン、オーストラリア

最終成績 優勝 中国、準優勝 朝鮮民主主義人民共和国、3位 オーストラリア、
4位 日本

フェアプレー賞 日本

予選グループ第1戦 4月8日(土) 19:45 KO KLFAスタジアム

U-20朝鮮民主主義人民共和国女子代表 0-3 (0-1) U-20日本女子代表

予選グループ第2戦 4月10日(月) 19:45 KO KLFAスタジアム

U-20日本女子代表 2-1 (2-0) U-20韓国女子代表

予選グループ第3戦 4月12日(水) 19:45 KO MPPJスタジアム

U-20インド女子代表 0-6 (0-2) U-20日本女子代表

準決勝第1試合 4月15日(土) 17:00 KO KLFAスタジアム

U-20日本女子代表 1-1 (1-1) PK 3-5 U-20中国女子代表

準決勝第2試合 4月15日(土) 19:45 KO KLFAスタジアム

U-20オーストラリア女子代表 2-4 (1-2)

U-20朝鮮民主主義人民共和国女子代表

第3位決定戦 4月18日(火) 17:00 KO KLFAスタジアム

U-20日本女子代表 2-3 (1-1) U-20オーストラリア女子代表

決勝戦 4月18日(火) 19:45 KO KLFAスタジアム

U-20中国女子代表 1-0 (0-0) U-20朝鮮民主主義人民共和国女子代表

2006年にロシアで開催されるFIFA女子U-20ワールドカップの予選を兼ねた大会となった。日本は4位に終わり、惜しくも出場権を獲得することができなかった。

14 U-15(U-17 女子ワールドカップ 2008) 日本女子代表

①強化合宿

9月5日(火)～10日(日)、福島県Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

②強化合宿

10月25日(水)～28日(土)、静岡県にてトレーニングキャンプを行った。

③強化合宿

10月25日(水)～28日(土)、静岡県にてトレーニングキャンプを行った。

④Australian Youth Olympic Festival 2007

期間・会場 2007年1月16日～1月21日・オーストラリア/シドニー

参加国(男女共) 日本、オーストラリア、中国、韓国

女子U-16 最終成績 優勝:U-16 韓国女子代表、準優勝:U-16 オーストラリア女子代表、
3位:U-16 日本女子代表、4位:U-16 中国女子代表

| | | | |
|-----|------------|-----------|-----------------------|
| 第1戦 | 1月17日(水) | 10:45 KO | Valentine Sports Park |
| | U-16日本女子代表 | 2-4 (2-4) | U-16中国女子代表 |
| 第2戦 | 1月18日(木) | 16:30 KO | Valentine Sports Park |
| | U-16日本女子代表 | 0-1 (0-0) | U-16オーストラリア女子代表 |
| 第3戦 | 1月20日(土) | 19:15 KO | Valentine Sports Park |
| | U-16日本女子代表 | 4-4 (1-2) | U-16韓国女子代表 |

⑤強化合宿

2007年2月21日(水)~26日(月)、鹿児島県にてトレーニングキャンプを行った。

⑥AFC U-16 女子選手権大会 2007

| | | | |
|-------|--------------------------------|-----------|---------------------|
| 期間・場所 | 2007年3月2日~3月19日・マレーシア/クアラルンプール | | |
| 対戦国 | 朝鮮民主主義人民共和国、タイ、中国 | | |
| 第1戦 | 3月8日(木) | 19:30 KO | MPPJ Stadium |
| | U-16日本女子代表 | 0-1 (0-1) | U-16朝鮮民主主義人民共和国女子代表 |
| 第2戦 | 3月12日(月) | 19:30 KO | MPPJ Stadium |
| | U-16日本女子代表 | 2-1 (1-1) | U-16タイ女子代表 |
| 準決勝 | 3月14日(水) | 17:00 KO | Shah Alam Stadium |
| | U-16日本女子代表 | 3-1 (2-1) | U-16中国女子代表 |
| 決勝 | 3月17日(土) | 20:00 KO | MPPJ Stadium |
| | U-16日本女子代表 | 0-3 (0-1) | U-16朝鮮民主主義人民共和国女子代表 |

優勝:U-16朝鮮民主主義人民共和国女子代表
準優勝:U-16日本女子代表
第3位:U-16韓国女子代表

2008年にニュージーランドで開催されるFIFA女子U-17ワールドカップの予選を兼ねた大会となった(上位3チームがワールドカップ出場)。日本は準優勝で本大会出場権を獲得した。

15 全日本女子学生選抜

①第6回伊賀市長杯

| | | |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 強化合宿 | 5月1日(月)~3日(水・祝) | 三重県伊賀市 |
| 競技期間 | 5月4日(木)~6日(土) | 三重県伊賀市 |
| 予選グループ第1戦 | 全日本女子学生選抜 | 5-0 福岡J・アンクラス |
| 予選グループ第2戦 | 全日本女子学生選抜 | 9-0 三重選抜 |
| 準決勝 | 全日本女子学生選抜 | 4-0 名古屋FCレディース |
| 決勝 | 全日本女子学生選抜 | 0-0 PK4-5 伊賀FCくのー |

16 フットサル日本代表

①強化合宿

4月15日(土)~16日(日)、東京都にてトレーニングキャンプを行った。

②AFCフットサル選手権ウズベキスタン2006 壮行試合

4月27日(木)~5月5日(金・祝)、大阪府・東京都にて、トレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

期 日：5月3日(水・祝) 12:00 キックオフ
会 場：大阪／大阪市中央体育館
対 戦：フットサル日本代表 1－6(1－3) フットサルブラジル代表
入場者数：5,627人

期 日：5月5日(金・祝) 14:00 キックオフ
会 場：東京／国立代々木競技場第一体育館
対 戦：フットサル日本代表 0－3(0－1) フットサルブラジル代表
入場者数：8,749人

AFCフットサル選手権壮行試合として、今回で3回目の壮行試合を行なった。
対戦相手がブラジル代表との試合ということもあり、今回は大阪・東京ともにチケットが完
売し、ほぼ満席の状態となった。

過去2回に比べ、今回の入場者数については昨今フットサルの認知度が高まっている表れ
といえるのではないか。

大会の運営に関しては特に大きな問題もなく、無事大会が終了した。

③AFCフットサル選手権ウズベキスタン2006

5月12日(金)～15日(月)、茨城県鹿嶋市にてトレーニングキャンプを行い、ウズベキスタ
ン／タシケントにてAFCフットサル選手権ウズベキスタン2006に参加した。

期間・会場 5月21日～27日・ウズベキスタン/タシケント

参 加 国 グループA：ウズベキスタン、中国、チャイニーズ・タイペイ、マレーシア

グループB：日本、タジキスタン、香港、イラク

グループC：キルギス、オーストラリア、クウェート、レバノン

グループD：イラン、タイ、トルクメニスタン、インドネシア

成 績 優勝 日本、準優勝 ウズベキスタン、3位 イラン、4位 キルギス
大会MVP 木暮 賢一郎

予選グループ第1戦 5月21日(日) 15:00 KO ユヌサバドスポーツコンプレックス
フットサル日本代表 12－0(4－1) フットサル香港代表

予選グループ第2戦 5月22日(月) 19:30 KO ユヌサバドスポーツコンプレックス
フットサルイラク代表 0－2(0－2) フットサル日本代表

予選グループ第3戦 5月24日(水) 12:00 KO ユヌサバドスポーツコンプレックス
フットサル日本代表 11－6(6－3) フットサルタジキスタン代表

準決勝第2試合 5月26日(金) 18:00 KO ユヌサバドスポーツコンプレックス
フットサル日本代表 5－1(1－0) フットサルイラン代表

決勝戦 5月27日(土) 18:00 KO ユヌサバドスポーツコンプレックス
フットサルウズベキスタン代表 1－5(0－0) フットサル日本代表

初優勝を目指し臨んだサポ監督率いるフットサル日本代表は宿敵イランを準決勝で下
し、地元ウズベキスタンとの戦いとなった決勝は5－1でウズベキスタンを寄せ付けず、初
のアジア王者となった。

④強化合宿

8月14日(月)～16日(水)、東京都足立区にてトレーニングキャンプを行った。

⑤強化合宿

9月16日(土)～17日(日)、東京都調布市にてトレーニングキャンプを行った。

⑥強化合宿

9月30日(土)～10月1日(日)、神奈川県藤沢市にてトレーニングキャンプを行った。

⑦強化合宿

10月6日(金)～9日(月・祝)、福島県郡山市にてトレーニングキャンプ、トレーニングマッチを行った。

試合：フットサル日本代表 7-1 (1-0, 2-1, 4-0) フットサル南東北選抜
20分×3本 ランニングタイム

⑧海外遠征

期間・会場 11月16日(木)～19日(金) ポルトガル・モンテ ゴルド
参加国 日本、ポルトガル、ウクライナ、中国
第1戦 11月16日(木)
フットサル日本代表 3-4 (2-3) フットサルウクライナ代表
第2戦 11月17日(金)
フットサル日本代表 1-11 (1-8) フットサルポルトガル代表
第3戦 11月19日(日)
フットサル日本代表 3-2 (0-1) フットサル中国代表

日本は第3位

⑨強化合宿

2007年3月2日(金)～4日(日)、茨城県鹿嶋市にてトレーニングキャンプを行った。

⑩海外遠征

2007年3月8日(木)～19日(月)、ブラジルに遠征し、トレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

3月13日(火) 19:30 KO リオデジャネイロ州テレゾポリス市 PEDRAO体育館
フットサル日本代表 1-1 (0-1) フットサルリオデジャネイロ州選抜

3月14日(水) 19:30 KO リオデジャネイロ州テレゾポリス市 PEDRAO体育館
フットサル日本代表 3-4 (2-2) フットサルリオデジャネイロ州選抜

3月16日(金) 19:30 KO リオデジャネイロ州テレゾポリス市 PEDRAO体育館
フットサル日本代表 0-7 (0-4) フットサルリオデジャネイロ州選抜

17 ビーチサッカー日本代表

①強化合宿

4月14日(金)～16日(日)、沖縄県宮古島市にてトレーニングキャンプを行った。

②F I F Aビーチサッカーワールドカップ リオ・デ・ジャネイロ 2006 アジア予選

5月14日(日)～20日(土)、UAEにてトレーニングキャンプを行い、F I F Aビーチサッカーワールドカップ リオ・デ・ジャネイロ 2006 アジア予選に参加した。

期間・会場 5月22日～26日・UAE/ドバイ

参加国 グループA：UAE、バーレーン、中国
グループB：日本、フィリピン、イラン

成績 1位 バーレーン、2位 日本、3位 イラン、4位 中国、
5位 UAE・フィリピン

予選グループ第1戦 5月22日(月) 16:00KO Jumeirah Beach Park

ビーチサッカー日本代表 16-0(9-0、4-0、3-0) ビーチサッカーフィリピン代表
 予選グループ第2戦 5月23日(火) 17:00K0 Jumeirah Beach Park
 ビーチサッカー日本代表 7-3(2-0、2-1、3-2) ビーチサッカーイラン代表
 準決勝 5月25日(木) 16:00K0 Jumeirah Beach Park
 ビーチサッカー日本代表 3-2(1-0、1-2、0-0、EX1-0) ビーチサッカー中国代表
 決勝 5月26日(金) 17:00K0 Jumeirah Beach Park
 ビーチサッカー日本代表 3-5(0-3、2-2、1-0) ビーチサッカーバーレーン代表

ビーチサッカー日本代表はアジア予選を突破し、11月にブラジルで行われるFIFAビーチサッカーワールドカップ リオ・デ・ジャネイロ 2006 への出場を決めた。

③海外遠征

8月14日(月)~22日(火)、ポルトガル/ポルティマンにてトレーニングキャンプを行った。
 期間・会場 8月17日~20日・ポルトガル/ポルティマン
 成績 1位 ブラジル、2位 ポルトガル、3位 アルゼンチン
 グループリーグ 8月17日(木) 13:00K0 Portimao
 ビーチサッカー日本代表 2-5(0-0、2-4、0-1) アルゼンチン代表
 グループリーグ 8月18日(金) 14:15K0 Portimao
 ビーチサッカー日本代表 1-12(0-3、1-6、0-3) ブラジル代表
 グループリーグ 8月19日(土) 13:00K0 Portimao
 ビーチサッカー日本代表 9-5(3-0、2-0、4-5) イングランド代表

日本代表はグループリーグ敗退

④FIFAビーチサッカーワールドカップ リオ・デ・ジャネイロ 2006

直前合宿 10月25日(水)~11月1日(水) ブラジル/リオデジャネイロ
 遠征期間 10月25日(水)~11月15日(水) ブラジル/リオデジャネイロ
 競技期間 11月2日(木)~12日(日) ブラジル/リオデジャネイロ

期間・会場 11月2日(木)-12日(日) ブラジル・リオデジャネイロ
 参加国
 グループA: ブラジル、日本、USA、ポーランド
 グループB: フランス、スペイン、カナダ、イラン
 グループC: ポルトガル、ウルグアイ、ソロモン諸島、カメルーン
 グループD: アルゼンチン、バーレーン、ナイジェリア、イタリア

予選グループ第1戦 11月3日(金) 9:40K0
 ビーチサッカー日本代表 8-4(2-1, 3-1, 3-2) ビーチサッカーアメリカ代表
 予選グループ第2戦 11月5日(日) 11:00K0
 ビーチサッカー日本代表 2-10(1-5, 0-3, 1-2) ビーチサッカーブラジル代表
 予選グループ第3戦 11月7日(火) 13:40K0
 ビーチサッカー日本代表 5-8(1-1, 2-5, 2-2) ビーチサッカーポーランド代表
 1勝2敗・グループ2位で準々決勝進出
 準々決勝 11月9日(木) 9:40K0(または11:00K0)
 ビーチサッカー日本代表 2-3(0-0, 0-2, 2-1) ビーチサッカーフランス代表

日本はベストエイト

II 競技会開催（派遣）事業

1 国内競技会（主催）

1. 第86回天皇杯全日本サッカー選手権大会

開催期間 9月17日（日）～2007年1月1日（月・祝）
開催会場 東京／国立競技場 他
決勝 2007年1月1日（月・祝）東京／国立競技場
浦和レッズ 1－0（0－0）ガンバ大阪
優勝 浦和レッズ（J1）
準優勝 ガンバ大阪（J1）
第3位 鹿島アントラーズ（J1）、コンサドーレ札幌（J2）

第86回を迎えた天皇杯はJ1－18チーム、J2－13チーム、JFL－1チーム、大学－1チームの33チームのシードチームに都道府県代表47チームの合計80チームの参加により開催された。

決勝戦は今季リーグ優勝をかけた最終節と同カード、天皇杯前年度覇者でもある浦和レッズと、松下電器時代を含め16年ぶりに決勝進出を果たしたガンバ大阪の対戦で行われた。

両チーム得点を奪えないまま後半に突入。このまま延長かと思われた後半42分、小野に代わり途中出場した岡野の浮き球が相手選手に当たったところ、永井が押し込んで浦和レッズが先制。この1点を守りきり、浦和レッズが勝利を収めた。

本大会後にチームを離れるブッフバルト監督の浦和レッズにおける最後の采配は、リーグ優勝に貢献した三都主、ワシントン、闘莉王、坪井、田中などを移籍・怪我等で欠いた中での大会2連覇となった。

ガンバ大阪においても、移籍しチームを離れる宮本の最後の試合となり、終了後も多くのサポーターが声援を送っていた。

国立競技場の改修工事の結果、昨年より観客席が約5,000席程減った事も一因となり、決勝観客数は46,880人であった。（※85回大会決勝観客数：51,536人）

2. 2006 Jリーグディビジョン1（J1）

18チームによる2回戦総当りリーグ戦（ホーム&アウェイ方式）にて、全34節/306試合が行われた。

開催期間 2006年3月4日（土）～12月2日（土）

| | | | |
|----|----------------|-----|-------------|
| 順位 | 優勝 浦和レッズ | 10位 | サンフレッチェ広島 |
| | 2位 川崎フロンターレ | 11位 | ジェフユナイテッド千葉 |
| | 3位 ガンバ大阪 | 12位 | 大宮アルディージャ |
| | 4位 清水エスパルス | 13位 | FC東京 |
| | 5位 ジュビロ磐田 | 14位 | アルビレックス新潟 |
| | 6位 鹿島アントラーズ | 15位 | ヴァンフォーレ甲府 |
| | 7位 名古屋グランパスエイト | 16位 | アビスパ福岡 |
| | 8位 大分トリニータ | 17位 | セレッソ大阪 |
| | 9位 横浜F・マリノス | 18位 | 京都パープルサンガ |

3. 2006 Jリーグディビジョン2（J2）

13チームによる4回戦総当りリーグ戦（ホーム&アウェイ方式）にて、全48節/312試合が

行われた。

開催期間 2006年3月4日(土)～12月2日(土)

| | | | | |
|----|----|-------------|-----|-----------|
| 順位 | 優勝 | 横浜FC | 8位 | モンテディオ山形 |
| | 2位 | 柏レイソル | 9位 | 愛媛FC |
| | 3位 | ヴィッセル神戸 | 10位 | 水戸ホーリーホック |
| | 4位 | サガン鳥栖 | 11位 | 湘南ベルマーレ |
| | 5位 | ベガルタ仙台 | 12位 | ザスパ草津 |
| | 6位 | コンサドーレ札幌 | 13位 | 徳島ヴォルティス |
| | 7位 | 東京ヴェルディ1969 | | |

上記の結果、1位の横浜FC、2位の柏レイソルがJリーグディビジョン1に昇格した。

4. J1・J2入れ替え戦

第1戦 12月6日(水) 兵庫県/神戸ウイングスタジアム

ヴィッセル神戸 0-0 アビスパ福岡

第2戦 12月9日(土) 福岡県/博多の森球技場

アビスパ福岡 1-1 (0-0) ヴィッセル神戸

上記の結果、ヴィッセル神戸が、Jリーグディビジョン1に昇格した。

5. 2006 Jリーグヤマザキナビスコカップ

開催期間 2006年3月29日(水)～11月3日(金・祝)

予選リーグ 2006年3月29日(水)～5月21日(日)

決勝トーナメント 6月3日(土)～11月3日(金・祝)

決勝 11月3日(金・祝) 東京都/国立競技場

ジェフユナイテッド千葉 2-0 (0-0) 鹿島アントラーズ

優勝 ジェフユナイテッド千葉

準優勝 鹿島アントラーズ

第3位 川崎フロンターレ、横浜F・マリノス

6. 2006 JOMOオールスターサッカー

開催期間 7月15日(土) 茨城県/県立カシマサッカースタジアム

試合 J-EAST 4-1 (1-0) J-WEST

MVP 中澤 裕二 (J-EAST 横浜F・マリノス)

敢闘賞 パウリーニョ (J-WEST 京都パープルサンガ)

MIP 巻 誠一郎 (J-EAST ジェフユナイテッド千葉)

7. 2007ゼロックススーパーカップ

開催日 2007年2月24日(土) 東京都/国立競技場

試合 ガンバ大阪 4-0 (2-0) 浦和レッズ

8. 第8回日本フットボールリーグ

18チームによる2回戦総当たりリーグ戦(ホーム&アウェイ方式)にて、全34節/306試合が行われた。

| | | |
|------|------------------------|-------------|
| 開催期間 | 2006年3月19日(日)～12月3日(日) | |
| 順位 | 優勝 Honda FC | 10位 アルテ高崎 |
| | 2位 佐川急便東京SC | 11位 SC鳥取 |
| | 3位 佐川急便大阪SC | 12位 ジェフ・クラブ |
| | 4位 YKK AP | 13位 FC刈谷 |
| | 5位 ロッソ熊本 | 14位 FC琉球 |
| | 6位 横河武蔵野FC | 15位 佐川印刷SC |
| | 7位 栃木SC | 16位 流通経済大学 |
| | 8位 アローズ北陸 | 17位 三菱水島FC |
| | 9位 ソニー仙台FC | 18位 ホンダロック |

9. 日本フットボールリーグ、全国地域リーグ入替戦

第1戦 12月17日(日) 宮崎県／都農町藤見総合運動公園陸上競技場
ホンダロック0-4 (0-0) FC岐阜

第2戦 12月23日(土) 岐阜県／岐阜メモリアルセンター長良川球技メドウ
FC岐阜4-1 (1-0) ホンダロック

上記の結果、FC岐阜が、JFLへ昇格した。

10. 2006 J サテライトリーグ

J1 18クラブおよびJ2 13クラブを4つのグループに分け、各グループ内で2回戦総当りのリーグ戦が行われた。

開催期間 2006年3月12日(日)～11月19日(日)

11. 第42回全国社会人サッカー選手権大会

開催期間：10月13日(金)～18日(水)

開催会場：秋田／仁賀保運動公園多目的広場ほか

決勝戦：10月18日(水) 11:00 キックオフ 於 仁賀保運動公園多目的広場
V・ファーレン長崎 1-0 (0-0) 静岡FC

結果：優勝 V・ファーレン長崎 (九州／長崎)
第2位 静岡FC (東海／静岡)
第3位 FC岐阜 (東海／岐阜)
ニューウェーブ北九州 (九州／福岡)
フェアプレー賞 該当なし

全国社会人サッカー選手権大会は42回目を迎え、また本大会は第62回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会を兼ねて実施された。

今回から優勝チームは全国地域リーグ決勝大会への出場権が与えられることになり、従来に比べ参加32チームのモチベーションが高く熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は共に初優勝を狙うV・ファーレン長崎と静岡FCの対戦となった。両チームとも接戦となり前半は無得点であった。後半で僅かなチャンスを生かし先制点はV・ファーレン長崎が挙げ、見事優勝を勝ち取った。

尚、第30回全国地域リーグ決勝大会への出場権について、V・ファーレン長崎はすでに九州地域からの選出が決定しているため、準優勝の静岡FCに与えられた。

12. 第30回全国地域リーグ決勝大会

| | | |
|------|---------|--|
| 開催期間 | 1次ラウンド | 11月24日(金)～26日(日) |
| | 決勝ラウンド | 12月1日(金)～3日(日) |
| 開催会場 | 1次ラウンド | 島原市営陸上競技場(長崎県) 春野総合運動公園球技場(高知県) 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉県) |
| | 決勝ラウンド | 大分スポーツ公園総合競技場サッカー・ラグビー場(大分県) |
| 結果 | 優勝 | TDKサッカー部(東北/秋田) |
| | 準優勝 | FC岐阜(東海/岐阜) |
| | 第3位 | ファジアーノ岡山FC(中国/岡山) |
| | 第4位 | V・ファーレン長崎(九州/長崎) |
| | フェアプレー賞 | 該当なし |

全国地域リーグ決勝大会は30回目を迎え、JFL入りを狙う13チームが参加し熱戦が繰り広げられた。

1次ラウンドは長崎県、高知県、埼玉県の3会場で開催され、各グループは最終戦までもつれ込み混戦となった。決勝ラウンドも、接戦となり最終試合結果まで順位が確定できなかった。

TDKは初戦で岐阜を破り、その勢いでPK勝を含め全戦勝利し優勝を飾った。一方岐阜は、初戦は黒星スタートであったが、調子を戻しその後の2戦に勝利して準優勝を勝ち取った。

TDKサッカー部は、平成19年度JFLへ自動昇格となり、FC岐阜はホンダロック(JFL16位)との入替戦を行うこととなった。

13. 第55回全日本大学サッカー選手権大会

| | | |
|---------|---|----------|
| 開催日時 | 12月20日(水)～2007年1月14日(日) | |
| 会場 | 国立競技場他 | |
| 決勝 | 2007年1月14日(日) 於 国立競技場 キックオフ 14:00 駒澤大学 6-1 (2-0) 早稲田大学 | |
| 優勝 | 駒澤大学 | (関東2・東京) |
| 準優勝 | 早稲田大学 | (関東5・東京) |
| 第3位 | 関西大学 | (関西1・大阪) |
| | 流通経済大学 | (関東1・茨城) |
| フェアプレー賞 | 該当なし | |

前回より決勝戦を全日本大学女子選手権大会決勝と同日同会場の国立競技場で、開催された。

決勝戦は、前半から駒沢のペースで先制点は開始6分にあげ、早稲田も数度のチャンスを活かしかねず、後半早稲田大学が1点返したが駒澤大学が点を重ね、3年連続の6回目の優勝を飾った。

14. 第30回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

| | | |
|------|--|--|
| 開催日時 | 7月2日(日)～8日(土) | |
| 会場 | 長居スタジアム他 | |
| 決勝 | 7月8日(日) 於 長居スタジアム(大阪市/大阪府) 福岡大学 1-3 (0-2) 立命館大学 | |
| 優勝 | 立命館大学(関西第2代表・京都府) | |

準優勝：福岡大学（九州代表・福岡県）
第3位：中京大学（東海第2代表・愛知県）
〃 東京学芸大学（関東第5代表・東京都）
フェアプレー賞：該当なし

本大会は、地域予選を勝ち抜いた16チームが参加し熱戦を繰り広げた。
決勝戦は、双方とも初優勝をかけた関西第2代表の立命館大学と九州代表の福岡大学の対戦となった。

試合は終始立命館大学が押していた。前半2分にチャンスを得た立命館大学が先制点をあげ、続く9分にも追加点をあげた。後半に入っても立命館大学のペースとなり、福岡大学が盛り返しつつ1点をあげるも、立命館大学は89分に得点を重ねて初優勝を飾った。

昨年の関西大学に引き続き関西勢の2年連続優勝であり、関西のレベルアップが伺える。立命館大学は第86回天皇杯と第55回全日本大学選手権大会への出場権を得ることになった。

15. 第21回デンソーカップチャレンジサッカー

開催日時：2007年3月2日（金）～3月4日（日）
会場：島原市営陸上競技場他
決勝：3月4日（日）於 島原市営陸上競技場 キックオフ 12：00
 関東選抜A 2－0（1－0）九州選抜
優勝：関東選抜A
準優勝：九州選抜
第3位：関西選抜B

21回を迎える本大会は、長崎県の島原市営陸上競技場他で開催された。
決勝戦は、前半は関東Aがボールを支配していた。関東Aはスローインからボールをつなげ先制点を挙げた。後半に入ってから関東Aのペースで点を重ね、関東選抜Aが優勝した。
本大会優秀選手30名の中から22名がフランスへ遠征し、さらに18名を選出して第4回デンソーカップサッカー‘07大学日韓定期戦（3月25日（日）14：00キックオフ 於韓国ソウル／安養総合運動場）で韓国学生選抜と対戦する。

16. デンソーカップサッカー 第4回大学日韓定期戦

開催日時：2007年3月25日（日）
会場：安養総合運動場／韓国ソウル
対戦：3月25日（日）キックオフ 14：00
 全日本大学選抜 0－3（0－2）全韓国大学選抜
優勝：全韓国大学選抜
準優勝：全日本大学選抜

第4回を迎える本大会の全日本大学選抜チームは、第21回デンソーカップチャレンジサッカー島原大会の優秀選手から22名が選考されてフランス遠征を行い、更に選考された18名が出場した。

前半開始10分後、全韓国大学選抜が先制点を挙げリードした。全日本大学はペースを整える前の19分に追加を許してしまう。後半に入っても接戦であったが韓国が72分に追加点を取り勝利を獲得した。

来年度の第5回定期戦は、2008年3月23日（日）国立競技場で対戦する。

17. 高円宮杯第17回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

開催期間：9月10日(日)～10月9日(月・祝)
開催会場：埼玉県さいたま市/埼玉スタジアム2002 他首都圏近郊各地
決勝：10月9日(月・祝) 埼玉スタジアム2002
 滝川第二高校 3-0 (1-0, 2-0) 名古屋グランパスエイトU18
優勝：滝川第二高校(関西代表・兵庫県)
準優勝：名古屋グランパスエイトU18(東海地域代表・愛知県)
第3位：初芝橋本高校(関西代表・和歌山県)
 ガンバ大阪ユース(関西代表・大阪府)
フェアプレー賞：ガンバ大阪ユース
得点王：横竹 翔(サンフレッチェ広島F.Cユース)：6得点

高円宮杯第17回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会は、9地域からの20代表チームと高校総体および日本クラブユース選手権それぞれの優勝・準優勝チームを加えた合計24チームが参加し、高校生年代の日本一を決める大会として熱戦が繰り広げられた。

埼玉スタジアム2002で行われた決勝は、初めてベスト16の壁を突破して勢いに乗る名古屋グランパスエイトU18と、昨年度第3位の滝川第二高校が頂点を目指した。序盤は名古屋が押し気味に試合を進めたが、滝川第二がミドルシュートで先制した。後半に入ると、名古屋グランパスもセットプレーで好機を作ったが、反撃を凌いだ滝川第二高校が追加点を決め、3対0で本大会初優勝を遂げた(関西代表としても本大会初)。

18. adidas CUP 2006 第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

開催期間 7月28日(金)～8月5日(土)
開催会場 福島/Jヴィレッジ、神奈川/横浜市三ツ沢公園球技場
決勝 8月5日(土) 神奈川/横浜市三ツ沢公園球技場
 ガンバ大阪ユース1-0 (1-0) ヴェルディユース
優勝 ガンバ大阪ユース(大阪府)
準優勝 ヴェルディユース(東京都)
第3位 柏レイソルU-18(千葉県)、FC東京U-18(東京都)
フェアプレー賞 該当なし

日本のクラブチーム(U-18)の頂点を争う大会として今年で30回目を迎えた日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会は、これまでJヴィレッジにて集中開催してきたが、今年度の準決勝・決勝戦を三ツ沢公園球技場にて行った。決勝は、前回大会3位のガンバ大阪と同大会優勝のヴェルディユースの対決となった。前半に1点を挙げたガンバ大阪がヴェルディの攻撃を最後まで抑え、第22回大会以来2回目の優勝を果たした。

19. 第85回全国高等学校サッカー選手権大会

①都道府県大会 8月中旬～11月 各都道府県
②本大会
開催期間 12月30日(土)～2007年1月8日(月・祝)
決勝 1月8日(月・祝) 東京/国立競技場
 盛岡商業高校 2-1(0-0, 2-1) 岡山作陽高校
優勝 岩手県立盛岡商業高校(岩手県)
準優勝 岡山県作陽高校(岡山県)
第3位 千葉県立八千代高校(千葉県)

神村学園 (鹿児島県)
フェアプレー賞 該当校なし

第85回全国高等学校サッカー選手権大会決勝は、ともに本大会15回目の出場で初優勝をねらう盛岡商業高校と作陽高校の対決となった。

前半はお互いに堅い守備を崩すことができず0-0で折り返したが、後半はスピードを活かしたゴール前の攻防で3万5939人の観衆を魅了した。後半11分に作陽高校が先制したが、盛岡商業高校は後半26分に同点に追いつくと、後半40分に決勝点を挙げ、逆転で初優勝を飾り(岩手県代表としても初優勝。東北勢としては秋田商以来40年ぶり)、全国3,893校の頂点に立った。

20. 高円宮杯第18回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会

開催日時：12月10日(日)～29日(金・祝)

会場：1次ラウンド：静岡/藤枝市、大阪/高槻市、高知/春野市、佐賀/鳥栖市・佐賀市
決勝トーナメント：埼玉/熊谷市、愛知/名古屋市・豊田市、

東京/国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場・国立競技場

決勝：12月29日(金・祝)

ガンバ大阪ジュニアユース 2-1 (0-0, 1-1, 0延前0, 1延後0)

FC東京U-15 むさし

優勝：ガンバ大阪ジュニアユース (関西1/大阪)

準優勝：FC東京U-15 むさし (関東3/東京)

第3位：FC東京U-15 深川 (関東5/東京)

〃 SSSジュニアユース (北海道1/北海道)

フェアプレー賞：該当なし

得点王：宇佐美貴史・原口拓人 (ガンバ大阪ジュニアユース) 10得点

高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権は、全32チームを4チームずつ8グループに分け1次ラウンドを行い、各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する形式で行なわれた。第18回大会は、26のクラブチームと6の中学校チームが出場した。

1次ラウンドは各グループとも最終戦まで決勝トーナメントチームが決定しない均衡した戦いが行なわれ、近年、クラブチームに押され気味の中学校チームも素晴らしい戦いをみせた。

決勝戦はガンバ大阪ジュニアユースとFC東京U-15 むさしの対戦となり、天皇杯準決勝開催前に国立競技場にて行なわれた。決勝トーナメントでは各試合で大量得点を取り順調に勝ち進んできた両チームだったが、決勝戦ではなかなか得点が奪えず白熱した戦いが繰り広げられた。後半に1点ずつ取り、延長戦で得点したガンバ大阪ジュニアユースが優勝した。また、決勝点を奪ったガンバ大阪ジュニアユースの宇佐美選手が同チームの原口選手とともに大会得点王に輝いた。

本大会は全日程天候に恵まれ、また、主管7都道府県サッカー協会のご尽力のもと無事に終了した。

21. adidas CUP 2006 第21回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

開催期間 8月11日(金)～20日(日)

開催会場 福島/Jヴィレッジ

決勝 8月20日(日) 福島/Jヴィレッジ

横浜F・マリノスジュニアユース 追浜

延4-3 (1-1, 1-1, 2-1, 0-0) 清水エスパルスジュニアユース

優勝 横浜F・マリノスジュニアユース 追浜

準優勝 清水エスパルスジュニアユース
第 3 位 柏レイソルユースU-15、浦和レッドダイヤモンズジュニアユース
フェアプレー賞 浦和レッドダイヤモンズジュニアユース

日本のクラブユース(U-15)の頂点を争う大会として、今年で 21 回目を迎えたクラブユースサッカー選手権(U-15)大会。決勝戦は、準決勝で昨年度優勝の浦和レッドダイヤモンズジュニアユースを延長戦の末に破った清水エスパルスジュニアユースと、初優勝を狙う横浜 F・マリノスジュニアユース追浜の対決となった。

両チームとも攻撃力の高さを発揮し、延長戦にもつれ込む激戦となったが、最後まで粘る清水エスパルスジュニアユースを 4 対 3 で下した横浜 F・マリノスジュニアユース追浜が初の頂点に立った。

22. メニコンカップ 2006 日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)

開催日：9月10日(日)
開催会場：愛知県/名古屋市瑞穂球技場
対戦：オールイースト(東軍) 2-1 (1-1、1-0) オールウェスト(西軍)

今年 12 回を迎える本大会は、次世代のサッカー界を担う若き優秀選手を一同に集め、名実ともにハイレベルな戦いを繰り広げる大会として定着してきた。

開始早々西軍は柴原(清水エスパルス)や宇佐美(ガンバ大阪・敢闘賞受賞)を中心に攻撃するも、その攻撃の隙をついた東軍が先制点。先制点以降、東軍は MF 中田(横浜 FM 追浜)、MF 茨田(柏レイソル)、MF 小野(横浜 FM 追浜・最優秀選手賞受賞)を軸に中盤で支配し、そこからスピードを生かした攻撃を展開。2-1 で東軍が勝利をおさめた。

35 度を超える残暑の中始まった戦いは一万人を超える観客を大いに魅了し、幕を閉じた。これで大会の通算成績は東軍 7 勝、西軍 5 勝となった。

23. 全国中学校体育大会/第 37 回全国中学校サッカー大会

開催日時：8月18日(金)~23日(水) 開会式8月18日(金) 愛媛県武道館
会場：愛媛県総合運動公園陸上競技場、愛媛県総合運動公園補助競技場
愛媛県総合運動公園球技場、新居浜市営サッカー場 グリーンフィールド新居浜
決勝：8月23日(水) 愛媛県総合運動公園陸上競技場
ひたちなか市立那珂湊中学校 1-4 (0-3) 日章学園中学校
優勝：日章学園中学校(宮崎)
準優勝：ひたちなか市立那珂湊中学校(茨城)
第 3 位：宮崎日本大学中学校(宮崎)
青森山田中学校(青森)
フェアプレー賞：青森山田中学校(青森)

夏季ブロックとしては平成 9 年度以来の四国開催となった本大会、『夢求め! 四国で輝く 風となれ』をスローガンのもと夏目漱石の痛快ユーモア小説『坊ちゃん』の舞台となった愛媛県・松山市他で行われた。37 回を迎える本大会は全国中体連加盟 7000 校の頂点を目指し 32 校がしのぎを削る白熱した戦いを繰り広げることとなった。

大会で活躍したのは九州勢。宮崎県からは宮崎日本大学中・日章学園中学校が準決勝に進出、3 校がベスト 8 に進出した。四国では地元の新居浜市立雄新中学校がベスト 8 に進出するなどの活躍が目立った。

決勝は前半から早い攻めで終始リードした日章学園中学校(宮崎県)がひたちなか市立那珂湊中学校(茨城県)を 4-1 で破り、見事に優勝した。日章学園中学校は学校創立、創部 3 年目での初出場で初優勝の快挙を成し遂げた。

24. NIKE PREMIER CUP JAPAN 2006

開催日時：5月3日(水・祝)～5日(金・祝)

会場：福島県/Jヴィレッジ

決勝：5月5日(金・祝)

京都パープルサンガジュニアユース

1-3 (前1-1、後0-0延長前0-1、延長後0-1) ウェルディジュニアユース

優勝：ウェルディジュニアユース (関東第1・東京)

準優勝：京都パープルサンガジュニアユース (関西・京都)

第3位：清水エスパルスジュニアユース (東海・静岡県)

アルビレックス新潟ジュニアユース (北信越第1・新潟)

フェアプレー賞：ウェルディジュニアユース

本大会は中学1・2年生が参加できる唯一の公式戦で、1次ラウンドは3グループ12チームによるリーグ戦、決勝ラウンドは4チームによるトーナメントにて行なった。

1次ラウンドでは、クラブチームが多く参加する中、中学校チームも健闘し各ピッチで白熱した試合が繰り広げられた。また、今大会より全チームが同時刻に試合を行なえるよう6ピッチを使用して行なった。

決勝戦は京都パープルサンガジュニアユースとウェルディジュニアユースの対戦となり、両チーム1点ずつ決め、今大会初の延長戦に突入した。最終的に接戦を制したのは、1次ラウンドより大量得点を重ねて勝ち上がってきたウェルディジュニアユース。

優勝したウェルディジュニアユースは、8月にイングランドで行なわれる世界大会「マンチェスター・ユナイテッド プレミアカップ06」への出場も決定した。

3日間天候に恵まれ、主管の福島県サッカー協会のご協力のもと大会は無事終了した。

25. 第30回全日本少年サッカー大会

開催日時：8月5日(土)～12日(土)

会場：Jヴィレッジ、東京/国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場

決勝：8月12日(土) 東京/国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場

横浜F・マリノスプライマリー 1-0 (1-0) FC浦和

優勝：横浜F・マリノスプライマリー (神奈川)

準優勝：FC浦和 (埼玉)

第3位：ヴェルディジュニア (東京)

横浜F・マリノスプライマリー追浜 (神奈川第2代表)

フェアプレー賞：横浜F・マリノスプライマリー

敢闘賞：FC浦和

努力賞：ヴェルディジュニア

グッドマナー賞：横浜F・マリノスプライマリー追浜

第30回の記念大会となった本大会は、大会方式を1次ラウンドと決勝ラウンドの2ラウンド制へ変更し開催した。

1次ラウンドは6チーム8グループのリーグ戦を行い、上位2チームがトーナメント方式の決勝ラウンドへ進む。この変更により、各チーム5試合戦い、最終日まで決勝ラウンドへの進出チームが分からない白熱した展開となった。

東京会場にて行なった準決勝・決勝は全て関東のチームとなり、関東勢・クラブチームの活躍が目立った。

決勝は、神奈川県代表の横浜F・マリノスプライマリーが埼玉県代表のFC浦和を1-0で破り、3年連続の優勝となった。

大会は、台風の影響を受け、一部キックオフ時間の変更を余儀なくされたが、福島県および東京都サッカー協会役員・国士舘大学生の協力の下、無事終了した。

26. 第61回国民体育大会(サッカー競技)

開催期間 10月1日(日)～5日(木)

開催会場 兵庫／神戸市、加古川市、三木市、淡路市、洲本市
(成年男子)

開催期間 10月1日(日)～4日(水)

決勝 10月4日(水) 兵庫／神戸ウィングスタジアム

京都府 0-0(0-0、0-0、0-0、0-0) 富山県

優勝 京都府、富山県

第3位 神奈川県

(女子)

開催期間 10月2日(月)～5日(木)

決勝 10月5日(木) 兵庫／加古川運動公園陸上競技場

三重県 1-0(1-0) 埼玉県

優勝 三重県

準優勝 埼玉県

第3位 兵庫県

(少年男子)

開催期間 10月1日(日)～5日(木)

決勝 10月5日(木) 兵庫／三木総合防災公園陸上競技場

沖縄県 0-0(0-0、0-0、0-0、0-0) 千葉県

優勝 沖縄県、千葉県

第3位 兵庫県

(男女総合成績)

第1位 兵庫県

第2位 千葉県

第3位 三重県

第4位 富山県

第5位 京都府

第6位 沖縄県

第7位 埼玉県

第8位 神奈川県

第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」(兵庫国体)が、阪神淡路大震災から11年目を迎えた兵庫県内で開催された。大会スローガンは、「“ありがとう”心から、ひょうごから」。

兵庫県での開催は、第11回大会(1956年)以来50年ぶりとなった。

今大会より夏季・秋季大会が一本化開催となり、また、成年男子の参加資格の変更等新たな改革が行なわれた。

3種別のうち2種別の決勝戦が延長戦にもつれこむ接戦が展開され、また、地元兵庫県の活躍が目立った大会であった。

(社)兵庫県サッカー協会役員のご尽力により、競技運営・表彰式等、大会全てが滞りなく終了した。

27. 第13回全国クラブチームサッカー選手権大会

①都道府県大会 4月～9月

各都道府県

②地域大会 9月～10月

各地域

③決勝大会

| | |
|------|--|
| 監督会議 | 10月27日(金) |
| 開催期間 | 10月27日(金)～31日(火) |
| 開催会場 | アスパ五色サッカー場(兵庫県) |
| 決勝戦 | 10月31日(火) 於 洲本市 アスパ五色サッカー場 キックオフ 12:00 HOYO Atletico ELAN 1-3 (0-0) FC加古川 |
| 結果 | 優勝 FC加古川 (開催地/兵庫) |
| | 準優勝 HOYO Atletico ELAN (九州/大分) |
| | 第3位 須坂シティーFC (北信越/長野) |
| | 伊勢 PERSONNA.FC (東海/三重) |

第13回を迎えた本大会は、兵庫県では初めての開催となった。

期間中好天に恵まれ、地元淡路協会と(社)兵庫県サッカー協会の競技運営もスムーズに実施された。

決勝戦はともに初出場同士の対戦となった。前半は接戦で攻守の入れ替えが激しく変わった。後半に入って4分後、先制点を挙げたのは加古川であった。しかし5分後HOYOが得点し同点となった。その10分後加古川がチャンスを活かして得点し、さらにその9分後点を重ね相手チームを引き離し、開催地としてのプレッシャーにも負けず見事初優勝を飾った。

28. 第27回全国教員サッカー選手権大会

| | |
|---------|--|
| 開催期間 | 8月3日(木)～7日(月) |
| 開催会場 | 岡山・岡山県陸上競技場他 |
| 決勝戦 | 8月7日(月) 10:00 キックオフ 於・岡山県陸上競技場 静岡県教員サッカー団芙蓉クラブ 4-0 (4-0) 群馬教員 |
| 結果 | 優勝 静岡県教員サッカー団芙蓉クラブ (静岡県代表) |
| | 準優勝 群馬教員 (群馬県代表) |
| | 第3位 千葉県教員サッカークラブ (千葉県代表) |
| | 山口県サッカー教員団 (山口県代表) |
| フェアプレー賞 | 静岡県教員サッカー団芙蓉クラブ |

国体の翌年に開催されている教員大会は、本年度大会の実施後大会継続についてのアンケートを実施し、結果によっては2007年度大会実施後終了することになる。

昨年の大会から勝ち抜き方式から参加チームは最低2試合はできるリング方式へと大会形式を変更し4チーム減の12チームの参加により開催された。

決勝戦は陽射しが強く暑さ厳しい日となった。3連覇を目指す静岡県サッカー団芙蓉クラブと初優勝を目指す群馬教員との対戦となった。静岡が試合開始2分に先取した。前後半とも静岡のペースで点を重ね見事3連覇を達成した。

29. 第16回全国専門学校サッカー選手権大会

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 10月17日(火)～22日(日) |
| 開催会場 | 滋賀/野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク) |
| 決勝 | 10月22日(日) 13:00～ 於 ビッグレイク 履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校 2-1 (0-0) 日本ウェルネススポーツ専門学校 |
| 優勝 | 履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校(関西/大阪) |
| 準優勝 | 日本ウェルネススポーツ専門学校(関東/東京) |
| 第3位 | 甲賀健康医療専門学校(関西/滋賀) |

第 4 位 専門学校那覇日経ビジネス工学院(九州/沖縄)

今年で 16 回目をむかえた全国専門学校サッカー選手権大会が、ビッグレイクで開催された。

決勝戦は、6 年ぶり 2 度目の優勝を目指す日本ウェルネススポーツ専門学校と、初優勝をねらう履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校との対戦となった。前半は接戦となり無得点のまま後半に入った。残り 10 分となったところ日本ウェルネススポーツが先制点を挙げたが、その 2 分後セットプレーで履正社が同点とした。残り 3 分で履正社がセットプレーで逆転し、見事初優勝を飾った。

30. 第 39 回全国高等専門学校サッカー選手権大会

開催日時：8 月 4 日（金）～8 日（火）

会 場：和歌山・紀三井寺公園陸上競技場他

決 勝：8 月 8 日（火）10：00 キックオフ 於・紀三井寺公園陸上競技場

近畿大学工業高等専門学校 2－0（0-0.0-0.2-0.0-0） 鹿児島工業高等専門学校

優 勝：近畿大学工業高等専門学校（三重県）

準 優 勝：鹿児島工業高等専門学校（鹿児島県）

第 3 位：新居浜工業高等専門学校（愛媛県）

〃 宇部工業高等専門学校（山口県）

フェアプレー賞：該当なし

高等専門学校体育連盟では本年度の大会開催を関西地区が担当し、サッカー競技は和歌山県の和歌山工業高等専門学校が主催校となって運営された。

決勝は 2 年ぶり 20 回目の優勝を目指す鹿児島高専と本大会 3 回目出場で 2 連覇を目指す近畿大学工業高等専門学校との対戦となった。今大会は晴天つづきで猛暑に見まわれ、決勝は台風 7 号の影響で風が強い中での試合となった。前項半とも近畿大学工業高専のペースで、持ち味の組織力を駆使し、鹿児島高専を破り見事 2 連覇 2 度目の優勝を達成した。

31. 平成 18 年度全国高等学校総合体育大会(サッカー競技)

開催期間 8 月 1 日(火)～8 日(火)

開催会場 大阪府／大阪市他

決 勝 広島観音高校 2－0（0－0） 初芝橋本高校

優 勝 広島観音高校(広島県)

準 優 勝 初芝橋本高校(和歌山県)

第 3 位 真岡高校(栃木県)、帝京高校(東京都)

フェアプレー賞 該当無し

平成 18 年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技は、大阪府にて行われた。

今大会は多数のシード校が早々に姿を消すなど、各代表校の実力が拮抗していた。

決勝戦は昨年同様 18 時キックオフのナイターで行われた。広島観音高校、初芝橋本高校いずれが勝っても初優勝となる対戦となった。前半は 0-0 で折り返し、後半に入って広島観音高校が 1 点をとると、初芝橋本高校の集中力がきれ、続けてもう 1 点とられた。

結果、広島観音高校が初出場、初優勝で全国制覇を達成した。

32. J ユースサハラカップ 2006 第 14 回 J リーグユース選手権大会

予選リーグ

開催日時：7 月 17 日(月・祝)～11 月 19 日(日)

会 場：出場各クラブのホーム指定競技場

決勝トーナメント

開催日時：1回戦：11月25日（土）、2回戦：12月2日（土）、3日（日）

準々決勝：12月10日（日）、準決勝：12月17日（日）

決勝：12月24日（日）

会 場：日本平スタジアム、ガンバ大阪練習場、東京ガス深川グラウンド
埼玉スタジアム2002 第3グラウンド、秋葉の森総合公園サッカー場
横浜 F・マリノス MM21 トレーニングセンター、
名古屋市瑞穂陸上競技場、吉田サッカー公園、
雁ノ巣レクリエーションセンター球場、フクダ電子アリーナ、
大阪長居第2陸上競技場、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

決 勝：サンフレッチェ広島F.Cユース 2-0 (0-0, 2-0) FC東京U-18

優 勝：サンフレッチェ広島F.Cユース (Eグループ3位/広島)

準 優 勝：FC東京U-18 (Aグループ1位/東京)

第 3 位：名古屋グランパスエイトU-18 (Eグループ2位/愛知)

〃 三菱養和サッカークラブユース (日本クラブユースサッカー連盟代表/東京)

Jユースサハラカップ2006 第14回Jリーグユース選手権大会は、J1、J2の30クラブ（J1の全クラブ、ザスパ草津をのぞくJ2の12クラブ）を前年度主要大会の結果を基にしたポイントによりレベル別の7グループに分け、各グループ内でホーム&アウェイ方式による2回戦総当たり予選リーグを行なった（※決勝トーナメントに進出できるチーム数は各グループのレベルによって異なる）。

決勝トーナメントは、予選リーグを勝ち抜いたJリーグ下部組織の14チームに、日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームをあわせた18チームが出場した。

決勝は神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で開催され、接戦を制してきたサンフレッチェ広島F.Cユースと大量得点で勝ち抜いてきたFC東京U-18の対戦となった。

試合は両チーム一進一退の展開となったが、81分に広島の保手濱選手が得点。さらに87分に広島の中野選手が追加点を加え、2-0でサンフレッチェ広島F.Cユースが優勝した。

本大会は、運営協力の神戸市サッカー協会、ヴィッセル神戸、セレッソ大阪、ジェフユナイテッド千葉、清水エスパルス、また主管の(社)兵庫県サッカー協会、(社)大阪府サッカー協会のご尽力により無事に終了した。

33. 第6回全国シニア(60歳以上)サッカー大会

開催期間：5月19日(金)～21日(日)

開催会場：山梨県／韮崎市・甲斐市

| 期日 | キックオフ | 対戦 | | |
|--------------|-------|-----------------|-------|--------------|
| 5月19日 (金) | 14:00 | 青山キッカーズ | 0 - 3 | 兵庫県シニア選抜 |
| | | 宮城フェニックスサッカークラブ | 0 - 0 | 石川県シニア60 |
| | | 山梨グランドシニアSC | 0 - 1 | 60秋田選抜サッカー |
| | 15:00 | 静岡県選抜 | 0 - 1 | 九州選抜 |
| | | 埼玉シニア60 | 0 - 1 | 函館シニアFC60 |
| | | 高知昭和OB会 | 4 - 0 | ゴールドフェニックス福井 |
| | | 鹿児島県四十雀元老FC | 0 - 6 | 愛知県選抜 |
| 5月20日 (土) | 9:30 | 山梨60雀SC | 0 - 5 | 鹿児島県四十雀元老FC |
| | | 山梨グランドシニアSC | 1 - 1 | 高知昭和OB会 |
| | | 宮城フェニックスサッカークラブ | 0 - 3 | 埼玉シニア60 |
| | | 青山キッカーズ | 1 - 0 | 静岡県選抜 |

| | | | | |
|-----------------|-------|-----------------|-------|--------------|
| | 10:30 | 60 秋田選抜サッカー | 3 - 0 | ゴールドフェニックス福井 |
| | | 石川県シニア 60 | 0 - 4 | 函館シニア FC60 |
| | | 兵庫県シニア選抜 | 0 - 1 | 九州選抜 |
| | 14:00 | 山梨 60 雀 SC | 0 - 2 | 愛知県選抜 |
| | | 山梨グランドシニア SC | 0 - 0 | ゴールドフェニックス福井 |
| | | 宮城フェニックスサッカークラブ | 0 - 0 | 函館シニア FC60 |
| | 15:00 | 青山キッカーズ | 0 - 1 | 九州選抜 |
| | | 60 秋田選抜サッカー | 0 - 1 | 高知昭和 OB 会 |
| | | 石川県シニア 60 | 0 - 5 | 埼玉シニア 60 |
| 5 月 21 日 (日) | 9:30 | 兵庫県シニア選抜 | 1 - 3 | 静岡県選抜 |
| | | 九州選抜 | 0 - 1 | 鹿児島県四十雀元老 FC |
| | | 高知昭和 OB 会 | 3 - 4 | 埼玉シニア 60 |
| | | 函館シニア FC60 | 1 - 1 | 60 秋田選抜サッカー |
| | | 愛知県選抜 | 0 - 2 | 兵庫県シニア選抜 |

6 回目を迎える全国シニア (60 歳以上) サッカー大会は、日本代表選手も輩出されている山梨県韮崎市にて開催された。

本年度より大会参加方式がオープンから地域代表に移行したが、代表を出せない地域があり、当初の予定より 1 チーム少ない 15 チームでの開催となった。

開催地より 91 歳の選手が出場し、「ロイヤルゲーム」のみならず本大会でも健脚ぶりを発揮していた。

34. 第 5 回全国シニア (50 歳以上) サッカー大会

開催期間：6 月 9 日 (金)～11 日 (日)

開催地：岡山県／美作市

主管：(財) 岡山県サッカー協会

決勝：6 月 11 日 (日)

セレクション・トキオ・サッカー・クラブ (関東地域第 2 代表)

vs 愛知県選抜 (東海地域第 1 代表)

優勝：セレクション・トキオ・サッカー・クラブ (3 年連続 3 回目)

準優勝：愛知県選抜

第 3 位：長野県選抜

第 3 位：広島 JSW OB

全国シニア (50 歳以上) サッカー大会は今年で 5 回を数え、温泉地：岡山県美作市にある岡山県美作ラグビー・サッカー場の 4 ピッチ、内 1 つは JFA 公認人工芝ピッチ (公認 23 号) を使用し開催された。

ドイツでのワールドカップ開幕と同日に始まった本大会は、当初心配されていた天候にも恵まれ、各地域の予選を勝ち抜いてきた 16 チームは 1 次リーグから白熱した戦いを繰りひろげた。

決勝は地元：岡山湯郷 Belle 対スペランツァ F.C. 高槻 (共になでしこリーグ 1 部チーム) との同時開催であったため、本大会史上最多の観衆に見守られた。愛知県選抜は、3 連覇を狙うセレクションを前に健闘するも、個人技でもチーム力でも勝るセレクションが 3 年連続 3 度目の優勝を成し遂げた。

35. 日本スポーツマスターズ 2006 (サッカー競技)

開催期間 9 月 15 日 (金)～19 日 (火)

開催会場 広島・広島広域公園陸上競技場（広島ビッグアーチ）他
 決勝戦 9月19日（火）於広島ビッグアーチ キックオフ 13：00
 静岡県シニア選抜 3-0（1-0） 熊本県選抜
 結果 優勝 静岡県シニア選抜（静岡県代表）
 準優勝 熊本県選抜（熊本県代表）
 第3位 岐阜県シニア選抜（岐阜県代表）
 マリソル松島タック 40（宮城県代表）

今回で6回目を迎える「日本スポーツマスターズ2006 広島 サッカー競技」は、大型の台風13号の影響を直接受けることなく無事に実施された。

本大会のシンボルメンバーである北澤 豪氏のサッカー教室には雨天にもかかわらず231名の小学生が参加し会を盛り上げた。初日だけが雨天であったが、2日目以降は爽やかな秋空が広がる中で選手達は快適な汗を流した。

40歳以上のシニア年代とはいえ競技性を重視した大会のため、熱戦が繰り上げられた。

決勝戦は2連覇を目指す静岡県シニア選抜と初優勝を目指す熊本県選抜の対戦となった。前半が始まって直ぐに静岡が熊本の立ち上がりの際について先制点を挙げた。その後接戦であったが得点はなかった。後半開始直後、静岡が得点し更にその5分後点を重ねた。試合も静岡のペースとなり見事2連覇を達成した。

36. 第19回全国スポーツ・レクリエーション祭 壮年サッカー

開催期間：10月22日（日）～24日（火）

開催会場：鳥取県／鳥取市営サッカー場他

決勝戦：各グループリーグのみ実施（同位の場合は抽選）

結果：優勝：大阪フットボールクラブ、宮崎県選抜、千葉県シニア、茨城シニア、
 米子レッドスターズ、近江ぼてじゃこFC、兵庫県選抜、にかほ50FC

「スポレク鳥取2006」壮年サッカー大会は、日韓スポーツ交流事業で来日した韓国チームを含め、全国各地から48チームが参加し熱戦が繰り上げられた。好天に恵まれ開催地の大会ボランティアとの交流も盛んに行われ充実した大会となった。

37. PUMA CUP2007 第12回全日本フットサル選手権大会

開催期間 2007年1月26日（金）～2月4日（日）

開催会場 大阪府／舞洲スポーツアイランド 舞洲アリーナ

東京都／駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

決勝 2月4日（日） 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

大洋薬品/BANFF 3-1（1-0） 府中アスレティックフットボールクラブ

優勝 大洋薬品/BANFF（東海第1代表・愛知県）

準優勝 府中アスレティックフットボールクラブ（関東第2代表・東京都）

第3位 FIRE FOX（関東第4代表・東京都）

PUMA CUP 2007 第12回全日本フットサル選手権大会は、1次ラウンドを舞洲アリーナ（大阪）、決勝ラウンドを駒沢体育館（東京）にて行われた。

決勝は東海地域第1代表である大洋薬品/BANFFと、関東地域第2代表である府中アスレティックフットボールクラブの対戦となった。白熱した試合展開となり、大洋薬品/BANFFが見事優勝した。また今年度より優勝・準優勝・第3位のチームには強化費が支給された。

なお2007年9月には、優勝した大洋薬品/BANFFが名古屋オーシャンズとして参戦するFリーグも開幕し、ますますフットサルが注目されるだろう。

38. 全日本大学フットサル大会 2006

| | | |
|------|-----|---|
| 開催期間 | 西日本 | 7月20日(木)～7月21日(金) |
| | 東日本 | 8月22日(火)～8月23日(水) |
| 開催会場 | 西日本 | 大阪・舞洲アリーナ |
| | 東日本 | 東京・国立代々木競技場第一体育館 |
| 決勝 | 西日本 | 神戸大学フットサル部 FORÇA 4-4 (2-1, 2-3, PK4-2) 静岡産業大学サッカー部 |
| | 東日本 | 明治大学体育会サッカー部 6-4 (4-1) 帝京大学体育局サッカー部 |
| 結果 | 西日本 | 優勝 神戸大学フットサル部 FORÇA 準優勝 静岡産業大学サッカー部 第3位 びわこ成蹊スポーツ大学フットサル部 大阪人間科学大学フットサル部 |
| | 東日本 | 優勝 明治大学体育会サッカー部 準優勝 帝京大学体育局サッカー部 第3位 早稲田大学ア式蹴球部 B-a 東京経済大学 Bluja |

本年度も大阪・東京と2会場で昨年に続き大学生によるフットサルの全国大会行われた。本大会は、フットサルのさらなる普及、大学のサッカー部のうち多人数チームの選手への出場機会の創出、また、本年から同好会にも間口を広げ、さらにトップレベルの選手の裾野を広げることが趣旨として行なわれた。

しかし、西日本大会では24チーム募集のところ半数の12チームしか集まらず、関東との応募状況を比べると厳しいものを感じた。

出場チームへは、事前に開催するルール講習会とフットサル日本代表サッポ監督による技術講習会を義務付け、フットサルへの正確な知識を認識したうえで大会に臨むこととした。

大会は、西日本大会は初めてサッカー部ではなく、フットサル部として神戸大学フットサル部 FORÇA が優勝を飾ったことは、フットサルの普及が進んでいる証といえよう。

また東日本大会では明治大学体育会サッカー部が優勝し、東日本・西日本の優勝2チームが来年行なわれる全日本フットサル選手権大会への出場が決定した。

39. 第12回全日本ユース(U-15)フットサル大会

| | | |
|---------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 開催期間 | 2007年1月6日(土)～8日(月・祝) | |
| 開催会場 | 大阪府／大阪市中央体育館 | |
| 決勝 | 1月8日(月・祝) | FCクラッキス松戸 6-2(6-2, 0-0) FC湘南ジュニアユース |
| 3位決定戦 | 大分トリニータ U-15 11-4(4-2, 7-2) | 黒髪フットボールクラブ |
| 優勝 | FCクラッキス松戸(関東地域第1代表／千葉県) | |
| 準優勝 | FC湘南ジュニアユース(関東地域第2代表／東京都) | |
| 第3位 | 大分トリニータ U-15 (九州地域第1代表／大分県) | |
| フェアプレー賞 | FCクラッキス松戸(関東地域第1代表／千葉県) | |

本年度も大阪市中央体育館にて大会が開催された。

1次ラウンドでは大差がつく試合が多く見受けられ、各地域のレベルにかなり開きがあると感じた。

決勝戦はFCクラッキス松戸対FC湘南ジュニアユースという、関東同士の対戦となった。後半は15分間両チームとも得点が動かず、白熱した試合展開となった。前半に得点差をつけたFCクラッキス松戸が見事初優勝を飾った。

40. バーモントカップ第16回全日本少年フットサル大会

開催期間 2007年1月3日(水)～5日(金)
開催会場 東京/駒沢体育館
決勝 1月5日(金) 東京/駒沢体育館
malva mito fc 5-2(2-0、3-2) ヴェルディジュニア
優勝 malva mito fc (茨城県)
準優勝 ヴェルディジュニア(東京都)
第3位 アヴァンサールFC(岡山県)
AS KOFU FUTSAL CLUB(山梨県)
フェアプレー賞 アヴァンサールFC(岡山県)、AS KOFU FUTSAL CLUB(山梨県)

本年度も全国48チームの代表により本大会が開催された。例年に比べ、この年代のフットサルのレベルが非常に上がってきていると感じた。

今年も2日目の試合終了後に元フットサル日本代表監督マリーニョ氏、JFAアンバサダーである澤登正朗氏、元日本代表小倉隆史氏、フットサル日本代表藤井健太氏によるエキジビションが行なわれ、非常に盛況であった。

決勝戦は、malva mito fc対ヴェルディジュニアの対戦となった。両チームとも非常に技術力があり、白熱した対戦となったが、malva mito fcが見事初優勝を飾った。

今回、サッカーチームではなく、フットサルクラブであるmalva mito fcが優勝したことは今後のフットサルの発展のために非常によい結果になったといえる。

また、今大会から、グリーンカードの積極的採用と、フェアプレー賞の導入を行い、若年代からのフェアプレー精神の養成を図った。

41. ティファール・カップ2006第3回全日本女子フットサル選手権大会

開催期間 11月3日(金・祝)～5日(日)
開催会場 東京/駒沢体育館
決勝 11月5日(日) 14:00～
FUN Ladies 4-2(3-1) PREDATOR URAYASU FUTSAL CLUB Las Bonitas
優勝 FUN Ladies(開催地/東京都)
準優勝 PREDATOR URAYASU FUTSAL CLUB Las Bonitas(関東第3/千葉県)
第3位 大原学園 JaSRA フットサルクラブ(北信越/長野県)
フェアプレー賞 PREDATOR URAYASU FUTSAL CLUB Las Bonitas(関東第3/千葉県)

2000年、(株)グループセブジャパン(T-fal)の特別協賛により、日本フットサル連盟の主催大会として始まった本大会が、「全日本女子フットサル選手権大会」と名称を変えてJFA主催事業となり3年を迎えた。

昨年度より、参加チームはだんだん愛好型から競技志向型に様変わりをしてきたため、今年度から会期を、従来の2日間から3日間にし、1試合あたりの競技時間も長くした。大会を通じて、技術、戦術に富んだ高度なプレーが随所に披露され、日本の女子フットサルの競技レベルが確実に高まっていることを実感できた。

最終日の3位決定戦前にはエキジビションマッチ、小学生から大人までのビギナーの女性を対象にしたフットサルクリニックを行い、女性がボールに親しんでもらえる機会を創出した。また、決勝戦の前にはバトンクラブの演技により、決勝戦に花を添えた。

決勝戦は息詰まる接戦となったが、FUN LadiesがPREDATOR URAYASU FUTSAL CLUB Las Bonitasの追撃を抑え、大会2連覇を果たした。

42. 第28回全日本女子サッカー選手権大会

開催日時：12月10日（日）～2007年1月1日（月・祝）

会場：国立競技場他

決勝：2007年1月1日（月・祝）10：30キックオフ 於：国立競技場

岡山湯郷Belle 0-2 (0-2) TASAKIペルーレFC

優勝：TASAKIペルーレFC (L1・3位/兵庫)

準優勝：岡山湯郷Belle (L1・4位/岡山)

第3位：浦和レッドダイヤモンズレディース (L1・2位/埼玉)

〃 日テレ・ベレーザ (L1・1位/東京)

フェアプレー賞：岡山湯郷Belle

今回はチーム数が24チームから32チームに拡大して2回目となり、2003年キャプテンの提案で女子サッカーアピールのため、決勝戦を元日の天皇杯決勝戦前に実施することになって3度目の開催となった。

アジア大会の関係で、1回戦を地域代表同士の対戦、2回戦はその勝者とL2チーム、3回戦はその勝者とL1チームが対戦する組合せとなった。

決勝戦は、なでしこリーグ(L1)4位の岡山湯郷Belleと3位のTASAKIペルーレFCの対戦となった。前半9分にチャンスを活かして先制点をTASAKIがあげ、38分に追加点を重ねた。後半も接戦となり攻守が目まぐるしく交代されたが得点はなく、TASAKIペルーレFCが3年ぶり4度目の優勝を飾った。

43. モックなでしこリーグ2006

開催日時：5月21日(日)～11月5日(日)

会場：全国各地

順位：ディビジョン1

優勝：日テレ・ベレーザ

準優勝：浦和レッドダイヤモンズレディース

3位：TASAKIペルーレFC

4位：岡山湯郷Belle

5位：INACレオネッサ

6位：伊賀フットボールクラブくノ一

7位：スペランツァF.C.高槻

8位：東京電力女子サッカー部マリーゼ

ディビジョン2

優勝：アルビレックス新潟レディース

2位：大原学園JaSRA女子サッカークラブ

3位：福岡J・アンクラス

4位：ジェフユナイテッド市原・千葉レディース

5位：ASエルフェン狭山FC

6位：バニーズ京都サッカークラブ

7位：清水第八スポーツクラブ

8位：ルネサンス熊本フットボールクラブ

入場者数：ディビジョン1—総合計82,619人

ディビジョン2—総合計21,162人

オフィシャルスポンサーに(株)モックを迎え、大会名称を「モックなでしこリーグ」と変更して2006シーズンは5月21日に開幕された。

ディビジョン1は2回戦の「レギュラーリーグ」後に2グループに分けて1回戦総当たりリーグの「プレーオフ」を開催。上位リーグにはベレーザ、浦和、TASAKIに1部2年目の湯郷が食い込む。注目の優勝争いは最終日まで持ち越し、直接対決でベレーザが浦和を下して昨

年に続いての優勝を手にした。下位リーグは最後まで順位が定まらない熾烈な戦いが展開。1部1年目のINACが健闘して5位に。またマリーゼが8位となり来季ディビジョン2へ降格が決定、7位となったFC高槻は残留をかけて入替戦に臨む。

ディビジョン2の優勝争いも最後までもつれた。最終節勝点で並んだA新潟と大原学園、ともに勝利したが得失点差で優位にたっていたA新潟がこのまま逃げ切り優勝、悲願のディビジョン1昇格を決めた。大原学園はFC高槻との入替戦に。

今シーズンはディビジョン1が昨年より試合数が減ったものの、観客数が約2万人増加。特にマリーゼは1試合平均4,000人を集客した。

44. なでしこスーパーカップ 2006

期 日：5月14日(日) 12時32分キックオフ
会 場：千葉/フクダ電子アリーナ
対 戦：日テレ・ベレーザ 0-1 (0-0) TASAKIペルーレFC

5月21日から開幕される「モックなでしこリーグ2006」に先立ち、2005L・リーグ1部準優勝のTASAKIペルーレFCと第27回全日本女子サッカー選手権大会優勝及び、2005L・リーグ1部優勝の日テレ・ベレーザが対戦する「なでしこスーパーカップ2006」は第2回大会として開催された。

試合前に雨が上がり、ジェフユナテッドの本拠地でもあるフクダ電子アリーナは、真新しく芝の状態も良好であった。バックスタンドに1000人もの観客が入場した。試合は、後半に攻守入替わりがより激しくなった。日テレも何度か決定的チャンスがあったが、ペルーレのゴールキーパーの好守に阻まれ得点を挙げる事が出来なかった。後半60分ペルーレが先取点を挙げそのまま決勝点となった。

TASAKIペルーレFCはL・リーグと女子選手権とも優勝を逃していたが、今回見事勝利を獲得し2006年度の幸先の良いスタートを切った。

45. モックなでしこリーグ オールスター2006

開催日時：8月27日(日)
会 場：国立競技場
対 戦：8月27日(日) 於国立競技場 キックオフ19:00
なでしこEAST 1-2 (0-1) なでしこWEST
優 勝：なでしこWEST
準優勝：なでしこEAST
個人賞：JAL・MVP賞 大谷 未央 (WEST/TASAKI)
モック感動プレー賞 酒井 與恵 (EAST/ベレーザ)、原 歩 (WEST/INAC)

リーグとしては1996年以来10年ぶりの開催となった本大会。ディビジョン1の8チームをEAST(マリーゼ、浦和、ベレーザ、伊賀FC)とWEST(FC高槻、TASAKI、INAC、湯郷ベル)にわけ、1チーム16名の選手のうち7名は公式ウェブサイトを通じて行ったサポーター投票により、また9名は監督推薦にて選出を行った。試合はなでしこWESTが2-1で勝利した。

試合前には一般公募150名を含む200名がサッカークリニック、ミニゲームに参加。講師はJリーグキャリアサポートセンターの協力を得てJリーグOBが4名、なでしこリーグOGまた女子トレセンのメンバーが担当。「国立競技場でボールを蹴ろう」を合言葉に、小学生、一般女子がサッカーを楽しんだ。

コンコース上では、ディビジョン1のチームがチーム紹介ブースを開設し、チームグッズの販売、配布などを行った。選出されなかった選手たちもかけつけたためサインで列ができるほどの盛況ぶりとなった。またリーグ紹介コーナーではリーグ優勝チームに贈呈される

「1億円のティアラ」を一般公開した。

試合の盛り上げにはキッズ 33 名を含むこの日限りのチアリーディングチームが登場し、試合前、ハーフタイムのパフォーマンス、入場時の花道と大会に花を添えてくれた。

46. なでしこリーグ ディビジョン1・2入替戦

開催日時：11月11日(土)

会場：東京・江戸川区陸上競技場

結果：スペランツァ F.C. FC 高槻 (ディビジョン1・7位)

1-2 (前半0-1/後半1-1)

大原学園 JaSRA 女子サッカークラブ (ディビジョン2・2位)

天候：雨

今シーズンより初めて採用したディビジョン1・2の入替戦。ディビジョン1・7位のFC高槻とディビジョン2・2位の大原学園が来シーズンのディビジョン1の座をかけて対決した。

前夜から続く雨の中、最初に得点したのは大原学園、11分。後半、開始早々の48分には大原・中野が追加点。FC高槻も56分に1点を返すが反撃はこれのみ。大原学園が2-1と勝利を決め、2シーズンぶりに来季ディビジョン1昇格を果たした。

すでにディビジョン1・8位となった東京電力女子サッカー部マリーゼが降格、ディビジョン2・1位のアルビレックス新潟が昇格を決めている。

47. 第15回全日本大学女子サッカー選手権大会

開催日時：12月25日(月)～2007年1月14日(日)

会場：国立競技場他

決勝：2007年1月14日(日) 於 国立競技場 キックオフ 11:30

日本体育大学 0-1 (0-0) 大阪体育大学

優勝：大阪体育大学 (関西1・大阪)

準優勝：日本体育大学 (関東1・神奈川)

第3位：神奈川大学 (関東2・神奈川)

早稲田大学 (関東3・東京)

フェアプレー賞：早稲田大学

前回より1次ラウンドを神戸で12月に行い、準決勝を1月12日に西が丘サッカー場、決勝戦を14日第55回全日本大学選手権大会決勝と同日同会場の国立競技場で、開催されている。

決勝戦は、日本体育大学と大阪体育大学との対戦となった。接戦となり前半は0対0で折り返し、後半74分CKで大体大が得点し先制し、決勝点となった。

大阪体育大学は7年ぶり3度目の優勝を飾った。

表彰式は男子と合同で実施した。

48. 第15回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

開催日時：7月30日(金)～6日(日)

会場：静岡県磐田市・スポーツ交流の里ゆめりあ、ヤマハスタジアム他

決勝：8月6日(日) 10:00キックオフ 於・ヤマハスタジアム

藤枝順心高等学校 2-1 (2-0) 常盤木学園高校

優勝：藤枝順心高等学校 (東海・静岡県)

準優勝：常盤木学園高校 (東北・宮城県)

第3位：湘南学院高校 (関東・神奈川県)

〃 鳳凰高校（九州・鹿児島県）

フェアプレー賞：常盤木学園高校

磐田市が開催に名乗りをあげ3年目となり、総務省からスポーツ拠点作りの開催地として認可され2回目を迎えた。

昨年の大会より参加チーム数を16から24チームとなり、大会規模が拡大した。

大会期間中、好天による暑さに加え各試合も白熱した内容となった。

決勝戦は、本大会で東海代表が決勝に進出するのが初めてで、かつ初優勝を目指す藤枝順心高校と、3回連続準優勝で4年ぶり2度目の優勝を狙う常盤木学園高校の対戦となった。

前半14分FKにより先制点を挙げ勢いに乗った藤枝順心高校が22分にも点を重ねた。

後半に入ると常盤木学園高校のペースとなり1点返したが藤枝順心高校が守り抜き、見事初優勝を飾った。地元チームの出場のため、観客人数が昨年よりも増して2,200人となった。

49. JOCジュニアオリンピックカップ

第10回全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

開催日時：2007年1月3日（水）～8日（月）

会場：桃太郎スタジアム他

決勝：1月8日（月）キックオフ11:00 於 桃太郎スタジアム

神村学園高等部 1-3（0-1）常盤木学園高等学校

優勝：常盤木学園高等学校（高校女子2位・宮城）

準優勝：神村学園高等部（九州1位・鹿児島）

第3位：藤枝順心高等学校（高校女子1位・静岡）

〃 日テレ・メニーナ（関東1位・東京）

フェアプレー賞：藤枝順心高等学校

国体の後年開催として本年度は岡山県岡山市で実施された。

前回から単独チームでの参加となり、都道府県予選の参加選手数は昨年よりも785名増えて6,213名が参加した。

準決勝は、前回の決勝戦と同カードである日テレ・メニーナ対神村学園、高校女子決勝と同カードの常盤木学園対藤枝順心高校となり、両試合とも接戦でともにPK戦となった。

決勝戦は、常盤木学園が前半に先制点をあげ、後半にも得点を重ねた。神村学園は1点返すも追いつけず、常盤木学園高等学校が優勝を飾った。

50. 第11回全日本女子ユース（U-15）サッカー選手権大会

開催日時：8月19日（土）～24日（木）

会場：Jヴィレッジ

決勝：8月24日（木）

神村学園中等部 3-1（1-1）FC駒沢女子

優勝：神村学園中等部（鹿児島県代表）

準優勝：FC駒沢女子（東京都代表）

第3位：浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース（埼玉県代表）

〃 鳴門ポラリスLFC（徳島県代表）

フェアプレー賞：神村学園中等部

単独チームのみが参加できる大会に変更して2回目となる。大会期間中好天に恵まれ接戦が繰り広げられた。

決勝戦は鹿児島県選抜の時も含め、6年連続決勝戦進出の神村学園中等部と関東第2代表のFC駒沢女子との対戦となった。初出場のFC駒沢女子は、昨年2位のFCヴィトリアと3位のうないFCを制した鳴門ポラリスLFCと準決勝で対戦し、これを降して決勝戦に

進出した。

FC駒沢女子は先制点を挙げたが、神村学園の堅守に阻まれた。神村学園は前半 18 分で追いつき後半で点を重ね、見事 2 連覇を達成した。

51. 第 18 回全国レディースサッカー大会

開催日時：11 月 17 日（金）～19 日（日）

会 場：J ステップ他

決 勝：11 月 19 日（日） 於 J - s t e p

愛知レディース 0-0 (0-0、0-0、0-0、0-0、PK5-3) 清水FCママ

優 勝：愛知レディース（愛知）

準優勝：清水FCママ（静岡）

第 3 位：K o c h i g a n a d o r F C（高知）

フェアプレー賞：愛知レディース

M V P：加藤道子（愛知レディース）

従来のママさん大会から現在の形式に変わって 3 回目となり、16 チームが参加して開催された。

レディース大会は元日本代表選手や元Lリーガーが参加し、以前に比べ競技性も高くなった。今回の決勝戦も接戦となり、勝敗が決まらずPK戦となった。

52. 第 18 回全国レディースサッカー大会 レディース・エイト(45 歳以上)オープン大会

レディース・エイト (45 歳以上) オープン大会

開催日時：11 月 17 日（金）～19 日（日）

会 場：中島人工芝グラウンド

決 勝：11 月 19 日（日）

四日市FCエルマーナ 1-0 (0-0) 室蘭アイスバーズ

優 勝：四日市FCエルマーナ（三重）

準優勝：室蘭アイスバーズ（北海道）

第 3 位：J U V E N . F . C . F L O R（岐阜）

フェアプレー賞：四日市FCエルマーナ

従来のママさん大会から現在の形式に変わって 3 回目となり、16 チームが参加して開催された。

レディース・エイト大会は和やかに行われ、選手達も心地よい汗を流していた。

53. 全国ビーチサッカー大会

開催期間：10 月 14 日（土）～15 日（日）

開催会場：沖縄県本部町／海洋博公園エメラルドビーチ

決 勝：ソーマプライア 1 (1-2) 2 レキオスFC

優 勝：レキオスFC（開催地代表/沖縄県）

準優勝：ソーマプライア（九州地域第 1 代表/沖縄県）

第 3 位：エスペランサ熊本（九州地域第 2 代表/熊本県）

ボンファミ（関東地域代表/神奈川県）

本大会は日本サッカー協会が主催する大会として初めてとなる大会で、沖縄県本部町にて海洋博公園管理財団のご協力のもと、開催された。

この時期で沖縄は最高気温が 29 度という真夏の暑さの中、8 地域 12 チームにより熱戦が

繰り広げられた。

決勝戦では沖縄県代表決定戦と同一カードとなり、初の日本一を決める試合として白熱した試合展開となった。前半2-1とレキオスFCのリードで折り返したが、後半ソーマプライアの猛攻となったものの得点することができず、レキオスFCが初代王者に輝いた。

2 国内競技会（後援）

1. 第36回全国自治体職員サッカー選手権大会

| | | | |
|------|-------------------|--------------|-------|
| 開催期間 | 7月28日（金）～8月2日（水） | | |
| 開催会場 | 島原市営陸上競技場ほか | | |
| 決勝戦 | 8月2日（水）於島原市営陸上競技場 | キックオフ | 10：00 |
| | 東京消防庁 | 0－1（0－1） | 藤枝市役所 |
| 結果 | 優勝 | 藤枝市役所（静岡県代表） | |
| | 準優勝 | 東京消防庁（東京都代表） | |
| | 第3位 | 秋田市役所（秋田県代表） | |
| | 第3位 | 宇部市役所（山口県代表） | |

今回は雲仙・普賢岳噴火災害15周年を迎えた島原市にて開催された。大会期間中の試合中気温は連日、猛暑の中で熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は、2連覇をねらう東京消防庁と22回優勝経験のある藤枝市役所との強豪同士の対戦となった。

前半、先制点を挙げ戦術で勝った藤枝市役所が、後半運動量の落ちた東京消防庁を制し得点を重ね、23回目の優勝を飾った。

来年度は、山形市の開催となる。

2. 第40回全国自衛隊サッカー大会

| | | | |
|------|--------------------|------------|------------------|
| 開会式 | 4月23日（日） | | |
| 競技期間 | 4月23日（日）～5月3日（水・祝） | | |
| 開催日時 | 4月23日（日）～5月3日（水） | | |
| 会場 | 西が丘サッカー場他 | | |
| 決勝 | 5月3日（水）西が丘サッカー場 | 海自厚木基地マークス | 5－0（2－0）陸自北熊本自衛隊 |
| 入場者数 | 200人 | | |

海上自衛隊厚木基地マークスが11連覇を達成するという偉業をなした。大会期間中、関東リーグの試合もこなしつつ大会でも勝利を重ね決勝戦まで駒をすすめた。

決勝戦は37回大会と同じカードとなった。陸自北熊本自衛隊との試合は接戦であったが、組織力で勝利を収めた。

3. 第22回全国選抜フットサル大会

| | | | |
|------|---------------------|-------|----------------------|
| 開催期間 | 10月7日（土）～9日（月・祝） | | |
| 開催会場 | 兵庫県・ワールド記念ホール | | |
| 決勝 | 10月9日（月/祝） | 東京都選抜 | 4－4（0－4）PK戦7－6 福岡県選抜 |
| 優勝 | 東京都選抜（関東地域第2代表／東京都） | | |
| 準優勝 | 福岡県選抜（九州地域代表／福岡県） | | |
| 第3位 | 埼玉県選抜（関東地域第1代表／埼玉県） | | |
| | 大阪府選抜（関西地域第1代表／大阪府） | | |

本年度で第22回を迎えた全国選抜フットサル大会が、3日間にわたり兵庫県神戸市・ワールド記念ホールにて開催された。全国9地域の予選大会を勝ちあがった11の選抜チームと開催地枠として出場した兵庫県選抜の12チームを3つのグループに別けリーグ戦を行い、各グル

ープの1位とワイルドカードの1チームで決勝トーナメントを戦う形態の大会形式となっている。

昨年度優勝の東京都選抜は予選リーグを無難に突破するものの、準決勝で埼玉県選抜に粘られ、共に6ゴールを上げる激戦の末、PK戦での決着で決勝へと駒を進めた。一方では福岡県選抜がワイルドカードとして決勝トーナメントに進出した大阪府選抜を終始リードし勝利をつかみ初の決勝進出を果たした。

決勝は初優勝を目指す福岡県選抜が前半を4-0とリードし折り返すものの、後半に東京都選抜の猛攻があり、残り10秒にて同点に迫っていく劇的なゴールを決めるなど力のこもった試合になった。決勝戦もPK戦での決着となり、両チーム8人目まで進む戦いとなったが東京都選抜が振り切り、見事大会2連覇を達成した。

例年関東地域が優勢を誇っていた選抜大会であるが、ここ数年各地域でのフットサルへの取り組みの向上が見られ、地域格差が少なくなった大会であった。

4. 第7回FUTSAL地域チャンピオンズリーグ

開催期間 2007年3月23日(金)～25日(日)

開催会場 東京/駒沢体育館

決 勝 3月25日(日)

大洋薬品/BANFF 5-2(3-1) MAG'S FUTSAL CLUB

優 勝 大洋薬品/BANFF(東海/愛知県)

準優勝 MAG'S FUTSAL CLUB(関西/大阪府)

第3位 FIRE FOX(関東/東京都)、

CASCABEL KANSAI(関西/奈良県)

第7回を迎えたFUTSAL地域チャンピオンズリーグが、3日間にわたり東京・駒沢体育館で開催された。本年度は、ヒューマンアカデミー(株)からの特別協賛を受け、大会名を、「ヒューマンアカデミー PRESENTS 第7回FUTSAL地域チャンピオンズリーグ」として、9地域リーグ戦の上位12チームによる大会となった。

来年度開幕する、日本フットサルリーグ(Fリーグ)参加チーム同士の戦いなど、白熱する試合が多く見られ、観客数も昨年度を大きく上回り、1,000人を超す人数が観戦した。

PUMA CUP 2007 第12回全日本フットサル選手権大会優勝の、大洋薬品/BANFFが、2冠を狙い、昨年度準優勝のMAG'SとのFリーグ参加チーム同士の決勝戦となったが、先制点を大洋薬品/BANFFが取り、すぐさまMAG'Sが取り返したが、大洋薬品/BANFFの貫禄が上回り、全国の頂点となった。

5. 第19回全国健康福祉祭しずおか大会 サッカー交流大会(ねんりんピックしずおか2006)

開催期間 10月28日(土)～30日(月)

開催会場 清水総合運動場他(静岡県)

競技形式 グループリーグのみ実施

結 果 優勝 愛知県・東京都(コリタ)・愛媛県・大阪市・三重県・静岡市・名古屋市・徳島県・東京都(大江戸)・兵庫県・岐阜県・静岡県

第19回を迎えた本大会は48チーム参加のもと静岡県で開催され、静岡会場(静岡市)と磐田会場(磐田市)の2会場に別れて開始式から表彰までそれぞれ実施された。

期間中好天に恵まれ、静岡市・磐田市・静岡県協会各支部の競技運営もスムーズに実施された。

60歳以上の選手が参加する本大会は、期間中ピッチの内外で積極的に交流が図られ、各チームとも親睦が深まり充実した大会となった。

6. 第16回全国高等学校定時制通信制サッカー大会

開催日時：8月11日(金)～15日(火)

会場：清水ナショナルトレセン、蛇塚グラウンド、中島人工芝グラウンド
日本平運動公園球技場

決勝：8月15日(火) 日本平運動公園球技場

静岡県立浜松大平台高等学校 1-0 (1-0) 東京都立南葛飾高等学校

優勝：静岡県立浜松大平台高等学校 (静岡)

準優勝：東京都立南葛飾高等学校 (東京)

第3位：愛知県立瑞陵高等学校 (愛知)

北豊島高等学校 (東京)

最優秀選手：朽木 司 (浜松大平台)

今年度も静岡市清水総合グラウンドを中心に大会は行われ、決勝は日本平運動公園球技場を使用し、全て天然芝のグラウンドで熱戦が繰り広げられた。開会式では例年通りだが清水地区のスポーツ少年団の子供たちにプラカードの先導をお願いした。決勝では静岡でも名門の東海大学付属中学校サッカー部の生徒達にボールボーイをお願いし、地元とのふれあい・交流の場として意義を果たせた。

大会は昨年優勝の実力を誇る南葛飾高をどのチームが破るかが注目を浴びる。決勝は予想通りの強さを見せた南葛飾高と過去2回の優勝を誇る浜松大平台高校の対戦となった。試合は持ち前のディフェンスを中心とし組織力を生かした大平台高に対して、身体能力を生かして個人技で突破を図るオフェンスを重視した南葛飾高の対照的な戦いになり、非常に見るものを飽きさせないゲーム展開となった。

結果的には1対0で大平台高が3回目の優勝を果たしたものの、両チームは戦う気迫を前面に出しつつ、アンフェアなプレー(ユニフォームを掴む等)が無く、勝敗以外にも感動を与えるサッカーを見せてくれた。大会を通しては連日の猛暑にもかかわらず、怪我人や事故も無く無事終了した。

7. J A全農杯チビリンピック 小学生選抜8人制サッカー大会

開催期間：5月4日(木・祝)～5日(金・祝)

開催会場：神奈川県/横浜市・日産スタジアム、日産フィールド小机

決勝：山口サッカースクール 0-1 (0-0, 0-1, 0-0) 名古屋グランパスエイト

優勝：名古屋グランパスエイト (東海・愛知)

準優勝：山口サッカースクール (中国・山口)

第3位：大分トリニータジュニア (九州・大分)、

フォルトゥナサッカークラブ (関東・山梨)

8人制を導入してから4度目の開催となった本大会は、地域予選を勝ち抜いた9チームが参加し、熱戦を繰り広げた。昨年より3ピリオド制を導入し、第1ピリオドと第2ピリオドは選手総入れ替えを行い、全ての選手が少なくとも1試合の内、合計12分はピッチに立てるようにルールを変更して実施した。

予選ブロックを勝ち抜いた上位4チームにより決勝トーナメントを行い、日産スタジアムにて決勝戦が行われた。決勝は白熱した試合展開となったが、第2ピリオドに得点をした名古屋グランパスエイトが見事優勝した。

8. J F A地域ガールズ・エイト(U-12)大会

北海道

開催日時：8月5日（土）～6日（日）

会場：小樽市望洋サッカー場

参加：13 チーム

東北

開催日時：11月3日（金）～14日（土）

会場：山形県総合運動公園（べにはなスポーツパーク）

参加：16 チーム

関東

開催日時：8月26日（土）～27日（日）

会場：神奈川県立体育センター

参加：26 チーム

北信越

開催日時：10月14日（土）～15日（日）

会場：小松市木場潟中央公園多目的広場

参加：19 チーム

東海

開催日時：2007年1月13日（土）～14日（日）

会場：静岡県時の栖スポーツセンター

参加：12 チーム

関西

開催日時：8月19日（土）～20日（日）

会場：万博記念公園運動場

参加：16 チーム

中国

開催日時：12月2日（土）～3日（日）

会場：岡山県美作市ラグビー・サッカー場

参加：20 チーム

四国

開催日時：11月25日（土）～26日（日）

会場：愛媛県新居浜グリーンフィールド

参加：8 チーム

九州

開催日時：12月2日（土）～3日（日）

会場：別府市実相寺サッカー場他

参加：16 チーム

9. J F Aキッズ(U-6/U-8/U-10)サッカーフェスティバル 2006

47 都道府県各地にて開催

10. J F Aキッズ(U-6)サッカーフェスティバル 2006 ユニクロサッカーキッズ!

7会場にて開催

11. J F Aレディース/ガールズサッカーフェスティバル 2006

47 都道府県各地にて開催

12. J F Aファミリーフットサルフェスティバル 2006 with K I R I N

47 都道府県各地にて開催

13. J F Aファミリーフットサルフェスティバル 2006 with K I R I Nスペシャルステージ

12会場にて開催

3 国際競技会（国内開催・派遣）

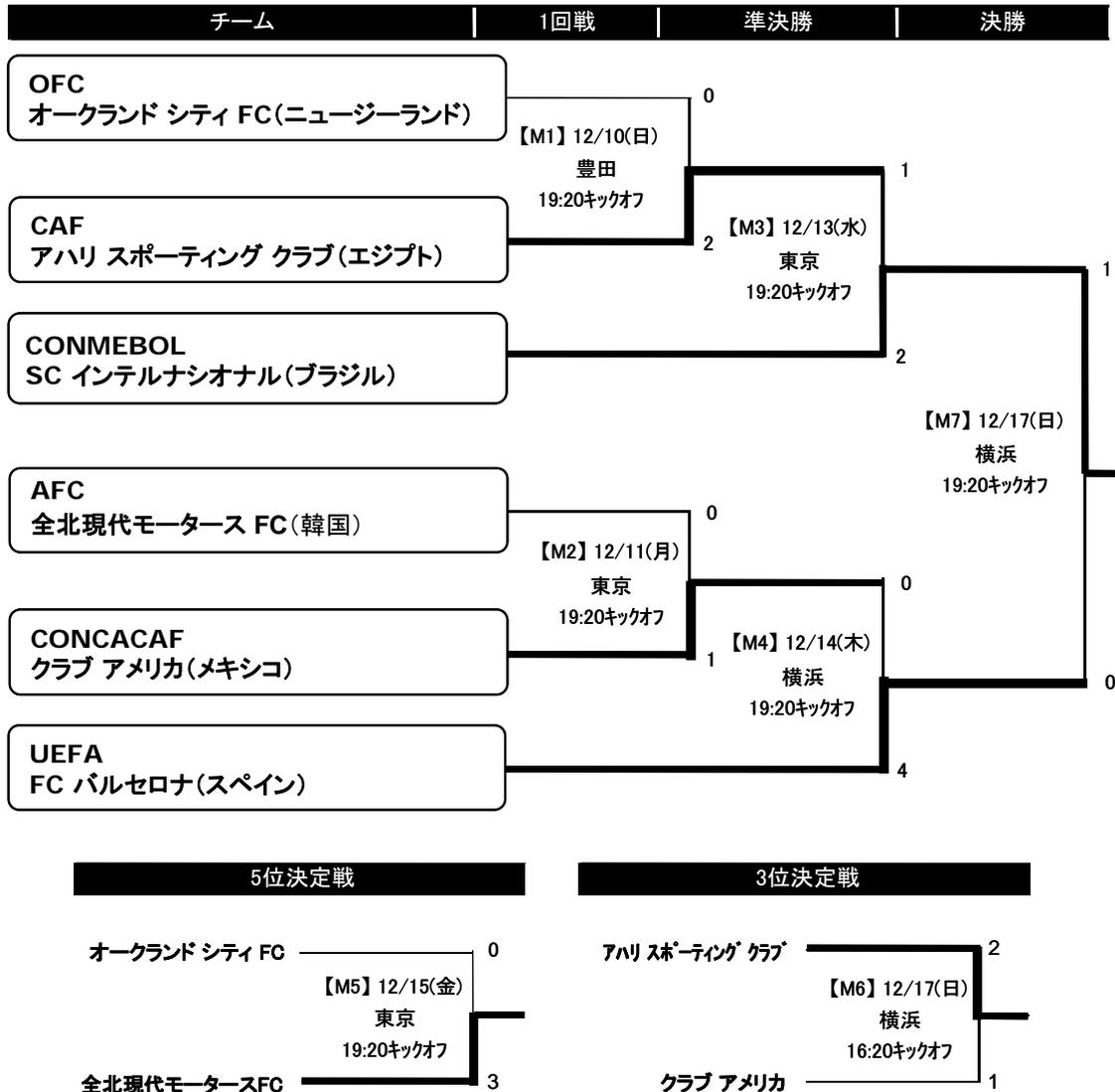
1. TOYOTA プレゼンツ F I F Aクラブワールドカップ ジャパン 2006

開催期間：12月10日(日)～17日(日)

会 場：愛知／豊田スタジアム・東京／国立競技場・神奈川／横浜国際総合競技場

テレビ放送：日本テレビ放送網により、全試合を独占生放送

試合結果：



【M1】1回戦（開幕戦）

開催期日：12月10日(日)19:20

会 場：愛知／豊田スタジアム

対 戦：オークランド シティ FC 0-2(0-0) アハリ スポーツ クラブ

入場者数：29,912人

視 聴 率：平均 8.2% 瞬間最大 11.8% 占拠率 10.8%

【M2】1回戦

開催期日：12月11日(月)19:20

会 場：東京／国立競技場

対 戦：全北現代モータースFC 0-1(0-0) クラブ アメリカ

入場者数：34,197人

視聴率：平均 5.6% 瞬間最大 10.6% 占拠率 7.6%

【M3】準決勝

開催期日：12月13日(水)19:20

会場：東京/国立競技場

対戦：アハリ スポーツィング クラブ 1-2(0-1) SC インテルナシオナル

入場者数：33,690人

視聴率：平均 7.1% 瞬間最大 12.2% 占拠率 9.8%

【M4】準決勝

開催期日：12月14日(木)19:20

会場：神奈川/横浜国際総合競技場

対戦：クラブ アメリカ 0-4(0-2) FC バルセロナ

入場者数：62,316人

視聴率：平均 12.6% 瞬間最大 17.1% 占拠率 16.8%

【M5】5位決定戦

開催期日：12月15日(金)19:20

会場：東京/国立競技場

対戦：オークランド シティ FC 0-3(0-2) 全北現代モータースFC

入場者数：23,258人

視聴率：平均 6.6% 瞬間最大 9.4% 占拠率 9.6%

【M6】3位決定戦

開催期日：12月17日(日)16:20

会場：神奈川/横浜国際総合競技場

対戦：アハリ スポーツィング クラブ 2-1(1-0) クラブ アメリカ

入場者数：51,641人

視聴率：平均 7.7% 瞬間最大 12.8%

【M7】決勝

開催期日：12月17日(日)19:20

会場：神奈川/横浜国際総合競技場

対戦：SC インテルナシオナル 1-0(0-0) FC バルセロナ

入場者数：67,128人

視聴率：平均 20.5% 瞬間最大 30.6% 占拠率 24.7%

2. AFCチャンピオンズリーグ2006

グループステージ

開催日時：4月12日(水) 19:01

会場：大阪/万博記念競技場

対戦：グループE 第3戦

ガンバ大阪(日本) 3-0(0-0) 大連実徳(中国)

入場者数：5,555人

開催日時：4月26日(水) 19:00

会場：中国/DALIAN JIN SHOU スタジアム

対戦：グループE 第4戦

大連実徳(中国) 2-0(1-0) ガンバ大阪(日本)

開催日時：5月3日(水) 14:02
会 場：大阪／万博記念競技場
対 戦：グループE 第5戦
ガンバ大阪（日本） 1-1（0-1） 全北現代（韓国）
入場者数：12,470人

開催日時：5月3日(水) 19:30
会 場：韓国／ULSAN MUNSU FOOTBALL スタジアム
対 戦：グループF 第2戦
蔚山現代（韓国） 1-0（1-0） 東京ヴェルディ1969（日本）

ガンバ大阪、東京ヴェルディ1969ともにグループリーグで敗退した。

備考：タイ（タバコ・モノポリー、プロヴィンシャル・エレクトリカル・オーソリティ）と
インドネシア（アレマ・マラン、ペルシブラ・ジャヤプラ）から参加する予定であつ
た4チームは、選手登録の締切り日（2月12日）までに登録を行わなかった為、失格
処分となり、グループFとGは2チームのみでグループステージを行うこととなった。

ノックアウトステージ
9月13日(水)～11月8日(水)

3. A3 チャンピオンズカップ2006

開催期間 8月2日(水)、5日(土)、8日(火)
開催会場 東京都／国立競技場

蔚山現代（韓国）、ガンバ大阪、ジェフユナイテッド千葉、大連実徳（中国）の4チームによ
るリーグ戦が行われ、蔚山現代が優勝した。

4. 第14回日・韓・中ジュニア交流競技会

開催期間 8月24日(木)～28日(月)
遠征期間 8月23日(水)～29日(土)
開催会場 韓国／大邱広域市
参加国 日本（水橋高校／富山県）・韓国・中国・大邱（開催地）

<対戦結果>

第1戦：8月24日(木) 水橋高校 1-2 大邱市代表
第2戦：8月26日(土) 水橋高校 0-1 韓国代表
第3戦：8月27日(日) 水橋高校 2-3 中国代表

5. 日本高校選抜欧州遠征

遠征チーム：日本高校選抜チーム
開催場所：ベルリンゾォーナ・スイス
大会名称：第66回ベルリンゾォーナ国際ユースサッカー大会
大会期間：4月12日(水)～4月17日(月)
遠征期間：4月8日(土)～4月19日(水)
大会結果：優勝 日本高校選抜
準優勝 FC Basel（スイス）
第3位 Deportivo La Coruna（スペイン）

第4位 Red Star FC Belgrade (セルビア・モンテネグロ)

▽予選リーグ

- 4月12日(月) 20:15kick off : Sementina (スイス)
日本高校選抜 3-1 (2-1) US Sampdoria (イタリア)
- 4月14日(金) 20:15kick off : Minusio (スイス)
日本高校選抜 1-0 (0-0) FC Porto (ポルトガル)
- 4月14日(土) 20:15kick off : Bellinzona (スイス)
日本高校選抜 0-0 FC Basel (スイス)

※得失点差でBグループ2位で準決勝へ進出

▽決勝トーナメント

- 準決勝 4月16日(日) 15:30kick off : Bellinzona
日本高校選抜 1-0 (0-0) Red Star FC Belgrade (セルビア・モンテネグロ)
- 決勝 4月17日(月) 20:00kick off : Bellinzona
日本高校選抜 1-1 (0-0、PK3-1) FC Basel (スイス)

※本大会10年ぶり2回目の優勝。

6. 高円宮杯 第16回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 優勝チーム海外遠征

遠征チーム: ヴェルディユース

開催場所: ラオプハイム・ドイツ

大会名称: SBCカップ

大会期間: 4月15日(土)~17日(月)

遠征期間: 4月11日(火)~19日(水)

大会結果: 優勝 Besiktas Istanbul (トルコ)
準優勝 TSV 1860 Munchen (ドイツ)
第3位 ヴェルディユース

▽グループリーグ

- 第1戦 4月15日(土) 11:00kick off : FV Olympia Laupheim Pich
ヴェルディユース 3-0 (3-0) FV Olympia Laupheim (ドイツ)
- 第2戦 4月15日(土) 16:10kick off : FV Olympia Laupheim Pich
ヴェルディユース 0-0 VfB Stuttgart (ドイツ)
- 第3戦 4月16日(日) 12:50kick off : FV Olympia Laupheim Pich
ヴェルディユース 0-0 Besiktas Istanbul (トルコ)

※グループ2位で準決勝進出

▽トーナメント

- 準決勝: 4月16日(日) 15:30 kick off : FV Olympia Laupheim Pich
ヴェルディユース 1-0 TSV 1860 Munchen (ドイツ)
- 3位決定戦: 4月17日(月) 14:30 kick off : FV Olympia Laupheim Pich
ヴェルディユース 3-1 SSV Ulm 1846(ドイツ)

高円宮杯 第16回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 準優勝チーム海外遠征

遠征チーム: コンサドーレ札幌ユース

開催場所：ダラス・アメリカ
大会名称：第27回 ダラスカップ
大会期間：4月9日(日)～16日(日)
遠征期間：4月7日(金)～18日(火)
大会結果：優勝 Dallas Texans Red (アメリカ)
準優勝 Santos Laguna (メキシコ)
3位 CF Monterrey (メキシコ)
4位 Manchester United (イングランド)

▽グループリーグ

□第1戦 4月9日(日) 14:00 kick off : Pizza Hut Park #7
Santos Laguna (メキシコ) 5-1 (2-1) コンサドーレ札幌ユース
□第2戦 4月10日(月) 12:00 kick off : Richland College Fields#10
Eintracht Frankfurt (ドイツ) 4-0 (2-0)
コンサドーレ札幌ユース
□第3戦 4月12日(水) 14:00 kick off : Pizza Hut Park #6
コンサドーレ札幌ユース 2-1 (1-0)
Blackburn Rovers FC (イングランド)

※Cグループ3位で予選リーグ敗退

予選リーグ敗退後の親善試合

▽親善試合 4月14日(金)
コンサドーレ札幌ユース 4-1 Deportivo Saprissa (コスタリカ)

▽親善試合 4月15日(土)
コンサドーレ札幌ユース 2-2 FC Delco Crunch (アメリカ)

▽親善試合 4月16日(日)
コンサドーレ札幌ユース 5-1 North Texas U-17 (アメリカ)

Ⅲ 指導普及事業

1. ナショナルトレセンU-12 [地域開催]

行事名： ナショナルトレセンU-12 北海道
期 間： 10月13日（金）～16日（月）
場 所： 栗山町ふじスポーツ広場・ホテルパラダイスヒルズ（北海道夕張郡）
参加者数：選手 48名、指導者講習会受講者 46名

行事名： ナショナルトレセンU-12 東北
期 間： 10月6日（金）～9日（月）
場 所： Jヴィレッジ（福島県双葉郡楢葉町）
参加者数：選手 72名、指導者講習会受講者 70名

行事名： ナショナルトレセンU-12 関東
期 間： 12月26日（火）～29日（金）
場 所： 鹿島ハイツスポーツプラザ（茨城県鹿嶋市）
参加者数：選手 120名、指導者講習会受講者 162名

行事名： ナショナルトレセンU-12 北信越
期 間： 10月6日（金）～9日（月）
場 所： 松本平広域公園総合球技場アルウィン・梓水苑（長野県松本市）
参加者数：選手 40名、指導者講習会受講者 31名

行事名： ナショナルトレセンU-12 東海
期 間： 10月6日（金）～9日（月）
場 所： 小笠山総合運動公園 静岡スタジアム エコパ 人工芝グラウンド
磐田グラウンドホテル（静岡県磐田市）
参加者数：選手 64名、指導者講習会受講者 41名

行事名： ナショナルトレセンU-12 関西
期 間： 12月23日（土）～26日（火）
場 所： ビッグレイク（野洲川歴史公園サッカー場）・琵琶湖リゾートクラブ（滋賀県守山市）
参加者数：選手 80名、指導者講習会受講者 47名

行事名： ナショナルトレセンU-12 中国
期 間： 12月24日（日）～27日（水）
場 所： 広島広域公園ビッグアーチ・ホテルセンチュリー21 広島（広島県広島市）
参加者数：選手 41名、指導者講習会受講者 35名

行事名： ナショナルトレセンU-12 四国
期 間： 12月22日（金）～25日（月）
場 所： 愛媛県総合運動公園球技場・砥部合宿研修所・星夢館（愛媛県松山市）
参加者数：選手 48名、指導者講習会受講者 46名

行事名： ナショナルトレセンU-12 九州
期 間： 12月25日（月）～28日（木）
場 所： 大津町運動公園・大津亀の井ホテル（熊本県菊池郡）
参加者数：選手 80名、指導者講習会受講者 72名

2. ナショナルトレセンU-14 [東西開催/同時開催]

[東日本] 期 間：2007年3月17日(土)～21日(水)
場 所：福島県/Jヴィレッジ
参加者：選手142名、指導者講習会受講者84名
[西日本] 期 間：2007年3月24日(土)～28日(水)
場 所：熊本県大津市
参加者：選手96名、指導者講習会受講者34名

3. ナショナルトレセンU-16

期 間：11月22日(水)～26日(日)
場 所：福島県/Jヴィレッジ
参加者数：選手 184名(北海道16名/東北16名/関東32名/北信越16名/東海24名
/関西24名/ 中国16名/四国16名/九州24名)
指導者講習会受講者 143名

4. ナショナルトレセン女子U-15

期 間： 12月26日(火)～29日(金)
場 所： 福島県/Jヴィレッジ
参加者数：選手 162名
(北海道14名/東北14名/関東22名/北信越14名/東海18名/関西15名/
中国14名/四国14名/九州18名/JFAアカデミー19名)
指導者講習会受講者 32名

5. ナショナルトレセンコーチ研修会

期間：4月24日～26日
場所：福島県/Jヴィレッジ

期間：7月9日～10日：GKコーチ
場所：福島県/Jヴィレッジ

期間：8月13日～14日
場所：東京都/FC東京深川グラウンド

期間：9月24日～25日：GKコーチ
場所：千葉県/日立柏総合グラウンド

期間：9月28日～30日
場所：福島県/Jヴィレッジ

期間：1月29日～31日
場所：東京都/FC東京深川グラウンド・三菱養和会巣鴨グラウンド

期間：2月25日～26日：GKコーチ
場所：東京都/三菱養和会巣鴨グラウンド

6. 9 地域トレセンスタッフ研修会 9 地域
都道府県のトレセン活動に関わる指導者のレベルアップを目的にナショナルトレセンメニューの落としこみ、講義や指導実践を内容とした 9 地域毎の研修会を U-12、U-14、U-16 の 3 カテゴリーで実施した。

7. 地域女子トレセンコーチ研修会

期間：5 月 19 日～21 日
場所：福島県/J ヴィレッジ

期間：7 月 15 日～17 日：GK コーチ
場所：静岡県/時之栖

8. 地域トレセン(トレーニングセンター) 9 地域

4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日、9 地域で各地域技術委員会・女子委員会を運営主体として、ナショナルトレセンコーチと協力のうえ、選手の発掘・育成、強化指導指針に基づいた選手の一貫指導、指導者育成、情報伝達、他の年代との交流等の活動を中心にトレセンが開設、運営された。

9. 都道府県トレセン(トレーニングセンター) 47 都道府県

4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日、47 都道府県で各都道府県技術委員会・女子委員会を運営主体として、ナショナルトレセンコーチと協力のうえ、選手の発掘・育成、強化指導指針に基づいた選手の一貫指導、指導者育成、情報伝達、他の年代との交流等の活動を中心にトレセンが開設、運営された。

10. U-18/U-15 GK キャンプ・ストライカーキャンプ

【東日本】

期 間：10 月 20 日(金)～22 日(日)
場 所：福島県/J ヴィレッジ
参加者：GK18 名、ストライカー16 名

【西日本】

期 間：10 月 27(金)～29 日(日)
場 所：滋賀県/ビッグレイク
参加者：GK20 名、ストライカー16 名

11. J F A エリートプログラム

①強化合宿

期 間：5 月 31 日(水)～6 月 4 日(日)
場 所：福島県/J ヴィレッジ
参加者：U14 21 名、U13 23 名

②強化合宿

期 間：11 月 29 日(水)～12 月 3 日(日)
場 所：福島県/J ヴィレッジ

参加者：U-14 21名、U-13 20名

③海外遠征（U-14）

期 間：12月17日（日）～22日（金）

場 所：韓国

参加者：18名

④海外遠征（U-13 ジュビロカップ）

期 間：12月26日（火）～30日（土）

場 所：静岡県掛川市

参加者：18名

12. スーパー少女プロジェクト

①トレーニングキャンプ

期 間：7月20日（金）～22日（土）

場 所：静岡県／時之栖

参加者：GK 12名

②トレーニングキャンプ

期 間：8月28日（月）～30日（水）

場 所：福島県／Jヴィレッジ

参加者：GK 12名

③セレクションキャンプ

期 間：11月17日（金）～19日（日）

場 所：福島県／Jヴィレッジ

参加者：GK 30名

④トレーニングキャンプ

期 間：2007年1月26日（金）～28日（日）

場 所：滋賀県／野洲川歴史公園サッカー場

参加者：GK 16名

⑤トレーニングキャンプ

期 間：2007年2月10日（土）～12日（月）

場 所：福島県／Jヴィレッジ

参加者：GK 12名

⑥トレーニングキャンプ

期 間：2007年3月24日（土）～26日（月）

場 所：福島県／Jヴィレッジ

参加者：GK 10名

13. U-15 女子チーム創出制度

継続（3年目）認定 20チーム

継続（2年目）認定 34チーム

14. JFAアカデミー福島

期間：4月～2007年3月

1期生男子中学1年16名、女子中学1年8名、中学2年5名、中学3年5名、高校1年5名の計39名が在籍。トレーニング、JFAカリキュラムを行った。

15. JFAアカデミー福島 平成19年度入学生選考試験

〔男子〕志願者数：881名

1次 合格者数：252名

8月18日(金)

東京／三菱養和会 巣鴨グラウンド

8月20日(日)

滋賀／ビックレイク 野洲川歴史公園サッカー場

8月22日(火)

福島／Jヴィレッジ

8月25日(金)

熊本／大津町運動公園

8月27日(日)

愛知／トヨタスポーツセンター

9月2日(土)

東京／東京ヴェルディ1969グラウンド

2次 合格者数：66名

9月16日(土)

東京／東京ヴェルディ1969グラウンド

9月18日(月・祝)

福島／Jヴィレッジ

3次 合格者数：33名

10月13日(金)～15日(日)

福島／Jヴィレッジ

最終 合格者数：15名

11月2日(木)～5日(日)

福島／Jヴィレッジ

〔女子〕志願者数：145名

1次 合格者数：45名

9月9日(土)・10日(日)

福島／Jヴィレッジ

9月23日(土)

滋賀／ビックレイク 野洲川歴史公園サッカー場

2次 合格者数：24名

10月7日(土)～9日(月・祝)

福島／Jヴィレッジ

最終 合格者数：5名

11月9日(木)～12日(日)

静岡／時の栖

16. JFAアカデミー福島 女子 アメリカ遠征

2007年2月24日(土)～3月5日(月)、アメリカ／フロリダに遠征しトレーニングキャンプを行った。

17. 全国技術委員長会議

JFA

2007年2月17日(土)～18日(日)

18. 公認S級コーチ養成コース

短期講習会① 8月26日(土)～9月1日(金)

福島／Jヴィレッジ

集中講習会① 9月4日(月)～7日(木)

三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎

集中講習会② 9月11日(月)～14日(木)

三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎

集中講習会③ 9月19日(火)～22日(金)

三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎

集中講習会④ 9月25日(月)～28日(木)

三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎

集中講習会⑤ 10月2日(月)～5日(木)

三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎

| | | |
|---------|------------------------|--------------------|
| 短期講習会② | 10月10日(火)～13日(金) | 福島/Jウゝイレッジ |
| 集中講習会⑥ | 10月16日(月)～19日(木) | 三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎 |
| 集中講習会⑦ | 10月23日(月)～26日(木) | 三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎 |
| 集中講習会⑧ | 10月30日(月)～11月2日(木) | 三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎 |
| 集中講習会⑨ | 11月6日(月)～9日(木) | 三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎 |
| 集中講習会⑩ | 11月13日(月)～16日(木) | 三菱養和・JISS・筑波大学大塚校舎 |
| 最終試験 | 11月26日(日)～29日(水) | 福島/Jウゝイレッジ |
| インターシッブ | 12月1日(金)～平成19年3月31日(土) | 海外クラブ2週間・Jクラブ1週間 |

19. 公認A級コーチ養成講習会(3コース：6泊7日×2)

| | | | |
|-------|----|------------------|------------|
| 第1コース | 前期 | 7月16日(日)～22日(土) | 福島/Jウゝイレッジ |
| | 後期 | 12月2日(土)～8日(金) | 静岡/Jステップ |
| 第2コース | 前期 | 7月10日(月)～16日(日) | 福島/Jウゝイレッジ |
| | 後期 | 11月13日(月)～19日(日) | 静岡/御殿場時之栖 |
| 第3コース | 前期 | 7月25日(火)～31日(月) | 新潟/アルビレックス |
| | 後期 | 12月16日(土)～22日(金) | 静岡/Jステップ |

20. 公認B級コーチ養成コース(専門10コース：5泊6日×2、共通3コース：5泊6日×1)

(専門科目)

| | | | |
|--------|----|----------------------|------------|
| 第1コース | 前期 | 7月10日(月)～15日(土) | 北海道/栗山 |
| | 後期 | 10月6日(金)～11日(水) | 北海道/栗山 |
| 第2コース | 前期 | 7月18日(火)～23日(日) | 福島/Jウゝイレッジ |
| | 後期 | 12月10日(日)～15日(金) | 福島/Jウゝイレッジ |
| 第3コース | 前期 | 12月4日(月)～9日(土) | 茨城/鹿島ハイツ |
| | 後期 | 2007年1月15日(月)～20日(土) | 茨城/鹿島ハイツ |
| 第4コース | 前期 | 8月24日(木)～29日(火) | 茨城/鹿島ハイツ |
| | 後期 | 12月2日(土)～7日(木) | 茨城/鹿島ハイツ |
| 第5コース | 前期 | 7月18日(火)～23日(日) | 新潟/アルビレックス |
| | 後期 | 12月4日(月)～9日(土) | 新潟/アルビレックス |
| 第6コース | 前期 | 7月17日(月)～22日(土) | 静岡/御殿場時之栖 |
| | 後期 | 12月4日(月)～9日(土) | 静岡/御殿場時之栖 |
| 第7コース | 前期 | 7月3日(月)～8日(土) | 兵庫/淡路島 |
| | 後期 | 2007年1月15日(月)～20日(土) | 兵庫/淡路島 |
| 第8コース | 前期 | 7月24日(月)～29日(土) | 広島/千代田 |
| | 後期 | 12月13日(水)～17日(日) | 広島/広島スタジアム |
| 第9コース | 前期 | 7月8日(土)～13日(木) | 高知/春野 |
| | 後期 | 12月11日(月)～16日(土) | 高知/春野 |
| 第10コース | 前期 | 7月14日(金)～19日(水) | 宮崎/綾町 |
| | 後期 | 12月6日(水)～11日(月) | 宮崎/綾町 |
| 第11コース | 前期 | 6月8日(木)～13日(火) | 静岡/御殿場時之栖 |
| | 後期 | 2007年1月12日(金)～17日(水) | 静岡/御殿場時之栖 |

(共通科目)

| | | |
|-------|------------------|-----------------|
| 第1コース | 11月19日(日)～24日(金) | 福岡/海の中道+アトリエ+セカ |
| 第2コース | 10月24日(火)～29日(日) | 福島/Jウゝイレッジ |
| 第3コース | 12月17日(日)～22日(金) | 東京/利ビッパセカ+駒沢 |

21. 公認C級コーチ養成講習会

47 都道府県

4月～2007年3月

22. 公認D級コーチ養成講習会 47 都道府県

4月～2007年3月

23. 公認ゴールキーパーA級コーチ養成講習会 (H17年度) 千葉/エアビクスセンター

後期 6月9日(金)～11日(日)

24. 公認ゴールキーパーB級コーチ養成講習会 鹿児島/薩摩町

平成19年1月17日(水)～21日(日)

25. 公認ゴールキーパーC級コーチ養成講習会

第1コース 7月7日(金)～9日(日)
第2コース 7月7日(金)～9日(日)
第3コース 10月7日(土)～9日(月・祝)

福島/Jウエイレッジ
福島/Jウエイレッジ
静岡/つま恋

26. 公認キッズリーダー養成講習会 47 都道府県

4月～2007年3月

27. 公認S級コーチリフレッシュ研修会

第1コース 2007年1月21日(月) 東京ガーデンパレス
第2コース 2007年1月24日(水) JFA

28. 公認A・B級コーチリフレッシュ研修会 9 地域

4月～2007年3月

29. 公認ゴールキーパーコーチリフレッシュ研修会 福島/Jウエイレッジ

12月2日(土)～3日(日)

30. 公認指導者海外研修会

第1コース ワールドカップAコース 6月9日(金)～14日(水) ドイツ
第2コース ワールドカップBコース 6月17日(土)～24日(土) ドイツ
第3コース レーバークーゼン・ドイツ 2007年3月12(月)～20日(月) ドイツ

31. 公認A級インストラクター研修会

前期 5月15日(月)～17日(水)
後期 11月6日(月)

新潟県/JAPANサッカーレック
JFA

32. 公認B級インストラクター研修会

前期 5月26日(金)～28日(日) 静岡県/Jステップ
後期 9月29日(金)～30日(土)

33. 公認47FAインストラクター研修会 9地域

2007年1月～3月

34. 公認キッズリーダーインストラクター研修会 静岡県/Jステップ

5月19日(金)～21日(日)

35. インターナショナルコーチングコース2007(AFC加盟協会向け)

受講生20名が、全てのカリキュラムを終了し、筆記試験・指導実践全てにおいて合格したため、JFA公認C級コーチとして認定した。

期間：2007年3月12日(月)～18日(日)

場所：福島県/Jヴィレッジ

36. 公認指導者国内研修会

| | | |
|----------------------------|---------------|------------|
| 全日本少年大会 | 8月12日(土) | 東京都 |
| 全日本女子ユース(U-15)選手権大会 | 8月20日(日) | 福島県/Jヴィレッジ |
| 仙台カップ | 9月1日(金)～3日(日) | 仙台市 |
| 高円宮杯全日本ユース(U-18) | 10月9日(月・祝) | 埼玉県 |
| 高円宮杯全日本ユース(U-15) | 12月29日(金) | 東京都 |
| ナショナルトレセンU-12・14・16・女子U-15 | 随時 | 9地域 (U-12) |

U-14 東日本

期間：3月17日(土)～19日(月)

場所：福島県/Jヴィレッジ

U-14 西日本

期間：3月24日(土)～26日(月)

場所：熊本県/大津町

U-16

期間：11月22日(水)～24日(金)

場所：福島県/Jヴィレッジ

女子U-15

期間：12月26日(火)～28日(木)

場所：福島県/Jヴィレッジ

37. 第5回 フットボールカンファレンス

日時：2007年1月5日(金)～7日(日)

場所：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)

主催：(財)日本サッカー協会・(社)大阪府サッカー協会

共催：大阪市

協賛：アディダスジャパン株式会社
協力：キリンビール株式会社・キリンビバレッジ株式会社

38. 第39回・第40回サッカードクターセミナー

第39回 日 時：9月30日(土)～10月1日(日)
場 所：北海道／ルネッサンスサッポロホテル、
サッポロドーム人工芝グラウンド
参加者：66名

第40回 日 時：2007年2月24日(土)～25日(日)
場 所：東京都／全国町村議員会館、ホテルモントレ半蔵門、駒沢陸上競技場
参加者：79名

39. アスレティックトレーナー研修会

日 時：2007年1月
場 所：JFA
参加者：66名

40. フィジカルフィットネスプロジェクト

東京

Jクラブフィジカル・コンディショニング担当コーチ研修会議

41. 1級・女子1級審判員研修会/審判員強化研修会

1級審判員研修会

第1回 期 間：7月1日(土)～2日(日)/7月8日(土)～9日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：1級審判員112名、審判委員会委員6名
第2回 期 間：2007年1月26日(金)～28日(日)
場 所：福島県/Jヴァイレッツ
参加者：1級審判員99名

女子1級審判員研修会

第1回 期 間：7月1日(土)～2日(日)/7月8日(土)～9日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：女子1級審判員21名
第2回 期 間：2007年1月12日(金)～14日(日)
場 所：JFAハウス他
参加者：女子1級審判員21名

国際審判員候補者強化研修会

使用大会：SBSカップ国際ユースサッカー
期 間：8月11日(金)～15日(火)
場 所：静岡／静岡市、藤枝市、袋井市
参加者：5名

使用大会：第28回全日本女子サッカー選手権大会
期 間：12月28日(木)～30日(土)
場 所：兵庫／神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 他

参加者：10名

1級審判員強化研修会

使用大会：第30回日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会
期 間：7月31日（月）～8月2日（水）
場 所：福島／Jヴィレッジ
参加者：4名

使用大会：第30回全国地域リーグ決勝大会
期 間：11月23日（木）～26日（日）、11月30日（木）～12月3日（日）
場 所：埼玉／熊谷市、高知／春野市、長崎／島原市、大分／大分市
参加者：12名

42. 1級・女子1級審判員地域別巡回フィットネストレーニング

各地域で2回（前後期）実施
参加者：前期55名、後期36名 計91名

43. 2006年度1級審判員認定講習会

- [第1次審査] 使用大会：関東・関西大学サッカーリーグ
期 間：4月22日（土）～5月14日（日）
場 所：関東、関西／各競技場
参加者：30名
- [第2次審査] 使用大会：第30回日本クラブユース選手権（U-18）大会決勝トーナメント
期 間：7月28日（金）～8月1日（火）
場 所：福島／Jヴィレッジ
参加者：16名
- [第3次審査] 使用大会：関東・関西社会人サッカーリーグ、関東・関西大学サッカーリーグ
期 間：9月9日（土）～10月29日（日）
場 所：関東、関西／各競技場
参加者：4名

44. 2006年度女子1級審判員認定講習会

- [第1次審査] 使用大会：第20回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会・大阪府予選
期 間：5月6日（土）
場 所：大阪
参加者：8名
- [第2次審査] 使用大会：第37回全国中学校サッカー大会
期 間：8月18日（金）～21日（月）
場 所：愛媛／松山市
参加者：4名
- [第3次審査] 使用大会：第15回全日本大学女子サッカー選手権大会
期 間：12月25日（月）～28日（木）
場 所：兵庫／神戸市
参加者：3名

46. 2級審判員指導育成講習会

使用大会：第27回全国教員サッカー選手権大会
期 間：8月3日(木)～5日(土)
場 所：岡山/岡山市
参 加 者：2級審判員 11名

使用大会：第21回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会
期 間：8月11日(金)～14日(月)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参 加 者：2級審判員 16名

47. 2級審判員(女子)指導育成講習会

使用大会：第15回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
期 間：7月30日(日)～8月2日(水)
場 所：静岡/磐田市
参 加 者：2級審判員 8名

48. J F A 審判インスペクター研修会

第1回 期 間：6月24日(土)
場 所：J F Aハウス
参加者：J F A審判インスペクター 計34名

第2回 期 間：2007年1月26日(金)～28日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：J F A審判インスペクター 計35名

49. 1級審判インストラクター・J F A 審判インスペクター認定講習会

(アセッサー)

期 間：2007年1月6日(土)～7日(日)
場 所：J F Aハウス他
参 加 者：3名

(インストラクター)

期 間：2007年1月7日(日)～8日(土)
場 所：J F Aハウス他
参 加 者：2名

50. フットサル審判員強化研修会

使用大会：第12回全日本フットサル選手権大会
期 間：2007年1月25日(木)～28日(日)
場 所：大阪/舞洲アリーナ
参 加 者：12名

51. 全国審判委員長会議

期 間：5月15日(日)
場 所：J F Aハウス
参加者：審判委員会委員8名、地域協会審判委員長9名、都道府県協会審判委員長46名
計63名

52. 2007年国際審判員候補者メディカルチェック

期 間：8月22日(月)、29日(月)、9月5日(月)

場 所：横浜市スポーツ医科学センター

参加者：2007年国際審判員候補者30名

53. 審判関係海外研修

2006 F I F Aワールドカップ審判研修

期 間：①6月11日(日)～18日(日)、②6月17日(土)～24日(土)

場 所：ドイツ

参加者：合計60名

54. トップレフェリー育成プロジェクト

スペシャルレフェリー

[キャンプ] 期 間：2006年3月～12月 計26回

場 所：静岡/Jステップ 他

J F Aレフェリー-カレッジ2006

1年生(5名)

[定期講習] 期 間：第8回(4月7日～9日)～第21回(12月1日～3日)

場 所：J F Aハウス他

[集中講習] 8月1日～5日 全国高等学校総合体育大会(大阪府)

9月16日～18日 高校選手権大会予選直前調整合宿(時之栖)

12月24日～29日 全国ユース招待サッカー大会(茨城県波崎町)

2年生(4名)

[定期講習] 期 間：第7回(4月1日～2日)～第19回(11月10日～12日)

場 所：J F Aハウス 他

[集中講習] 7月1日～5日総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント1・2回戦(大阪)

8月25日～27日 東西大学交流サッカー大会(静岡県藤枝市)

J F Aレフェリー-カレッジ2007

1年生(4名)

[定期講習] 期 間：第1回(1月6日～8日)～第6回(3月9日～11日)

場 所：J F Aハウス 他

[集中講習] 3月20日～22日 山口・小野田カップ(山陽小野田市)

3月23日～25日 サニックス杯U-17ユースサッカー大会(福岡県宗像市)

2年生(5名)

[定期講習] 期 間：第1回(1月6日～8日)～第7回(3月31日～4月2日)

場 所：J F Aハウス 他

[集中講習] 3月12日～16日 大学サッカースプリングカップ(愛知県名古屋市)

55. 2006年度フットサル1級審判員認定審査

[第1次審査] 使用大会：第22回全国選抜フットサル大会関東

期 間：10月7日(土)～9日(月)

場 所：兵庫/神戸市

参 加 者：19名

[第2次審査] 使用大会：関東フットサルリーグ

期 間：12月1日(金)～3日(日)

場 所：東京
参 加 者：13名
[第3次審査] 使用大会：FUTSAL 地域チャンピオンズリーグ
期 間：2007年3月22日(木)～25日(日)
場 所：東京
参 加 者：12名

56. 全国理事長会議

期 日：12月17日(日)
場 所：神奈川県横浜市／横浜市スポーツ医科学センター
参加者：47都道府県F A 専務理事・理事長

57. A F Cプロリーグプロジェクト

| | | |
|--------------------|--------------|-------|
| 第1回A F Cプロリーグ特別委員会 | 5月12日(金) | J F A |
| 第2回A F Cプロリーグ特別委員会 | 2007年2月7日(水) | A F C |

IV 各種申請

1 海外遠征

(社)日本プロサッカーリーグ

チー ム U-15 Jリーグ選抜 (第3種)
遠征期間 2006年8月22日(月)～31日(水)
遠 征 先 ブラジル ヘクレイオ

全日本大学サッカー連盟

チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)
遠征期間 2006年7月30日(日)～8月7日(月)
遠 征 先 オランダ アムステルダム

チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)
遠征期間 2007年3月11日(日)～20日(火)
遠 征 先 フランス マルセイユ

チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)
遠征期間 2007年3月23日(金)～26日(月)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

(財)北海道サッカー協会

チー ム コンサドーレ旭川ユース U-15(第3種)
遠征期間 2006年3月26日(日)～4月5日(水)
遠 征 先 大韓民国 城南

チー ム D. C. A s a h i k a w a F u t s a l C l u b (フットサル)
遠征期間 2006年10月25日(水)～30日(月)
遠 征 先 台湾 台北

チー ム T F C ジュントス (第4種)
遠征期間 2006年12月1日(金)～8日(金)
遠 征 先 ドイツ ヘネフ他

チー ム アンフィニMAKI. FC (第3種)
遠征期間 2007年3月27日(火)～4月5日(木)
遠 征 先 フランス シャルトル

(社)岩手県サッカー協会

チー ム 盛岡中央高等学校 (第2種)
遠征期間 2006年9月10日(日)～14日(木)
遠 征 先 ロシア ウラジオストック

(社)宮城県サッカー協会

チー ム 宮城県選抜U-16 (第2種)
遠征期間 2006年8月1日(火)～8日(火)
遠 征 先 ドイツ ヒルデン

(財)福島県サッカー協会

- チー ム いわきトレセンU-13 (第3種)
遠征期間 2006年7月20日(木)～24日(月)
遠 征 先 大韓民国 ソウル
- チー ム 郡山選抜チーム (第4種)
遠征期間 2006年7月27日(木)～31日(月)
遠 征 先 大韓民国 京畿道
- チー ム JFAアカデミー福島 (女子)
遠征期間 2007年2月24日(土)～3月5日(月)
遠 征 先 アメリカ合衆国 フロリダ

(財)茨城県サッカー協会

- チー ム 鹿島アントラーズ (第1種)
遠征期間 2006年8月3日(木)～7日(月)
遠 征 先 中華人民共和国 上海
- チー ム 筑波大学蹴球部 (第1種)
遠征期間 2006年8月11日(金)～17日(木)
遠 征 先 大韓民国 ソウル
- チー ム 流通経済大学 (第1種)
遠征期間 2006年8月9日(水)～14日(月)
遠 征 先 大韓民国 龍仁市
- チー ム 鹿島アントラーズノルテ (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～31日(木)
遠 征 先 ブラジル リオ・デ・ジャネイロ
- チー ム 鹿島アントラーズジュニアユース (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～31日(木)
遠 征 先 ブラジル リオ・デ・ジャネイロ
- チー ム 茨城県トレセン (第3種)
遠征期間 2006年8月16日(水)～26日(土)
遠 征 先 オランダ・イタリア フンデロー・イモラ
- チー ム 茨城県立古河第三高等学校 (第2種)
遠征期間 2007年3月26日(月)～31日(土)
遠 征 先 大韓民国 ウルサン
- チー ム つくば開成高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2007年4月2日(月)～16日(月)
遠 征 先 オランダ シッタード

(社)栃木県サッカー協会

- チー ム ヴェルディSS小山ジュニアユース(第3種)
遠征期間 2006年3月25日(土)～4月4日(火)
遠 征 先 スペイン バルセロナ

チー ム 栃木県選抜 (第4種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～24日(木)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 栃木県立小山南高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2007年3月23日(金)～29日(木)
遠征先 大韓民国 高陽

チー ム 栃木県ジュニアユーストレセン (第3種)
遠征期間 2007年3月25日(日)～3月29日(木)
遠征先 大韓民国 南海

群馬県サッカー協会

チー ム 関南サッカークラブ群馬 (第4種)
遠征期間 2006年8月10日(木)～16日(水)
遠征先 オーストラリア ゴールドコースト

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズ(第1種)
遠征期間 2006年5月16日(火)～21日(日)
遠征先 中華人民共和国 香港

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズ (第1種)
遠征期間 2006年6月24日(土)～7月5日(水)
遠征先 ドイツ連邦共和国 シュツツガルト

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズユース (第2種)
遠征期間 2006年7月21日(金)～25日(火)
遠征先 大韓民国 インチョン

チー ム さいたま市高校選抜サッカー選手団 (第2種)
遠征期間 2006年7月20日(木)～7月28日(金)
遠征先 オーストラリア アデレード

チー ム 埼玉クラブユース連盟U-14 (第3種)
遠征期間 2006年7月25日(火)～8月4日(木)
遠征先 オランダ ネイメーヘン

チー ム 大宮アルディージャジュニアユースチーム (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～30日(水)
遠征先 オランダ シッタードーハーレン

チー ム 女子武蔵丘短期大学シエンシア (女子)
遠征期間 2006年8月3日(木)～14日(月)
遠征先 イギリス ロンドン

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズジュニアユース (第3種)
遠征期間 2006年8月22日(月)～30日(火)
遠征先 ドイツ ミュンヘン

チー ム 坂戸ディプロマッツ (第3種)
遠征期間 2006年11月30日(木)～12月10日(日)
遠征先 シンガポール ウェストコースト

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズ (第1種)
遠征期間 2006年2月11日(日)～15日(木)
遠征先 オーストリア ザルツブルグ

チー ム 大宮アルディージャ (第1種)
遠征期間 2007年1月26日(金)～2月9日(金)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム 浦和東高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2007年3月24日(土)～4月2日(月)
遠征先 イングランド マンチェスター

(社)千葉県サッカー協会

チー ム 県立八千代高校(第2種)
遠征期間 2006年3月28日(火)～31日(金)
遠征先 大韓民国 蔚山

チー ム 柏レイソルU-15(第3種)
遠征期間 2006年3月27日(月)～4月9日(日)
遠征先 フランス アンチーブ

チー ム ボカ・ジュニア・ジャパン柏TOR'82(第3種)
遠征期間 2006年3月24日(金)～4月7日(金)
遠征先 アルゼンチン ブエノスアイレス

チー ム プレデターフットサルクラブ (フットサル)
遠征期間 2006年3月30日(木)～4月12日(水)
遠征先 ブラジル ブルスケ

チー ム 柏レイソルU-15 (第3種)
遠征期間 2006年5月20日(土)～28日(日)
遠征先 ドイツ連邦共和国 ブレーメン

チー ム PREDATOR (フットサル)
遠征期間 2006年8月30日(水)～9月5日(火)
遠征先 ポルトガル コインブラ

チー ム ジェフユナイテッド市原 (第1種)
遠征期間 2007年1月28日(日)～2月13日(火)
遠征先 トルコ アンタルヤ

チー ム 松戸MACS (女子)
遠征期間 2006年12月22日(金)～26日(火)
遠征先 オーストラリア シドニー

チー ム ボカ・ジュニア・ジャパン柏TOR '82 (第3種)
遠征期間 2007年3月21日(水)～4月4日(水)
遠征先 アルゼンチン ブエノスアイレス

チー ム ジェフユナイテッド市原・千葉U-18 (第2種)
遠征期間 2007年2月27日(火)～3月8日(木)
遠征先 イタリア アルコ

チー ム 柏レイソルU-15 (第3種)
遠征期間 2007年3月20日(火)～4月3日(火)
遠征先 フランス マルセイユ

(財)東京都サッカー協会

チー ム 法政大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2006年3月6日(月)～10日(金)
遠征先 大韓民国 大邱

チー ム ヴェルディユース (第2種)
遠征期間 2006年4月1日(火)～19日(水)
遠征先 ドイツ ラオプハイム

チー ム FC東京U-15むさし (第3種)
遠征期間 2006年4月28日(金)～5月6日(土)
遠征先 ドイツ ベルリン

チー ム FC東京U-15 深川 (第3種)
遠征期間 2006年6月1日(木)～7日(水)
遠征先 フランス パリ

チー ム 慶應義塾体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2006年6月16日(金)～19日(月)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 関東大学選抜 (第1種)
遠征期間 2006年7月26日(水)～8月1日(火)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム FC東京 (第1種)
遠征期間 2006年8月4日(金)～6日(日)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 東京都選抜U-18 (第2種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～26日(金)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム FCトリプレッタ Jr ユース (第3種)
遠征期間 2006年6月11日(日)～19日(月)
遠征先 ドイツ フランクフルト

チー ム 三菱養和サッカークラブ (第3種)

遠征期間 2006年6月11日(日)～19日(月)
遠征先 ドイツ連邦共和国 ヴェズタンブルグ・ケンフズ

チー ム ヴェルディジュニアユース (第3種)
遠征期間 2006年7月20日(木)～31日(月)
遠征先 ブラジル ロンドリーナ

チー ム ヴェルディジュニアユース (第3種)
遠征期間 2006年8月18日(金)～26日(金)
遠征先 イギリス ロンドン

チー ム 東京都選抜U-15 (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～26日(金)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム FC新宿内藤 (第4種)
遠征期間 2006年7月29日(土)～8月1日(火)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 日テレ・ベレーザ (女子)
遠征期間 2006年8月7日(月)～17日(木)
遠征先 大韓民国・中華人民共和国 ソウル・上海・北京

チー ム 日テレ・メニーナ (女子)
遠征期間 2006年7月23日(日)～30日(日)
遠征先 大韓民国 蔚山・ソウル

チー ム 上智大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2006年7月28日(金)～8月6日(日)
遠征先 ベルギー ルーヴァン・アントワープ

チー ム 東京都専門学校サッカー連盟選抜チーム (第1種)
遠征期間 2006年11月10日(金)～13日(月)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 東京都大学サッカー連盟 (第1種)
遠征期間 2006年12月15日(金)～19日(火)
遠征先 ベトナム ホーチミン

チー ム 関東第一高等学校 (第2種)
遠征期間 2006年3月14日(水)～30日(金)
遠征先 ブラジル サンパウロ

チー ム 東京都中体連選抜U-14 (第3種)
遠征期間 2007年3月26日(月)～30日(金)
遠征先 大韓民国 西帰浦市

チー ム 駒澤大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2007年3月15日(木)～27日(火)
遠征先 トルコ/イタリア アンタルヤ/パルマ/ミラノ

チー ム 日テレ・ベレーザ (女子)
遠征期間 2007年3月22日(木)～28日(水)
遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム 修徳高等学校 (第2種)
遠征期間 2007年3月31日(土)～4月10日(火)
遠 征 先 オランダ ハーレム他

チー ム 駒澤大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2007年3月6日(火)～16日(金)
遠 征 先 トルコ/イタリア アンタルヤ/パルマ/ミラノ

チー ム FUN Ladies (フットサル)
遠征期間 2007年4月25日(水)～5月1日(火)
遠 征 先 ポルトガル ラゴア

(社)神奈川県サッカー協会

チー ム 横浜F・マリノスジュニアユース (第3種)
遠征期間 2006年4月10日(月)～18日(火)
遠 征 先 スペイン パラモス

チー ム 横浜F・マリノスユース (第2種)
遠征期間 2006年7月21日(金)～23日(日)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

チー ム 横浜FC鶴見ジュニアユース (第3種)
遠征期間 2006年8月1日(火)～7日(月)
遠 征 先 中華人民共和国 北京・国安

チー ム 川崎フロンターレ U-15 (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～29日(火)
遠 征 先 スペイン バルセロナ

チー ム 横浜シーガルズFC (女子)
遠征期間 2006年8月15日(火)～24日(木)
遠 征 先 アメリカ合衆国 サンノゼ、フレズノ

チー ム 湘南ベルマーレユース (第2種)
遠征期間 2007年3月24日(土)～31日(土)
遠 征 先 大韓民国 龍仁市

チー ム 茅ヶ崎北陵高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2007年3月25日(日)～4月3日(火)
遠 征 先 イギリス ロンドン/レディング

チー ム 県立城山高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2007年3月25日(日)～29日(木)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

チー ム バディーSC (第4種)
遠征期間 2007年3月23日(金)～26日(月)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 横浜F.マリノスプライマリー (第4種)
遠征期間 2007年3月20日(火)～27日(火)
遠征先 オランダ/ドイツ/ベルギー
シッタード/アムステルダム/アイントフォーフェン/ロッテルダム/マーストリ
ヒト/ゲング/フランクフルト

チー ム 横浜F.マリノスジュニアユース (第3種)
遠征期間 2007年3月20日(火)～28日(水)
遠征先 フランス パリ

チー ム 横浜FC (第1種)
遠征期間 2007年1月22日(月)～2月2日(金)
遠征先 オーストラリア シドニー

チー ム 横浜F・マリノス (第1種)
遠征期間 2007年2月22日(木)～24日(土)
遠征先 香港

(社)山梨県サッカー協会

チー ム ヴァンフォーレ甲府
遠征期間 6月21日(水)～30日(金)
遠征先 大韓民国 ソウル

(社)長野県サッカー協会

チー ム 大原学園J a S R Aサッカークラブ (第1種)
遠征期間 2006年11月25日(土)～12月6日(水)
遠征先 ルーマニア ブカレスト

(社)新潟県サッカー協会

チー ム アルビレックス新潟 (第1種)
遠征期間 2007年1月27日(土)～2月10日(土)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム 新潟県トレセン U-14 (第3種)
遠征期間 2007年3月22日(日)～4月1日(日)
遠征先 ブラジル サンパウロ

(社)富山県サッカー協会

チー ム 富山県立伏木高等学校 (第2種)
遠征期間 2007年3月18日(日)～23日(金)
遠征先 大韓民国 パジュ

(社)石川県サッカー協会

チー ム 金沢市選抜 (第4種)
遠征期間 2006年7月21日(金)～24日(月)
遠征先 大韓民国 全州

チー ム 金沢市選抜 (第4種)
遠征期間 2006年7月21日(金)～24日(月)
遠征先 大韓民国 全州

(財)静岡県サッカー協会

チー ム 清水エスパルス (第1種)
遠征期間 2006年5月24日(水)～28日(日)
遠征先 大韓民国 仁川

チー ム U-16 静岡県選抜 (第2種)
遠征期間 2006年7月21日(金)～28日(金)
遠征先 ドイツ ヘネフ

チー ム 静岡県立浜松東高校 (第2種)
遠征期間 2006年7月30日(日)～8月2日(水)
遠征先 大韓民国 釜山・慶州

チー ム 静岡県立榛原高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2006年8月1日(火)～3日(木)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 静岡県立浜松城北工業高等学校 (第2種)
遠征期間 2006年8月3日(木)～5日(土)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 静岡県立沼津東高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2006年8月7日(月)～11日(金)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 掛川高校選抜チーム (第2種)
遠征期間 2006年8月16日(水)～19日(土)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 静岡県立藤枝東高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～24日(木)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 浜松南高校 (第2種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～29日(火)
遠征先 オランダ ネイメーヘン

チー ム 静岡県立静岡西高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2006年8月22日(火)～25日(金)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム ヤマハジュビロサッカースクール (第3種)
遠征期間 2006年8月4日(金)～11日(金)
遠征先 中華人民共和国 イボウ

- チー ム 磐田トレーニングセンター選抜チーム (第3種)
遠征期間 2006年8月10日(木)～13日(日)
遠征先 大韓民国 東豆川
- チー ム 静岡県西部地区選抜 (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～23日(水)
遠征先 大韓民国 ソウル
- チー ム 静岡県クラブユース(U-15)選抜 (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～23日(水)
遠征先 大韓民国 ソウル
- チー ム 静岡県ジュニアユース選抜 U-14 (第3種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～30日(水)
遠征先 オランダ・ドイツ・ベルギー ロッテルダム・ドルトムント・ブルージュ
- チー ム エコパジュニアフットボールクラブ (第4種)
遠征期間 2006年7月27日(木)～31日(月)
遠征先 大韓民国 ソウル特別市恩平区
- チー ム 磐田トレーニングセンター選抜チーム (第4種)
遠征期間 2006年8月10日(木)～13日(日)
遠征先 大韓民国 東豆川
- チー ム FCアスルクラロ沼津 (第4種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～25日(金)
遠征先 ベトナム ホーチミン
- チー ム 東豊田サッカースポーツ少年団 (第4種)
遠征期間 2006年9月21日(木)～25日(月)
遠征先 大韓民国 金海
- チー ム 静岡産業大学 (第1種)
遠征期間 2007年3月13日(火)～19日(月)
遠征先 アメリカ合衆国 トーランス
- チー ム 静岡県女子高校選抜 (女子)
遠征期間 2007年3月18日(日)～23日(金)
遠征先 中華人民共和国 上海
- チー ム 静岡県立藤枝東高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2007年3月19日(月)～4月4日(水)
遠征先 メキシコ/アルゼンチン メキシコシティ/グアダハラ/ラ・プラタ
- チー ム 静岡県西部高校選抜 (第2種)
遠征期間 2007年3月20日(火)～28日(水)
遠征先 スペイン マドリード
- チー ム U-16 静岡県選抜 (第2種)
遠征期間 2007年3月21日(水)～29日(木)

遠 征 先 メキシコ メキシコシティ

チ ー ム 聖隷ジュニアユースサッカークラブ (第3種)
遠征期間 2007年3月21日(水)～24日(土)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

チ ー ム NPO藤枝東FCジュニアユース (第3種)
遠征期間 2007年3月22日(木)～30日(金)
遠 征 先 フランス パリ

チ ー ム 藤枝順心サッカークラブジュニアユース (女子)
遠征期間 2007年3月23日(金)～30日(金)
遠 征 先 アメリカ合衆国 ボイシー

チ ー ム 沼津トレセン(沼津選抜チーム) (第4種)
遠征期間 2007年3月24日(土)～30日(金)
遠 征 先 イタリア サルソマジョーレ

チ ー ム 清水FC (第4種)
遠征期間 2007年3月24日(土)～27日(火)
遠 征 先 大韓民国 仁川

チ ー ム 静岡トレセン (第4種)
遠征期間 2007年3月24日(土)～27日(火)
遠 征 先 大韓民国 仁川

チ ー ム ロプタ静岡 (第3種)
遠征期間 2007年3月25日(日)～4月3日(火)
遠 征 先 イタリア/トルコ ミラノ/イスタンブール

チ ー ム 静岡県選抜U-12サッカーチーム (第4種)
遠征期間 2007年3月26日(月)～4月1日(日)
遠 征 先 中華人民共和国 海寧市

チ ー ム 清水エスパルスユース (第2種)
遠征期間 2007年3月30日(金)～4月2日(月)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

チ ー ム 富士市高校トレセン (第2種)
遠征期間 2007年4月1日(日)～4月4日(水)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

チ ー ム 清水フットボールクラブジュニアユース (第3種)
遠征期間 2007年4月2日(月)～4月9日(月)
遠 征 先 スペイン バルセロナ

チ ー ム 広見サッカースポーツ少年団 (第4種)
遠征期間 2007年3月23日(金)～26日(月)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

(財)愛知県サッカー協会

チー ム 名古屋グランパスエイト (第1種)
遠征期間 2006年6月25日(日)～7月10日(月)
遠 征 先 オランダ ヴァールス

チー ム U-17 東三河地区選抜 (第2種)
遠征期間 2006年8月1日(火)～5日(土)
遠 征 先 中華人民共和国 上海

チー ム 愛知フットボールクラブユース (第2種)
遠征期間 2006年8月16日(水)～19日(土)
遠 征 先 大韓民国 ソウル・利川

チー ム 愛知フットボールクラブ庄内 (第3種)
遠征期間 2006年8月22日(火)～28日(月)
遠 征 先 タイ バンコク

チー ム シルフィードセントラルFC (第3種)
遠征期間 2007年3月21日(水)～29日(木)
遠 征 先 オランダ ロッテルダム

(社)三重県サッカー協会

チー ム ユーストレニングセンター U-15 (第3種)
遠征期間 2006年8月22日(火)～30日(水)
遠 征 先 大韓民国 康津

(財)岐阜県サッカー協会

チー ム 岐阜県ジュニアユーストレニングセンター U-14 (第3種)
遠征期間 2006年8月22日(火)～26日(土)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

関西サッカー協会

チー ム 関西学生サッカー選抜チーム (第1種)
遠征期間 2006年8月7日(月)～12日(土)
遠 征 先 オーストラリア メルボルン

(社)滋賀県サッカー協会

チー ム 滋賀県立野洲高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2006年8月7日(月)～16日(水)
遠 征 先 オランダ アムステルダム

チー ム 滋賀県トレセンU-14 チーム (第3種)
遠征期間 2007年3月21日(水)～4月1日(日)
遠 征 先 ブラジル サンパウロ

チー ム 滋賀トレセンU12
遠征期間 2007年3月23日(金)～27日(火)
遠 征 先 中華人民共和国 上海

(社)京都府サッカー協会

チー ム 京都パープルサンガU-15 (第3種)
遠征期間 2006年7月23日(日)～26日(水)
遠征先 大韓民国 龍仁

チー ム 京都立命館宇治高等学校 (第2種)
遠征期間 2006年8月1日(火)～5日(土)
遠征先 大韓民国 龍仁市

チー ム U-13 京都府代表チーム (第3種)
遠征期間 2007年3月26日(月)～4月3日(火)
遠征先 フランス パリ

チー ム 京都少年団選抜チーム (第4種)
遠征期間 2007年4月1日(日)～4日(水)
遠征先 大韓民国 ソウル

(社)大阪府サッカー協会

チー ム ガンバ大阪 (第1種)
遠征期間 2006年6月25日(日)～7月2日(日)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム 大阪女子選抜 U-18 (女子)
遠征期間 2006年7月4日(火)～9日(日)
遠征先 中華人民共和国 上海

チー ム 大阪私立高等学校体育連盟 サッカー選抜チーム (第2種)
遠征期間 2006年7月27日(木)～30日(日)
遠征先 中華人民共和国 上海

チー ム (社)大阪府サッカー協会 U-12 (第4種)
遠征期間 2006年7月29日(土)～8月2日(水)
遠征先 中華人民共和国 北京

チー ム 富田林中学校選抜チーム (第3種)
遠征期間 2006年8月25日(金)～28日(月)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 此花学院高等学校 (第2種)
遠征期間 2006年8月21日(月)～25日(金)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム (社)大阪府サッカー協会 U-12 (第4種)
遠征期間 2006年11月2日(木)～7日(水)
遠征先 大韓民国 釜山

チー ム 河内長野市選抜 (第4種)
遠征期間 2006年12月22日(金)～25日(月)
遠征先 大韓民国 ソウル

チー ム 大阪桐蔭高等学校 (第2種)

遠征期間 2007年3月10日(土)～19日(月)

遠征先 フランス パリ

チーム 大阪桐蔭高等学校 (女子)

遠征期間 2007年3月10日(土)～19日(月)

遠征先 フランス パリ

チーム 同志社香里高等学校 (第2種)

遠征期間 2007年3月18日(日)～28日(水)

遠征先 イギリス ロンドン

チーム 高槻市選抜U-12 (第4種)

遠征期間 2007年3月22日(木)～27日(火)

遠征先 シンガポール シンガポール

チーム 大阪工業大学高等学校 (第2種)

遠征期間 2007年3月25日(日)～29日(木)

遠征先 大韓民国 抱川

(社)兵庫県サッカー協会

チーム 滝川第二高校 (第2種)

遠征期間 2006年3月24日(金)～4月6日(木)

遠征先 ドイツ・ポーランド/ゲレンブルグ・カッセル

チーム 神戸市U-13選抜チーム(第3種)

遠征期間 2006年3月25日(土)～29日(水)

遠征先 中国 上海

チーム 兵庫県代表チーム (第1種)

遠征期間 2006年8月18日(金)～20日(日)

遠征先 大韓民国 ソウル

チーム INACレオネッサ (女子)

遠征期間 2006年8月22日(火)～26日(土)

遠征先 大韓民国 釜山

チーム 兵庫県U-16選抜 (第2種)

遠征期間 2006年8月25日(金)～29日(火)

遠征先 大韓民国 ソウル

チーム ヴィッセル神戸 (第1種)

遠征期間 2006年10月2日(月)～6日(金)

遠征先 大韓民国 ソウル

チーム INACレオネッサ (女子)

遠征期間 2007年3月4日(金)～14日(水)

遠征先 大韓民国 カンヌン

チーム 神戸市U-13選抜チーム (第3種)

遠征期間 2007年3月24日(土)～28日(水)

遠 征 先 中国 上海

チ ー ム ヴィッセル神戸

遠征期間 2007年1月28日(日)～2月11日(日)

遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

(社)奈良県サッカー協会

チ ー ム 奈良県トレーニングセンター U-14 (第3種)

遠征期間 2007年3月22日(木)～4月1日(日)

遠 征 先 ブラジル サンパウロ

(社)和歌山県サッカー協会

チ ー ム 和歌山県サッカー協会 (U-12)トレセン (第4種)

遠征期間 2006年7月27日(木)～8月1日(火)

遠 征 先 中華人民共和国 青島

(財)広島県サッカー協会

チ ー ム サンフレッチェ広島(第1種)

遠征期間 2006年5月23日(火)～27日(土)

遠 征 先 大韓民国 ソウル

チ ー ム サンフレッチェ広島 (第1種)

遠征期間 2006年7月3日(月)～10日(月)

遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

チ ー ム サンフレッチェ広島 (第1種)

遠征期間 2007年2月1日(木)～15日(木)

遠 征 先 トルコ アンタルヤ

チ ー ム 広島県高校選抜チーム (第2種)

遠征期間 2007年3月23日(金)～26日(月)

遠 征 先 大韓民国 ソウル

チ ー ム 広島私立高等学校選抜チーム (第2種)

遠征期間 2007年3月24日(土)～4月3日(火)

遠 征 先 オランダ シッタード

(社)山口県サッカー協会

チ ー ム 岩国市ジュニアユーストレセン (第3種)

遠征期間 2006年8月3日(木)～7日(月)

遠 征 先 大韓民国 ウルサン広域市

チ ー ム 山口市親善交流サッカーチーム (第1種)

遠征期間 2006年10月20日(金)～23日(月)

遠 征 先 大韓民国 公州

チ ー ム F. C. アウストルノ

遠征期間 9月16日(土)

遠 征 先 大韓民国 馬山

(社)徳島県サッカー協会

チー ム 徳島県トレセンサッカー (第3種)
遠征期間 2007年3月22日(木)～26日(月)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

(社)愛媛県サッカー協会

チー ム エリートプログラム U-10 (第4種)
遠征期間 2006年8月22日(火)～29日(火)
遠 征 先 ドイツ フライブルグ

チー ム U-16 愛媛国体選抜 (第2種)
遠征期間 2007年3月23日(金)～26日(月)
遠 征 先 中華人民共和国 上海

チー ム 新谷スポーツ少年団 (第4種)
遠征期間 2007年3月27日(火)～28日(水)
遠 征 先 韓国 釜山

チー ム エリートプログラムU-10
遠征期間 8月21日(日)～28日(月)
遠 征 先 ドイツ フライブルグ他

(社)福岡県サッカー協会

チー ム 九州国際大学附属高校 (第2種)
遠征期間 2006年8月1日(火)～6日(日)
遠 征 先 大韓民国 釜山

チー ム 筑後トレセン (第3種)
遠征期間 2006年8月16日(水)～18日(金)
遠 征 先 大韓民国 釜山

(社)長崎県サッカー協会

チー ム 島原市中学生サッカー選抜チームU-15 (第3種)
遠征期間 2006年8月11日(金)～14日(月)
遠 征 先 大韓民国 安東市

チー ム 平戸市少年サッカー日蘭交流選抜チーム (第3種)
遠征期間 2006年8月17日(木)～24日(木)
遠 征 先 オランダ ノートルワイケルハウト

(社)熊本県サッカー協会

チー ム 熊本県立大津高等学校 (第2種)
遠征期間 2006年8月19日(土)～24日(木)
遠 征 先 大韓民国 ソウル

(社)大分県サッカー協会

チー ム 大分トリニータ (第1種)
遠征期間 2006年1月29日(月)～2月8日(木)
遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

(社)鹿児島県サッカー協会

チー ム 鹿児島城西高校サッカー部(第2種)
遠征期間 2006年3月29日(水)～4月2日(日)
遠 征 先 大韓民国 全州市

チー ム 神村学園高等部 (第2種)
遠征期間 2007年3月4日(日)～21日(水)
遠 征 先 アルゼンチン ブエノスアイレス

(社)沖縄県サッカー協会

チー ム レキオスFC ビーチサッカー部 (ビーチ)
遠征期間 2006年12月7日(木)～12日(火)
遠 征 先 シンガポール セントサ

2 国際競技会（有料・無料）・名義使用あり

全日本大学サッカー連盟

大会名 2006 東アジア COLLEGE FRIENDSHIP CUP IN JAPAN
主 催 全日本大学サッカー連盟、朝鮮大学校サッカー部OB
主 管 関東大学サッカー連盟、東アジア COLLEGE FRIENDSHIP CUP 実行委員会
後 援 (財)日本サッカー協会
期 日 2006年11月30日(木)～12月3日(日)
会 場 朝鮮大学校 他、都内競技場
参加チーム 漢陽大学(大韓民国)、北京理工大学(中華人民共和国)、朝鮮大学校、駒沢大学(関東大学サッカーリーグ優勝校)

(財)北海道サッカー協会

大会名： 2006 北海道国際ユースサッカー大会
主 催： (財)日本サッカー協会、(財)北海道サッカー協会、札幌市
主 管： (財)北海道サッカー協会国際ユースプロジェクト委員会
後 援： 北海道、北海道教育委員会、(財)北海道体育協会、札幌市教育委員会
期 日： 2006年8月17日(木)～8月20日(日)
会 場： 札幌ドーム、札幌ドーム補助グラウンド、札幌厚別公園競技場
参加チーム： ミュンヘン 1860FC U-16(ドイツ)、コリンチャンス U-16(ブラジル)、ソウル特別市 U-16(韓国)、日本代表 U-16、北海道選抜 U-16、コンサドーレ札幌 U-16
試合の種類： 前売り・当日 大人 2,000円 中・高校生 1,000円 小学生 500円

(社)宮城県サッカー協会

大会名： 第4回仙台カップ国際ユースサッカー大会
主 催： (財)日本サッカー協会、(社)宮城県サッカー協会、仙台市他
主 管： (社)宮城県サッカー協会、仙台市サッカー協会、仙台市他
後 援： 外務省、文部科学省、ブラジル大使館、フランス大使館他
協 賛： 河北新報社
期 日： 2006年8月31日(木)～9月3日(日)
会 場： 仙台スタジアム
参加チーム： U-18 ブラジル代表、U-18 フランス代表、U-18 日本代表、U-18 東北代表
試合の種類： 前売り 1日券(S席)2,000円
(自由席)一般 1,000円 中高生 500円 小学生以下無料
ナイター券※8月31日第2試合のみ
(自由席)一般 500円 中高生 300円 小学生以下無料
当 日 各席 500円増※小学生以下は無料

(財)埼玉県サッカー協会

大会名： 2006PUMA CUP 第10回埼玉国際ユース
主 催： (財)埼玉県サッカー協会、さいたま市
主 管： (財)埼玉県サッカー協会
後 援： (財)日本サッカー協会、さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会
期 日： 2006年7月21日(金)～7月23日(日)
会 場： 埼玉スタジアム 2002、さいたま市駒場スタジアム
参加チーム： エストウディアンテ・ラ・プラタ(アルゼンチン)、群馬県選抜、埼玉県選抜
試合の種類： 無料試合

大会名 2002 F I F Aワールドカップ記念事業
 埼玉国際ジュニアサッカー大会 2006

主 催 埼玉国際ジュニアサッカー2006 実行委員会
 (埼玉県、(財)埼玉県サッカー協会、さいたま市、川口市、川越市、
 秩父市、草加市、越谷市、幸手市、吉見町、(財)埼玉県公園緑地協会)

主 管 (財)埼玉県サッカー協会 4種連絡協議会

協 力 埼玉高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、西武鉄道(株)、
 首都圏新都市鉄道会社(株)、埼玉新都心交通(株)

後 援 外務省、文部科学省、(財)日本サッカー協会、海外参加国大使館、埼玉県教育委
 員会、埼玉県国際交流協会、協力市町等、県政治記者クラブ加盟各社

協 賛 プーマ(プーマジャパン(株)、プーマアパレルジャパン(株))、三国コカコーラボ
 トリング(株)、埼玉トヨペット(株)、J A埼玉県中央会、ポラスグループ、(株)
 フォトクリエイト、(株)セブン&アイHLDGS、中村電設工業(株)、
 (株)富士薬品、本田技研工業(株)埼玉製作所、日本光電北関東(株)埼玉営業所、
 (株)しまむら、(株)与野フードセンター、東京電力(株)埼玉支店、(株)サイサン、
 (株)リコー、日本マクドナルド(株)、太平ビル管理(株)

期 日 2006年7月26日(水)～30日(日)

会 場 埼玉スタジアム 2002、駒場スタジアム補助競技場 他、県内 10 市町・17 会場

参加チーム 山西省(中華人民共和国)、シンガポール共和国選抜、タイ王国選抜、
 F C A T L A S (メキシコ合衆国)、仁川市選抜(大韓民国)、
 ハワイ州選抜(アメリカ合衆国)、他、国内 26 各都府県選抜チーム、
 県内 8 チーム 計 40 チーム

(社)神奈川県サッカー協会

大会名 三県省道スポーツ交流事業(サッカー競技)

主 催 神奈川県、神奈川県教育委員会

主 管 三県省道スポーツ交流事業実行委員会、(社)神奈川県サッカー協会

後 援 外務省、文部科学省、(財)日本体育協会、(財)日本サッカー協会

期 日 2006年8月23日(水)～8月27日(日)

会 場 神奈川県立保土ヶ谷公園サッカー場、平塚競技場

参加チーム:韓国:京畿道 U-16 選抜、神奈川県 U-16 選抜、中国:遼寧省は不参加
 試合の種類: 無料試合

(社)新潟県サッカー協会

大会名 第 10 回国際ユースサッカー IN 新潟

主 催 (財)日本サッカー協会、北信越サッカー協会、(社)新潟県サッカー協会

共 催 新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町、新潟日報社、(株)アルビレックス新潟

主 管 国際ユースサッカー IN 新潟実行委員会

後 援 開催地体育協会

協 賛 キリンビバレッジ(株)、(株)モルテン

期 日 2006年7月14日(金)～17日(月)

会 場 新潟スタジアム、他開催地 計 5 会場

参加チーム U-17 日本代表、U-17 オーストラリア代表、U-17 ハンガリー代表、
 U-17 韓国代表、アルビレックス新潟ユース、U-16 新潟県高校選抜

(財)静岡県サッカー協会

大会名 第 7 回静岡世界少年サッカー大会

主 催 静岡世界少年サッカー大会実行委員会
 (静岡県、(財)静岡県サッカー協会、(社)静岡県サッカーを愛する会)

共 催 静岡県内自治体(御殿場市、裾野市、静岡市、藤枝市、島田市、掛川市、御前崎市)、静岡県日中友好協議会
 主 管 (財)静岡県サッカー協会4種少年委員会
 後 援 外務省、(財)日本サッカー協会、関係各国大使館、静岡県教育委員会、(財)静岡県体育協会、(財)静岡県国際交流協会 他 予定
 協 賛 アディダスジャパン(株)、日本航空、キリンビール(株)、スルガ銀行 他
 期 日 2006年8月23日(水)～29日(火)
 会 場 小笠山総合運動公園エコパスタジアム、藤枝総合運動公園サッカー場、清水総合運動場 他
 参加チーム 済州道選抜(大韓韓国)、浙江省選抜(中華人民共和国)、ボルシア・ドルトムント(ドイツ)、エスパニョール(スペイン)、ウエストブロミッチ(イングランド)、ボカ・ジュニオールス(アルゼンチン)、WAC カサブランカ(モロッコ)、静岡県サッカー協会5支部(東部・中東部・中部・中西部・西部)各選抜チーム

(財)愛知県サッカー協会

大 会 名：第7回豊田国際ユース(U-16)サッカー大会
 主 催：(財)日本サッカー協会、(財)愛知県サッカー協会、豊田市、豊田市教育委員会、中日新聞社、東海テレビ放送、名古屋グランパスエイト、(株)豊田スタジアム
 主 管：西三河サッカー協会、豊田市サッカー協会、(財)豊田市体育協会
 後 援：外務省、各国大使館、愛知県、愛知県教育委員会、(社)日本プロサッカーリーグ、豊橋市・岡崎市・豊川市・碧南市・安城市・西尾市・蒲郡市・新城市・知立市・高浜市・田原市。三好市・中津川市の各教育委員会、名古屋鉄道、愛知環状鉄道
 協 賛：有り
 期 日：2006年8月10日(木)～13日(日)
 会 場：豊田市運動公園球技場、豊田スタジアム
 参加チーム：U-16 チェコ代表、U-16 クロアチア代表、U-16 アメリカ代表、U-16 韓国代表、U-16 日本代表、名古屋グランパスエイトユース、愛知県・豊田市高校選抜

(財)岐阜県サッカー協会

大 会 名：第3回岐阜国際ユースサッカー大会
 主 催：(財)日本サッカー協会、(財)岐阜県サッカー協会、中日新聞社、東海テレビ放送
 主 管：(財)岐阜県サッカー協会
 後 援：(財)岐阜県イベント・スポーツ振興事業団 他
 協 賛：有り
 期 日：2006年8月8日(火)
 会 場：岐阜メモリアルセンター「長良川球技メドウ」 岐阜市長良福光大野
 参加チーム：U-16 クロアチア代表、U-16 日本代表

(財)広島県サッカー協会

大 会 名：平和祈念 広島国際ユースサッカー2006
 主 催：(財)広島県サッカー協会
 主 管：(財)広島県サッカー協会2種委員会
 後 援：(財)日本サッカー協会、広島市、広島市教育委員会、広島県教育委員会、(財)広島県体育協会、(財)広島市スポーツ協会
 協 賛：(株)アシックス
 共 催：広島ホームテレビ
 期 日：2006年8月14日(月)～16日(水)
 会 場：広島広域公園第一球技場
 参加チーム：エスパニョールユースU-17、広島県高校選抜、サンフェレッチェ広島ユース

大会名：ピースキッズ・ワールドサッカー・フェスティバル 2006 第1回広島大会
主催：(財)広島県サッカー協会、ピースキッズ・ワールドサッカー・フェスティバル実行委員会、イースト・ウエスト連盟
主管：NPO法人ピースキッズ・サッカー（共催）
後援：(財)日本サッカー協会、外務省、地方自治体、参加各国大使館
協賛：ジャパン・スポーツ・マーケティング(株)
期日：2006年8月3日(水)～5日(金)
会場：広島ビッグアーチ、広島広域公園第一球技場
参加チーム：ボスニア・ヘルツェゴビナ、イスラエル、パレスチナ、中華人民共和国、大韓民国、アメリカ合衆国、イギリス の子供達のチーム、他国内チームを含め全10チーム

(社)熊本県サッカー協会

大会名：熊本城築城400年祭記念試合
主催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、日本フットボールリーグ
主管：(社)熊本県サッカー協会、(株)アスリートクラブ熊本
後援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、(財)熊本県体育協会、(財)熊本県スポーツ振興事業団、(社)熊本県観光連盟、熊本城築城400年記念事業実行委員会
期日：2007年2月23日(金)
会場：熊本県民総合運動公園陸上競技場 (KKWING)
参加チーム：ロッソ熊本、U-22アメリカ代表
試合の種類：前売 A席一般1,000円 A席小中高500円
当日 A席一般1,200円 A席小中高600円

3 国際競技会（有料・無料）・名義使用なし

(社)岩手県サッカー協会

大会名 台湾・岩手県親善サッカー大会
主 催 (社)岩手県サッカー協会
主 管 NPO法人グルージャ盛岡総合スポーツクラブ
後 援 岩手県、盛岡市、岩手日報社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、
岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、FM岩手
協 賛 J Aいわてグループ・全国農業協同組合連合会岩手県本部
期 日 2007年4月28日(土)～30日(月)
会 場 盛岡南公園球技場
参加チーム 台湾代表チーム、グルージャ盛岡、県立盛岡商業高校サッカー部
入場料 台湾代表チーム対県立盛岡商業高校サッカー部 (4/28)
高校生以上 前売 1,500円、当日 1,500円
中学生以下 当日 500円
台湾代表チーム対グルージャ盛岡 (4/30)
高校生以上 前売 800円、当日 1,000円
中学生以下 当日 300円

(社)千葉県サッカー協会

大会名 第16回コミュニティワールドカップサッカー in 八千代
主 催 八千代市サッカー協会、八千代市、八千代市教育委員会
期 日 2006年12月23日(土・祝)～26日(火)
会 場 八千代市運動公園多目的広場、東京成徳大学グラウンド、八千代市立村上中学校
グラウンド、八千代市立勝田台中学校グラウンド
参加チーム 仁川広域市萬壽中学校(大韓民国) 他国内15チーム
入場料 無料

(財)東京都サッカー協会

大会名 第44回早稲田大学・高麗大学定期戦
主 催 (財)東京都サッカー協会
主 管 早稲田大学ア式蹴球部
後 援 無し
期 日 2006年6月20日(火)
会 場 早稲田大学東伏見サッカーグラウンド
参加チーム 高麗大学(大韓民国)、早稲田大学

大会名 ノーボーダーフットサルカップ2006
主 催 (財)東京都サッカー協会、東京都フットサル連盟
主 管 ノーボーダーフットサルカップ2006実行委員会、NIXITA JAPAN
後 援 イタリア政府観光局
協 賛 アリタリア航空、(有)マルガジャパン
期 日 2006年8月31日(木)
会 場 駒沢オリンピック競技場内屋内球技場
参加チーム A.S.D.ローマ(イタリア)、東京都フットサル連盟選抜チーム
入場料 無料

大会名 2007第16回日韓親善少年サッカー大会 新宿
主 催 (財)東京都サッカー協会、新宿区サッカー協会

主 管 新宿区少年サッカー連盟
後 援 新宿区教育委員会
期 日 2007年1月20日(土)～21日(日)
会 場 新宿区落合中央公園競技場、都立駒沢公園第二競技場
参加チーム ソウル市ハレルヤ幼少年サッカークラブ(大韓民国)、新宿区F A少年連盟
入場料 無料

大会名： 第17回イギョラ杯国際親善ユースサッカー
主 催： (財)東京都サッカー協会
主 管： 第17回イギョラ杯実行委員会、東京朝鮮中高級学校サッカー部OB会
後 援： 日朝友好促進東京都議会議員連盟、東京都教育委員会 他
協 賛： (株)ヤナガワ、大都販売(株)、(株)叙々苑、ミズノ(株) 他
期 日： 2007年3月25日(日)～28日(水)
会 場： 国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場、東京朝鮮高級学校グラウンド
参加チーム： 錦湖高等学校(大韓民国)、東京朝鮮高級学校、コンサドーレ札幌ユース
他 国内14チーム
試合の種類： 無料試合

(社)神奈川県サッカー協会

大会名 2006日韓親善サッカー横浜大会
主 催 横浜市、(社)神奈川県サッカー協会
主 管 (社)横浜市サッカー協会
後 援 在日本大韓民国民団神奈川県地方本部、(財)横浜市体育協会、
(財)横浜市スポーツ振興事業団、(財)横浜市国際交流協会
期 日 2006年8月6日(日)～9日(水)
会 場 みなとみらいスポーツパーク
参加チーム 仁川市選抜チーム、横浜市選抜チームA・B

大会名 高麗杯第6回ジュニアサッカー選手権大会
主 催 (社)神奈川県サッカー協会
主 管 高麗杯実行委員会
後 援 横浜市、横浜市教育委員会、在日本大韓民国民団神奈川県地方本部、
在日朝鮮人神奈川体育協会
期 日 2006年9月17日(日)～18日(月)
会 場 日産フィールド小机、しんよこフットボールパーク
参加チーム チンダルレ、韓国選抜(以上、大韓民国)、あさみ野F C、横浜F・マリノス、
FC KOREA

(財)静岡県サッカー協会

大会名 第9回国際親善少年サッカー大会
主 催 第9回国際親善少年サッカー大会実行委員会、(財)静岡県サッカー協会
主 管 細江ジュニアフットボールクラブ
後 援 (財)静岡県サッカー協会4種少年委員会西部支部、ニュージーランド大使館、
ニュージーランド航空、浜松市教育委員会、(財)浜松市体育協会細江支部、
静岡県日本ニュージーランド協会、浜名湖日本ニュージーランド協会、
南大阪日本ニュージーランド協会、全国C C緑化協会、東海C C緑化協会、
全拳法会
期 日 2006年8月15日(火)～16日(水)
会 場 静岡県浜松市細江総合グラウンド、多目的グラウンド及び芝生公園
参加チーム ニュージーランドチーム、浜松市周辺の少年チーム 11チーム

チンダルレ、韓国選抜(以上、大韓民国)、あさみ野F C、横浜F・マリノス、FC KOREA

大会名 ジュビロ磐田 Jr. ユース U-13 サマーカップ 2006
主 催 ヤマハ発動機(株)、(株)ヤマハフットボールクラブ、
(財)静岡県サッカー協会
主 管 ヤマハ発動機(株)、(株)ヤマハフットボールクラブ
後 援 磐田市、磐田市教育委員会、NPO 法人磐田市体育協会、静岡新聞社、
静岡放送
協 賛 ネスレ日本(株)、プーマアパレルジャパン(株)、プーマジャパン(株) 他
期 日 2006年8月22日(火)～24(金)
会 場 つま恋他目的ブランド、県立小笠山総合運動公園、他。
参加チーム 山東魯能泰山サッカークラブ(中華人民共和国)
入場料 無料

大会名 第32回・日韓親善交歓サッカー大会
主 催 (財)静岡県サッカー協会、NPO 法人清水サッカー協会
主 管 NPO 法人清水サッカー協会 事業委員会
後 援 静岡市、静岡市教育委員会、静岡市国際交流協会
期 日 2007年1月16日(火)～22日(月)
会 場 県営草薙球戯場、県営草薙陸上競技場、清水総合運動場
参加チーム 豊生高等学校、豊生中学校、城南初頭学校(以上、大韓民国) 他国内5チーム
入場料 無料

(社)京都府サッカー協会

大会名 第23回日韓親善少年サッカー大会
主 催 (社)京都府サッカー協会
主 管 (社)京都府サッカー協会4種委員会、京都サッカースポーツ少年団連盟
後 援 京都府、京都市、京都新聞社、KBS京都
協 賛 韓国京都青年会議所
期 日 2006年7月22日(土)
会 場 京都市西京極総合運動公園 陸上競技場(芝)
参加チーム ソウル東明(トンミョン)初等学校(大韓民国)、京都少年団選抜

大会名： 城陽・光明(ソウル)少年サッカー交流会
主 催： (社)京都府サッカー協会
主 管： 城陽・光明少年サッカー交流会実行委員会(京都城陽サッカークラブ少年団)
後 援： 城陽市、城陽市教育委員会
期 日： 2007年2月23日(金)～2月27日(火)
会 場： 京都府城陽市内グラウンド、城陽市総合運動公園
参加チーム： 光明クラブ(ソウル)、城陽市内4少年団
試合の種類： 無料試合

(社)大阪府サッカー協会

大会名 第33回河内長野招待少年サッカー大会
主 催 河内長野市サッカー連盟
主 管 河内長野市サッカー連盟ジュニア委員会
後 援 河内長野市、河内長野市教育委員会、河内長野市体育協会、河内長野市国際
交流協会、読売新聞社
期 日 2006年7月22日(土)～23日(日)

会 場 河内長野市立赤峰市民運動広場、大師総合運動場
参加チーム 韓国小学生チーム2チーム、国内より32チーム 計36チーム

大会名 CEREZO CUP 第20回大阪招待国際ユースサッカー大会
主 催 (社)大阪府サッカー協会、大阪市
主 管 (社)大阪府サッカー協会事業委員会、大阪高等学校体育連盟サッカー部
後 援 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会
協 賛 セレッソ大阪
期 日 2006年8月11日(金)～13日(日)
会 場 大阪市長居スタジアム・長居第2陸上競技場
参加チーム 中国上海選抜U-16、韓国慶尚南道選抜U-16、広島県選抜U-16、
大阪選抜U-16

(財)岡山県サッカー協会

大会名 第1回 SANWA CUP 岡山国際ユースサッカー大会
主 催 (財)岡山県サッカー協会
共 催 (株)三輪
主 管 岡山国際ユースサッカー大会大会実行委員会
後 援 山陽新聞社
協 賛 キリンビバレッジ(株)、(株)モルテン
期 日 2006年8月15日(火)～17日(木)
会 場 水島緑地福田公園サッカー場、陸上競技場、倉敷運動公園
参加チーム 昌薫高校(大韓民国)、延辺蹴球倶楽部(中華人民共和国)、国土館高校、桐蔭学園
高校、石川星陵高校、東海大第五高校、四日市中央工業高校、名古屋グランパス
エイトユース、大阪朝鮮高級部、奈良育英高校、作陽高校、皆実高校 (予定)

(社)鹿児島県サッカー協会

大会名 PUMA CUP KAGOSHIMA 国際ユースサッカー大会
主 催 (社)鹿児島県サッカー協会
主 管 (社)鹿児島県サッカー協会
協 賛 プーマグループ(プーマジャパン(株)、プーマアパレルジャパン(株))
期 日 2006年7月11日(火)
会 場 鹿児島県立鴨池陸上競技場
参加チーム エストウディアンテ・ラ・プラタU-16(アルゼンチン)、鹿児島県選抜

大会名 JR九州20周年記念 国際親善
「2007JR九州CUPちびっこサッカーフェスティバル」
主 催 (社)鹿児島県サッカー協会、九州旅客鉄道株式会社
主 管 鹿児島県少年サッカー連盟、
JR九州CUPちびっこサッカーフェスティバル実行委員会
後 援 九州サッカー協会、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、(財)鹿児島県体育協会
期 日 2007年3月31日(土)～4月2日(月)
会 場 鹿児島市桜島町溶岩グラウンド
参加チーム ジェンサン小学校(大韓民国)、長沙市小学生選抜(中華人民共和国)、
他、九州各県・山口県より62チーム
入場料 無料

4 国内競技会（有料・無料）・名義使用あり

(社)日本プロサッカーリーグ

大会名：澤登正朗選手引退試合

主催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、
(財)静岡県サッカー協会

主管：(株)エスパルス

期日：2007年1月21日(日)

会場：日本平スタジアム

参加チーム：清水エスパルス選手OB vs 元日本代表選手OB

試合の種類：大人2,000円 小中高1,000円

大会名：JリーグU-13

主催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

主管：Jリーグ各クラブ

期日：2007年4月～2008年3月

会場：原則としてホーム&アウェイ方式(リーグ戦方式)

参加チーム：全48チーム

試合の種類：無料試合

(社)岩手県サッカー協会

大会名：2006 FUTSAL APPI CUP

主催：(社)岩手県サッカー協会、(株)テレビ岩手

主管：(社)岩手県サッカー協会

後援：(財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟、青森県サッカー協会、秋田県サッカー協会、岩手県、岩手県教育委員会、八幡平市、八幡平市教育委員会、八幡平市体育協会、紫波町、紫波町教育委員会、紫波町体育協会、岩手日報社、エフエム岩手

協賛：安比高原(岩手ホテルアンドリゾート)

期日：予選大会2006年9月9日(土)～9月10日(日)

決勝大会2006年12月9日(土)～12月10日(日)

会場：安比高原特設ピッチ(予選大会)、サンビレッジ紫波(決勝大会)

参加チーム：70チーム

試合の種類：無料試合

(社)宮城県サッカー協会

大会名：第1回ウィンターリーグ・トライアル

主催：(社)宮城県サッカー協会

主管：ウィンターリーグ運営委員会(1種委員会、将来構想委員会)

後援：(財)日本サッカー協会、利府町、河北新報社、讀賣新聞東北総局、
産経新聞社東北総局、(株)スポーツニッポン新聞社、(株)報知新聞社、
(株)日刊スポーツ新聞社東北総局、(株)宮城テレビ放送

協賛：(株)モルテン、(株)サント、
超ワールドサッカーネットコミュニケーションズ(株)

期日：2007年1月14日(日)～2月11日(日)

会場：宮城県サッカー場

参加チーム：NECトーキン、ヴィーゼ塩釜、マリソル松島、七ヶ浜SC、中新田SC

試合の種類：無料試合

(財)福島県サッカー協会

大会名： 第3回全国ガールズ8(U-12)サッカーフェスティバル
～Jヴィレッジなでしこカップ～

主催： (財)福島県電源地域振興財団、(株)日本フットボールヴィレッジ

主管： (財)福島県サッカー協会

後援： (財)日本サッカー協会、福島県

期日： 2007年2月10日(土)～2月12日(月)

会場： Jヴィレッジ

参加チーム： 北海道地域2、東北地域3、関東地域8、東海地域2、
北信越地域2、関西地域5、中国地域3、四国地域2、九州地域4、
開催地代表1(福島県) 計32チーム

試合の種類： 無料試合

(財)埼玉県サッカー協会

大会名： 2002FIFA ワールドカップ™記念事業
埼玉国際ジュニアサッカー大会2006

主催： 埼玉国際ジュニアサッカー大会2006実行委員会

主管： (財)埼玉県サッカー協会4種連絡協議会

後援： 外務省、文部科学省、(財)日本サッカー協会、海外参加国大使館、埼玉県教育委員会、埼玉県国際交流協会、協力市町等、県政治記者クラブ加盟各社

協賛： プーマジャパン(株)、プーマアパレルジャパン(株)、三国コカコーラボトリング(株)、埼玉トヨペット(株)、JA 埼玉県中央会、ポラスグループ、(株)フォトクリエイイト、(株)セブン&アイ HLDGS.、中村電設工業(株)、(株)富士薬品、本田技研工業(株)埼玉製作所、日本光電北関東(株)埼玉営業所、(株)しまむら、(株)与野フードセンター、東京電力(株)埼玉支店、(株)サイサン、(株)リコー、日本マクドナルド(株)、太平ビル管理(株)

協力： 埼玉高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、西武鉄道(株)、首都圏新都市鉄道会社(株)、埼玉新都心交通(株)

期日： 2006年7月26日(水)～7月30日(日)

会場： 県内10市町 17会場

参加チーム： 40チーム(海外6チーム、県外26チーム、県内8チーム)

試合の種類： 無料試合

(財)東京都サッカー協会

大会名： SPHERE LEAGUE すかいらーくグループシリーズ4thステージ

主催： (財)東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局(フジテレビ)

後援： (財)日本サッカー協会

期日： 2006年5月11日(木)

会場： 国立代々木競技場第一体育館

参加チーム： 3チーム+8チーム

試合の種類： 前売り 4,200円

当日 4,200円(前売りで完売の場合、当日券販売は行わない)

大会名： 第1回グッドウィルカップ

主催： (財)東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局(フジテレビ)

後援： (財)日本サッカー協会

協賛： (株)グッドウィル

期日： 2006年7月6日(木)～7月7日(金)、7月13日(木)

会場： 駒沢屋内競技場、駒沢体育館

参加チーム：12 チーム

試合の種類：（7月6日・7日）前売り 1,500 円（7月13日）前売り 3,800 円
当日券も同金額（前売りで完売の場合、当日券販売は行わない）

大会名：すかいらくグループリーグ in お台場冒険王

主催：（財）東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局（フジテレビ）

後援：（財）日本サッカー協会

協賛：すかいらくグループ

期日：2006年7月17日（月）29日（土）

2006年8月7日（月）22日（火）29日（火）30日（水）31日（木）

会場：お台場冒険ランド内特設フットサルコート

参加チーム：16 チーム

試合の種類：無料試合

大会名：SPHERE LEAGUE すかららくグループシリーズ 5th ステージ

主催：（財）東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局（フジテレビ）

後援：（財）日本サッカー協会

協賛：すかいらくグループ

期日：2006年10月17日（火）

会場：有明コロシアム

参加チーム：11 チーム

試合の種類：全席指定 4,200 円（税込）

大会名：SPHERE LEAGUE すかららくグループシリーズ FINAL

主催：（財）東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局（フジテレビ）

後援：（財）日本サッカー協会

協賛：すかいらくグループ

期日：2006年11月30日（木）

会場：有明コロシアム

参加チーム：11 チーム

試合の種類：全席指定 4,200 円（税込）

(社)長野県サッカー協会

大会名：シニアサッカー45 フェスティバル

主催：長野県サッカー協会

主管：長野県シニアサッカー連盟

後援：（財）日本サッカー協会

期日：2006年9月30日（土）

会場：松本平広域公園総合球技場（アルウィン）

参加チーム：県内シニアサッカー愛好者

（スペシャルマッチ）日本代表シニアズ vs 長野県シニア選抜

試合の種類：無料

(社)新潟県サッカー協会

大会名：第10回国際ユースサッカーIN新潟

主催：（財）日本サッカー協会、北信越サッカー協会、（社）新潟県サッカー協会

主管：国際ユースサッカーIN新潟実行委員会

後援：開催地体育協会

協賛：キリンビバレッジ（株）、（株）モルテン

期日：2006年7月14日（金）～7月17日（月）

会 場：新潟スタジアム他 計5会場
参加チーム：U-17 日本代表、U-17 オーストラリア代表、U-17 ハンガリー代表、
U-17 韓国代表、U-17 アルビレックス新潟ユース、
U-16 新潟県高校選抜
試合の種類：無料試合

(財)静岡県サッカー協会

大会名：第1回甲信越静岡U-16サッカー大会
主 催：山梨日日新聞社、信濃毎日新聞社、新潟日報社、静岡新聞社、
(社)山梨県サッカー協会、(社)長野県サッカー協会、(社)新潟県サッカー協会、
(財)静岡県サッカー協会
主 管：(財)静岡県サッカー協会
後 援：(財)日本サッカー協会、文部科学省、各県及び教育委員会、
中部日本横断自動車道建設、促進期成同盟会
協 賛：王子製紙、エコパハウス
期 日：2007年3月28日(水)、29日(木)
会 場：エコパスタジアム
参加チーム：U-16 山梨、U-16 長野、U-16 新潟、U-16 静岡
試合の種類：無料試合

(社)福岡県サッカー協会

大会名：第11回北九州市長杯争奪北九州招待サッカー大会
主 催：(社)福岡県サッカー協会
主 管：北九州招待サッカー大会実行委員会、アビスパ福岡、
北九州フットボールクラブ
後 援：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ 他
協 賛：コカ・コーラウエストジャパン(株)、(株)ゼンリン 他
期 日：2007年3月17日(土)
会 場：北九州市鞆ヶ谷競技場
参加チーム：アビスパ福岡、ニューウェーブ北九州
試合の種類：無料試合

(社)熊本県サッカー協会

大会名：熊本城築城400年祭記念試合
主 催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、
日本フットボールリーグ
主 管：(社)熊本県サッカー協会、(株)アスリートクラブ熊本
後 援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、(財)熊本県体育協会、
(財)熊本県スポーツ振興事業団、(社)熊本県観光連盟、
熊本城築城400年記念事業実行委員会
期 日：2007年2月10日(土)
会 場：熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)
参加チーム：ロッソ熊本、清水エスパルス又は横浜FC
試合の種類：前売 S S席2,000円 S席1,200円 S席小中高700円
A席一般1,000円 A席小中高500円
当日 S S席2,500円 S席1,500円 S席小中高1,000円
A席一般1,200円 A席小中高600円

大会名：熊本城築城400年祭記念試合
主 催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、

日本フットボールリーグ

主 管：(社)熊本県サッカー協会、(株)アスリートクラブ熊本
後 援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、(財)熊本県体育協会、
(財)熊本県スポーツ振興事業団、(社)熊本県観光連盟、
熊本城築城400年記念事業実行委員会

期 日：2007年2月18日(日)

会 場：熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)

参加チーム：ロッソ熊本、ジュビロ磐田

試合の種類：前売 S S席 2,000円 S席 1,200円 S席小中高 700円
A席一般 1,000円 A席小中高 500円

当日 S S席 2,500円 S席 1,500円 S席小中高 1,000円
A席一般 1,200円 A席小中高 600円

5 国内競技会（有料・無料）・名義使用なし

関東サッカー協会

大会名： 関東フットサルリーグ オールスター戦
主催： 関東フットサルリーグ運営実行委員会
主管： 関東フットサルリーグ運営実行委員会
後援： 関東サッカー協会
協賛： ㈱ゼット、白夜書房フットサルナビ、スポーツ館ミツハシ
期日： 2006年4月15日(土)
会場： 駒沢体育館
参加チーム： 関東フットサルリーグ参加 12 チーム
試合の種類： 前売り 1,000 円、当日 1,000 円

群馬県サッカー協会

大会名： 新春ドリームマッチ群馬 2007
主催： 群馬県サッカー協会、上毛新聞社
主管： 新春ドリームマッチ 2007 実行委員会
後援： 群馬県、群馬県教育委員会
期日： 2007年1月4日(木)
会場： 群馬県立サッカー・ラグビー場
参加チーム： 群馬県出身Jリーガー、ザスパ草津
試合の種類： 前売り スタンド 2,000 円
芝生大人 1,000 円 芝生高校 800 円 芝生小中 300 円
当日 スタンド 2,500 円
芝生大人 1,500 円 芝生高校 1,000 円 芝生小中 500 円

(財)埼玉県サッカー協会

大会名： 第13回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ 2007」
主催： (財)埼玉県サッカー協会、熊谷市、熊谷市教育委員会
主管： 熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ」実行委員会
後援： 毎日新聞社、埼玉県、(財)埼玉県体育協会 他
協賛： プーマジャパン(株)、プーマアパレルジャパン(株) 他
期日： 2007年3月25日(日)～3月29日(木)
会場： 熊谷市利根川総合運動公園サッカー場、熊谷市妻沼運動公園
参加チーム： 48 チーム予定
試合の種類： 無料試合

(財)東京都サッカー協会

大会名： 第57回早慶サッカー定期戦
主催： (財)東京都サッカー協会
主管： 慶応義塾体育会サッカー部、早稲田大学ア式蹴球部
後援： 朝日新聞社
期日： 2006年6月29日(木)
会場： 国立競技場
参加チーム： 慶応義塾体育会サッカー部、早稲田大学ア式蹴球部
試合の種類： 前売り 900 円、当日 1,000 円 ※小学生以下無料

大会名： 第48回筑波大学・中央大学サッカー定期戦
主催： (財)東京都サッカー協会

主 管： 筑波大学、中央大学
期 日： 2006年6月24日(土)
会 場： 国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場
参加チーム： 中央大学学友会サッカー部、筑波大学蹴球部、及びそのOB
試合の種類： 前売り・当日 600円

大会名： 第11回東京都サッカートーナメント
主 催： (財)東京都サッカー協会、NHK、東京新聞、東京中日スポーツ
主 管： 東京都サッカートーナメント実施委員会
後 援： 東京メトロポリタンテレビジョン
協 賛： 佐川急便(株)
協 力： モルテン
期 日： 準決勝2006年8月23日(水)、決勝2006年8月26日(日)
会 場： 西が丘サッカー場
参加チーム： 社会人系の部予選を勝ち抜いた2チーム、学生系の部予選を勝ち抜いた2
チーム 計4チーム
試合の種類： 前売り 一般800円 中高生300円 ※小学生以下無料
当日 一般1,000円 中高生500円 ※小学生以下無料

(社)神奈川県サッカー協会

大会名： 横浜F・マリノスみなとみらい21トレーニングセンター
オープン記念イベント
主 催： (社)神奈川県サッカー協会、横浜マリノス(株)
主 管： (社)横浜サッカー協会
後 援： (株)テレビ神奈川、神奈川新聞社
特別協賛： 韓国KBSテレビ
期 日： 2006年10月29日(日)
会 場： 横浜F・マリノスみなとみらいトレーニングセンター
参加チーム： 横浜F・マリノスOBチーム vs 静岡選抜OBチーム
試合の種類： 前売り 大人2,000円 子供500円(小中学生)

(社)長野県サッカー協会

大会名： 第32回北信越フットボールリーグ
長野エルザサッカークラブ ホームゲーム
主 催： 北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟
主 管： 第32回北信越フットボールリーグ運営委員会、長野エルザサッカークラブ
期 日： 2006年5月14日(日)28日(日)、6月4日(日)25日(日)、7月23日(日)
会 場： 南長野運動公園総合球技場、長野運動公園陸上競技場
参加チーム： フェルヴォローザ石川・白山FC(石川)、Japanサッカーカレッジ(新潟)、
テイヘンズFC(石川)、新潟経営大学サッカー部(新潟)、
ツエーゲン金沢(石川)
試合の種類： 前売り 500円 当日 500円 (前売り・当日 高校生以下無料)

大会名： 第33回北信越フットボールリーグ AC長野パルセイロホームゲーム
主 催： 北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー協会
主 管： 第33回北信越フットボールリーグ運営委員会、AC長野パルセイロ
期 日： 2007年4月8日・15日、5月13日、6月3日・17日、7月1日・14日
会 場： 南長野運動公園総合球技場、総合球技場アルウィン
参加チーム： フェロヴォローザ石川、白山FC(石川)、Japanサッカーカレッジ(新潟)、
FC上田ジェンシャン、新潟経営大学サッカー部(新潟)、ツエーゲン金沢(石

川)、松本山雅FC(長野)

試合の種類：前売・当日 高校生以上 500円 中学生以下 200円

(財)静岡県サッカー協会

大会名：U-14 ジュビロカップ 2006

主催：ヤマハ発動機(株)、(株)ヤマハフットボールクラブ、(財)静岡県サッカー協会

主管：ヤマハ発動機(株)、(株)ヤマハフットボールクラブ

後援：磐田市、磐田市教育委員会、NPO法人磐田市体育協会、静岡新聞社、静岡放送

協賛：ネスレ日本(株)、プーマアパレルジャパン(株)、プーマジャパン(株)、(株)モルテン、(株)魚政、(有)飯田人形、(株)イシイプランニング、(株)ジェイ・プラッカ、ハニー観光、Jroots Sports International

期日：2006年12月28日(木)～12月30日(土)

会場：(株)つま恋(多目的グラウンドA・B、グリーン広場) 他

参加チーム：静岡県クラブ選抜、ヤマハジュビロ磐田、ヤマハジュビロ浜松、ヤマハジュビロ掛川、他国内29チーム

試合の種類：無料試合

大会名：第22回静岡県ヤングサッカーフェスティバル

主催：(財)静岡県サッカー協会

主管：(財)静岡県サッカー協会東部支部

後援：静岡県教育委員会、沼津市、沼津市教育委員会、スポーツニッポン新聞社静岡支局

協賛：ヤマハ発動機(株)、(株)ヤマハフットボールクラブ

期日：2007年3月4日(日)

会場：静岡県営愛鷹広域公園多目的競技場

参加チーム：日本高校選抜、静岡県高校選抜、ジュビロ磐田ユース、清水エスパルスユース、静岡県中学選抜、県東部中学選抜、静岡県小学選抜、県東部小学選抜

試合の種類：前売 一般・大学生 1,000円 中学・高校生 600円 小学生 300円
親子ペア 1,200円

当日 一般・大学生 1,200円 中学・高校生 800円 小学生 500円

(社)三重県サッカー協会

大会名：第6回伊賀市長杯女子サッカー大会 忍びの里レディーストーナメント

主催：(社)三重県サッカー協会、伊賀市、伊賀市教育委員会

主管：(社)三重県サッカー協会女子委員会

後援：(社)三重県サッカー協会、日本女子サッカーリーグ(Lリーグ)、南アフリカ共和国大使館、三重県教育委員会、伊賀市体育協会、上野国際交流協会、(財)伊賀市文化都市協会

協賛：北伊勢上野信用金庫、JAいがほくぶ、(株)ミカサ、明治製菓(株)

期日：2006年5月4日(木)～5月6日(土)

会場：上野運動公園競技場・野球場、ゆめが丘多目的広場、いがまちスポーツセンター

参加チーム：12チーム

試合の種類：無料試合

大会名：第7回伊賀市長杯女子サッカー大会 忍びの里レディーストーナメント

主催：(財)三重県サッカー協会、伊賀市、伊賀市教育委員会

主管：(財)三重県サッカー協会女子委員会

後援：(財)三重県サッカー協会、Lリーグ、南アフリカ共和国大使館、

三重県教育委員会、伊賀市体育協会、上野国際交流協会、
(財)伊賀市文化都市協会
協 賛： 北伊勢上野信用金庫、J Aいがほくぶ、(株)ミカサ、明治製菓(株)、
(株)デザート
期 日： 2007年3月30日(金)～4月1日(日)
会 場： 上野運動公園競技場・野球場、ゆめが丘多目的広場、阿山第一運動公園
参加チーム： 12 チーム
試合の種類： 無料試合

(社)山口県サッカー協会

大 会 名： 第2回中国フットサルリーグ柳井大会
主 催： 中国サッカー協会、(社)山口県サッカー協会、柳井サッカー協会
主 管： 中国フットサル連盟、中国フットサルリーグ運営委員会、山口県フット
サル連盟、柳井サッカー連盟
後 援： 日本フットサル連盟、柳井市、柳井市教育委員会、柳井市体育協会、
NPO 法人 YANAI スポーツ振興、SA スポーツクラブ
協 賛： (株)モルテン
期 日： 2006年8月6日(日)
会 場： 柳井市体育館
参加チーム： SA ファイターズ、広島 F・DO、奥山蹴球雑技団、HNT
試合の種類： 前売り 1,000 円(高校生以上)500 円(中学生以下)※小学生未満無料
当日も前売りと同一金額

(社)高知県サッカー協会

大 会 名： 2007 トリムカップレディースフットサル大会
主 催： (社)高知県サッカー協会
主 管： 高知県フットサル連盟
後 援： (財)日本サッカー協会、高知県、高知市、南国市、高知県教育委員会、
(財)高知県体育協会
協 賛： (株)トリム
期 日： 2007年3月30日(金)～4月1日(日)
会 場： 南国市スポーツセンター
参加チーム： 18 チーム(関西6、中国5、四国2、九州2、開催地2)
試合の種類： 無料試合

(社)鹿児島県サッカー協会

大 会 名： 2006 年度南日本招待ユースサッカー大会
主 催： (社)鹿児島県サッカー協会
主 管： 鹿児島県サッカー協会高校連盟
後 援： 鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、
鹿児島県体育協会、南日本新聞社
期 日： 12月9日(土)
会 場： 鹿児島県立鴨池陸上競技場
参加チーム： 鹿児島県及び他県の第85回高校サッカー選手権大会出場チーム、
県トレセンユースチーム
試合の種類： 当日 一般 1,000 円、中高生 500 円、小学生・敬老パス持参者無料

6 名義使用

「アジア代表日本」実行委員会

事業名：アジア代表日本

主 催：「アジア代表日本」実行委員会

共 催：九州国立博物館、大宰府天満宮、(財)日本サッカー協会

協 力：NPO 法人アジア太平洋こども会議、(社)つくし青年会議所、アビスパ福岡、CAT

後 援：NHK、日本経済新聞社、西日本新聞社)、大宰府市、大宰府市教育委員会、大宰府市商工会、大宰府観光協会

日 程：6月9日～7月9日

総合企画：日比野克彦 (アーティスト)

<企画概要>

2006 F I F Aワールドカップドイツ開催時期に合わせ、スポーツとアートを融合させた新しい展示催事を九州国立博物館で開催。アジア文化の玄関口である大宰府において、現代の文化交流という視点でワールドカップを捉えるとともに、アジアの代表としての日本という意識を持ち、人と人との係わり合いが文化を築き上げていくことを体感する。

ワールドカップアジア予選に参加した日本を除く 36 カ国の文化を紹介するとともにアジアの国々が一つになって世界に発信する標の制作を一般市民の参加型ワークショップで行う。

<展示概要>

- 作品(F U N E) 36 艘の船 (ワークショップ形式 日比野克彦監修)
- 36 カ国の子どもたちのサッカーをテーマとした絵
- 36 カ国のお宝
- 各国代表ユニフォーム、フラッグ、バッジその他グッズ
- ドイツ本大会でのアジアの人々声援の映像
- ワールドカップの生中継パブリックビュー
- 日本のサッカーミュージアム所蔵のワールドカップ関連品
- 川淵キャプテンのメッセージ

<催事概要>

- 大宰府CUP (F U N Eの制作にエントリーした 36 チームがサッカー大会を行う)
- トークショー (日比野克彦、Jリーガー)
- ワークショップ (アビスパ福岡、日比野克彦)

麒麟ビール(株)、㈱電通

事業名：SAMURAI BLUE PARK

主 催：麒麟ビール株式会社、(財)日本サッカー協会

協 力：日本サッカーミュージアム

期 日：5月28日～ (終了時期は日本代表チームの勝ちあがりによる)

場 所：横浜・赤レンガ倉庫内イベント広場B

入場料：無料

内 容：「SAMURAI BLUE 2006」プロジェクトの一環として日本代表チームとファン・サポーターが一体となり、F I F Aワールドカップドイツ大会で好成績を収め、喜びを分かち合うために開設されるイベントスペース。この「SAMURAI BLUE PARK」は、ドイツ・ボンに設置される「G-JAMPS」と連携し、日本における日本代表チーム応援の前線基地として位置づけられる。

SAMURAI BLUE PARK での主な展開内容は以下の通り。

- ・「KIRIN SUPPORTER'S STATION」

- ① ステージイベント、映像上映
 - ② 特設レストラン「KIRIN BLUE BAR」の設置（ドイツ料理の提供）
 - ③ 応援メッセージコーナー
 - ④ 日本サッカーミュージアム展示
 - ⑤ スポンサー各社のアクティビティ等
- ・フットサル、イベントスペース

キリンビール(株)

事業名：OH! Soccer 2006 in KPO キリンプラザ大阪

①サッカー日本代表展「歴代日本代表の戦譜」

主催：キリンビール株式会社

後援：(財)日本サッカー協会、Jリーグフォト（株）、Jリーグ映像（株）

2002 F I F Aワールドカップ記念日本サッカーミュージアム

協力：adidas Japan（株）

期日：4月22日～6月4日

場所：KPOキリンプラザ大阪

内容：オフト監督の時代から現在に至る日本代表チームの歴史を映像・写真パネルなどで紹介すると共に、2006FIFAワールドカップドイツ大会へのぞむ日本代表チームの応援を、更に盛り上げる各種イベントを展開予定。

②2006 Budweiser サポーターズスタジアム

主催：Budweiser（アンハイザー・ブッシュ社）

後援：(財)日本サッカー協会、Jリーグフォト（株）、Jリーグ映像（株）

協力：adidas Japan（株）／（株）東芝

期日：6月9日～7月10日

場所：KPOキリンプラザ大阪

内容：関西の日本代表サポーターが見て参加して楽しめる各種アミューズメントを展開。

講談社フットボールニッポン編集部

事業名：OH! Soccer 2006 in KPO キリンプラザ大阪

「ドイツ、街、人、そしてスタジアム」展

主催：講談社フットボールニッポン編集部

後援：(財)日本サッカー協会、Jリーグフォト（株）、Jリーグ映像（株）

2002 F I F Aワールドカップ記念日本サッカーミュージアム

協賛：Budweiser（アンハイザー・ブッシュ社）

協力：adidas Japan（株）／（株）東芝

期日：6月9日～7月10日

場所：KPOキリンプラザ大阪

内容：ワールドカップ開催 12 都市の街並み、スタジアムの設計図や試合の様子などを紹介。実際に使用されているスタジアム・シートも使用できるように展示。

法政大学

事業名：法政大学公開講演会

主催：法政大学 S S I 運営委員会

後援：(財)日本サッカー協会

期日：2006年4月27日(木)

会場：東京／法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー26階スカイホール

実施内容：講演 小倉 純二 (財)日本サッカー協会副会長

田嶋 幸三 (財)日本サッカー協会技術委員長

Jリーグ選手協会

事業名：第一三共株式会社共催 Jリーグ選手協会ファミリーサッカークリニック

主催：Jリーグ選手協会

共催：第一三共(株)

後援：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

日時・会場：第1回 6月11日(日) 札幌ドーム サブグラウンド

第2回 6月25日(日) ヴィッセル神戸 練習グラウンド

第3回 7月2日(日) J-ステップ

第4回 9月3日(日) 宮城スタジアム

第5回 9月24日(日) セレッソ大阪 練習グラウンド

第6回 10月15日(日) フクダ電子アリーナ

事業内容：Jリーグ選手協会によるサッカースクール及び第一三共(株)による健康クリニック

参加者：親子 100組 200名

選手・講師 約10名

スタッフ・ボランティア 約40名

清水ナショナルトレーニングセンター

事業名：J-STEP サッカーフロンティア

協力：(財)日本サッカー協会

期日：6月

内容：J-STEP から全国にサッカーを発信することを目的に、指導者を対象として講演会、パネルディスカッション等を行う

(財)福島県サッカー協会

事業名：(社)日本青年会議所 第55回全国会員大会記念事業

「こころで学ぶスポーツフェスタ～親子フットサルスクール in ふくしま～」

主催：(社)日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、(社)郡山青年会議所

後援：福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、
郡山市PTA連合会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、
福島テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、
(財)日本サッカー協会、(財)福島県サッカー協会、福島県南サッカー協会

期日：7月1日(土)～2日(日)

会場：郡山市総合体育館、あづま運動公園陸上競技場 他

参加チーム：福島県内より募集の親子108名(54組)

(財)日本体育協会

事業名：第10回日韓青少年夏季スポーツ交流事業

主催：(財)日本体育協会

共催：(財)新潟県体育協会、(財)愛媛県体育協会、(財)日本サッカー協会、
(財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、
(財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会、新潟県教育委員会、
愛媛県教育委員会

派遣対象：新潟県・愛媛県の小学生(5・6年生)及び中学生 184名

(216名) 各競技指導者 24名

本部役員(日本体育協会 3名、新潟県 2名、愛媛県 3名) 8名

期日：8月16日(水)～22日(火)

会場：韓国/仁川広域市

事業名：平成18年度「体育の日」中央記念行事/子どもの体力向上キャンペーン

元気アップ子どもスポーツフェスティバル

協 力：(財)日本サッカー協会
期 日：10月9日(月)
場 所：東京／国立スポーツ科学センター

事業名：第11回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流
主 催：(財)日本体育協会
共 催：(財)日本陸上競技連盟、(財)日本サッカー協会、(財)日本テニス協会、
(財)日本ソフトテニス連盟、(財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会、
(財)全日本ボウリング協会、(財)日本ゲートボール連合、(社)日本綱引連盟、
(社)日本エアロビック連盟、青森県教育委員会、滋賀県教育委員会
主 管：派遣－(財)青森県体育協会、(財)滋賀県体育協会
受入－(財)青森県体育協会
期 間：派遣－2007年5月31日(木)～6月6日(水)
受入－2007年9月21日(金)～27日(木)
会 場：派遣－大韓民国・蔚山広域市、ソウル特別市
受入－青森県各地(スポレク開催地)
事業内容：日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、さまざまな交流を行うと共に、両国のスポーツの振興を図る。サッカー競技は、平成19年度スポレク祭を開催する青森県から派遣し、同県が受入を行う。

朝日新聞社

事業名：フットボールトークセッション ～決戦前夜
主 催：朝日新聞社、テレビ朝日
後 援：(財)日本サッカー協会
期 日：5月27日(土) 17:00～
会 場：東京・有楽町朝日ホール
内 容：世界の舞台における日本代表の活躍を期待し、関係者・マスコミ・解説者など、サッカーにかかわる様々な人たちが語るイベントを開催。

デュッセルドルフ日本商工会議所

講演会名：「2006 ワールドカップドイツ大会記念講演会」～ドイツへの道～
主 催：W杯ドイツ大会日本代表応援実行委員会
(事務局：デュッセルドルフ日本商工会議所内)
後 援：(財)日本サッカー協会
協 賛：キリンビール、日本航空
会 場：ホテル・ニッコー・デュッセルドルフ「ダ・ヴィンチの間」
期 日：6月11日(日)

日本クラブユースサッカー連盟

事業名：第3回JCYインター・シティ・カップ(U-15) in HIDA 2006
後 援：(財)日本サッカー協会
期 日：8月6日(日)～9日(水)
場 所：岐阜／古川町ふれあい広場・杉崎公園

事業名：第2回西日本インターシティカップサッカーフェスティバル
後 援：(財)日本サッカー協会
期 日：8月11日(金)～13日(日)
場 所：長崎／佐世保市総合グラウンド陸上競技場

(財)健康・体力づくり事業財団

事業名：全国健康・体力づくり推進フォーラム 2006
主 催：文部科学省、(財)健康・体力づくり事業財団
主 唱：体力づくり国民会議
共 催：(社)日本エアロビックフィットネス協会
協 力：(財)日本体育協会、(財)日本レクリエーション協会、(財)日本サッカー協会、
(財)日本キャンプ協会、(財)笹川スポーツ財団、(NPO) クラブネッツ、
(NPO) グローバル・スポーツ・アライアンス、健康日本 21 推進全国連絡協議会 他
後 援：厚生労働省、東京都教育委員会
期 日：11月25日(土)～26日(日)
参加者：一般2,000名、指導者・組織300名
場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

(株)日本フットボールヴィレッジ

行 事 名：平成18年度「スポーツターフ管理者のための研修会」
主 催：(株)日本フットボールヴィレッジ、財団法人都市緑化技術開発機構
後援予定：国土交通省、(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ
開催場所：J ヴィレッジ
定 員：20名
参加費用：1人72,000円(受講料、資料代、宿泊費「1泊に付2食付」)
講習内容：スポーツターフの概要、床構造、プレーイングクオリティー、
管理・運営、その他
※JFAは、初回の平成12年度から後援を続けている。

日本青年団協議会

大 会 名：第55回全国青年大会 (フットサル)
主 催：日本青年団協議会、(財)日本青年館、東京都教育委員会
後 援：文部科学省、(財)日本体育協会、日本放送協会
協 賛：内閣府、農林水産省、厚生労働省、
各道府県教育委員会及び担当主管課、(社)中央青少年団体連絡協議会、
独立行政法人日本スポーツ振興センター、(財)日本陸上競技連盟、
(財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、
(財)日本バドミントン協会、(財)全日本軟式野球連盟、
(財)日本ソフトボール協会、(財)日本卓球協会、(財)全日本柔道連盟、
(財)全日本剣道連盟、(財)全日本ボウリング協会、(財)日本サッカー協会、
特定非営利活動法人日本アマチュア演劇連盟、(社)全日本合唱連盟、
(社)日本将棋連盟、日本体育大学、(財)日本レクリエーション協会、
(財)あしたの日本を創る協会、江戸川区、
特定非営利活動法人テレビ日本美術家協会
期 日：11月11日(土)～11月12日(日)
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟大体育室
試合の種類：無料

日本オリンピックズ協会

事 業 名：平成18年度 オリンピアンふれあい交流事業
後 援：(財)日本サッカー協会
期 日：7月23日(日)～2007年2月11日(日)
場 所：徳島、大阪、東京、長野、栃木、広島、佐賀 各地競技場

2006年第4回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・熊本 実行委員会

事業名：2006年第4回スペシャルオリンピックス日本
夏季ナショナルゲーム・熊本

後援：(財)日本サッカー協会
期日：11月3日(金)～5日(日)
場所：熊本／熊本県総合運動公園 他

(財)日本スポーツクラブ協会

事業名：第8回スポーツクラブセミナー
後援：(財)日本サッカー協会
期日：11月13日(月)・14日(火)
場所：東京都／国立オリンピック記念青少年総合センター

日本フットサル連盟

事業名：日本フットサル施設連盟選手権大会
主催：日本フットサル施設連盟
後援：(財)日本サッカー協会
協賛：(株)アルペン、アコム(株)、日本スポーツコート(株)
協力：(株)モルテン、(株)ミカサ、フットサルマガジンピヴォ！、FUTSAL Navi
期日：9月～12月24日(日)
場所：日本フットサル施設連盟 加盟施設

(財)社会スポーツセンター

行事名：ドリームサッカー2006
開催趣旨：青少年がサッカーを通じて、スポーツの楽しさを肌で体験できる場を提供することにより心身ともに健全な青少年の育成を図る。さらに参加者の自立心・ファイティング・スピリット、協調性等のスポーツマンシップの向上を目指し、子どもたちが夢に挑戦する手助けをする。
内容：元サッカー日本代表で現在(財)日本サッカー協会の国際委員を務める北澤豪氏を特別講師に招き、Jリーガー・コーチ・OBの実技指導とミニゲームを行う。
主催：(財)社会スポーツセンター
会場：味の素スタジアム
日時：2007年2月11日 9:30～
後援：文部科学省、(財)日本サッカー協会、(財)東京都サッカー協会、(財)埼玉県サッカー協会、多摩市、稲城市、埼玉県社会福祉協議会、埼玉新聞、東京新聞、多摩テレビ他
対象：小学生の男女
参加予定人員：462名(42チーム)
参加費：無料(但し、保険加入・ドクター費として1チーム3,000円負担)
表彰：文部科学大臣賞、(財)社会スポーツセンター会長賞、北澤豪賞
※ドリームサッカー2004は、JFAで後援。2005は、申請が遅かった為、後援していない。

(社)宮城県サッカー協会

事業名：第1回ウィンターリーグ・トライアル
後援：(財)日本サッカー協会
期日：2007年1月14日(日)～2月11日(日)
場所：宮城／宮城県サッカー場

(社)富山県サッカー協会

事業名：子供のためのスポーツ・クリニック

後 援：(財)日本サッカー協会
期 日：2007年1月27日(土)、2月10日(土)、17日(土)
場 所：富山／富山県総合体育センター

キヤノンカップ ジュニアサッカー実行委員会

事 業 名：キヤノンカップ ジュニアサッカー2007

主 催：キヤノンカップ ジュニアサッカー実行委員会、
(株)ニッポン放送プロジェクト

主 管：(財)愛知県サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会、(社)横浜サッカー協会

後 援：外務省、文部科学省、(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、
横浜市

特別協賛：キヤノン(株)

期 間：メンバー選考 － 2007年5月～6月

海外遠征 － 2007年7月～8月

会 場：1次選考会－ 神奈川、愛知、兵庫

2次選考会－ 神奈川

海外遠征 － アメリカ・カリフォルニア州

参加チーム：216チーム(予定)

事業内容：選考会によって選ばれた小学4～6年生によるチーム(男女各1チーム)をアメリカの国際少年・少女サッカー大会へ派遣する。

7 標章使用

Jリーグフォト(株)

使用目的：Jリーグフォト(株)ウェブサイト内への掲載

(財)日本サッカー協会が肖像権を保有する写真の貸出しフローを、視覚的にわかりやすく説明するため

(社)岩手県サッカー協会

使用目的：名刺

製作個数：24名分

(社)宮城県サッカー協会

使用目的：名刺

製作個数：15名分

NPO 法人山形県サッカー協会

使用目的：名刺

製作個数：5名分

(財)福島県サッカー協会

使用目的：名刺作製 42名分

北信越サッカー協会

使用目的：①名刺作製 ②封筒角2・長3サイズ ③賞状作製 ④ADカード

製作個数：①3名分 ②各1,000枚 ③500枚 ④25部

(社)富山県サッカー協会

使用目的：①名刺作製 ②ステッカー作製

製作個数：①2名分 ②5,000枚

(社)福井県サッカー協会

使用目的：名刺作製

製作個数：27名分

関西サッカー協会

使用目的：名刺作製

製作個数：33名分

(社)滋賀県サッカー協会

使用目的：①名刺作製 ②チラシ作成

製作個数：①33名分 ②350枚

(社)京都府サッカー協会

使用目的：ホームページへの掲載

(社)和歌山県サッカー協会

使用目的：①IDカード作製 ②名刺作製

製作個数：①23名分 ②1名分

(社)福岡県サッカー協会

使用目的：福岡県フットボールセンター駐車場看板設置に伴い、看板図柄として使用

(社)長崎県サッカー協会

使用目的：①社団法人化に伴うペナント作製 ②ホームページ作成

製作個数：①300個

V 検定球リスト

| (社名) | (商標名) | (製造方法) | (材質) | (枚数) | (号球) |
|------------------|------------------|--------|------|------|-------|
| 1. (株) グローバル | ① ウェルス (オールジャパン) | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ② ウェルス (オールジャパン) | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ③ グローバル フットサル | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 2. (株) セプター | ① セプター | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| 3. (株) モルテン | ① モルテン | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ② モルテン | 貼り | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ③ モルテン | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ④ モルテン | 貼り | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ⑤ モルテン | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| | ⑥ アディダス | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ⑦ アディダス | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ⑧ アディダス | 貼り | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ⑨ アディダス | 貼り | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ⑩ アディダス | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| | ⑪ アディダス | 貼り | 人工皮革 | 14 | 5 |
| 4. (株) ミカサ | ① MIKASA | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ② MIKASA | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ③ MIKASA | 貼り | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ④ MIKASA | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 5. ミズノ (株) | ① ミズノ | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ② ミズノ | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ③ ミズノ | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 6. プーマジャパン (株) | ① プーマ | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | ② プーマ | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | ③ プーマ | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| | ④ プーマ | 縫い | 人工皮革 | 24 | 5 |
| | ⑤ プーマ | 縫い | 人工皮革 | 24 | 4 |
| 7. カメイ・プロアクト (株) | ① FBL-003 | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |

| | | | | | | | |
|-----|-------------|---|-----------------------|----|------|----|-------|
| 8. | (株) ナイキジャパン | ① | ナイキ (NIKE) | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | | ② | ナイキ (NIKE) | 縫い | 人工皮革 | 32 | 4 |
| | | ③ | ナイキ (NIKE) | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 9. | (株) デサント | ① | UJS6500 (UMBRO) | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | | ② | UJS6502 (UMBRO) | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | | ③ | UJS6501 (UMBRO) | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| | | ④ | QA-9511 TRIATOM | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 10. | (株) ウィンスポーツ | ① | サッカーボール | 縫い | 人工皮革 | 32 | 5 |
| | | ② | フットサルボール | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 11. | ゼット (株) | ① | uhlsport (ウールシュポルト) | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| 12. | (株) ROYAL | ① | shadow | 縫い | 人工皮革 | 18 | 5 |
| | | ② | ISO Nation | 縫い | 人工皮革 | 18 | 5 |
| | | ③ | shadow サッカーボール 4号 | 縫い | 人工皮革 | 18 | 4 |
| | | ④ | ISO Nation サッカーボール 4号 | 縫い | 人工皮革 | 18 | 4 |
| | | ⑤ | Meteor | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| | | ⑥ | Cosmos | 縫い | 人工皮革 | 32 | フットサル |
| | | ⑦ | Pro100R | 縫い | 人工皮革 | 18 | 5 |
| | | ⑧ | Pro100R サッカーボール 4号 | 縫い | 人工皮革 | 18 | 4 |

VI 加盟登録チーム・選手数

1 加盟登録チーム・選手数（準加盟含む）

| | 第1種 | 第2種 | 第3種 | 第4種 | シニア | 女子 | 合計 |
|-----|---------|---------|---------|---------|--------|--------|---------|
| チーム | 7,675 | 4,351 | 6,927 | 8,519 | 502 | 1,187 | 29,161 |
| 選手 | 180,693 | 153,058 | 223,522 | 285,841 | 13,221 | 25,545 | 881,880 |

2 フットサル個人登録選手数

| | 15才未満 | | | 一般 | | | 合計 |
|----|--------|-------|--------|--------|-------|--------|---------|
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | |
| 選手 | 64,838 | 4,109 | 68,947 | 47,058 | 8,097 | 55,155 | 124,102 |

Ⅶ キャプテンズ・ミッション

1 平成 18 年度上期 CHQ 業務総括

CHQ 業務全般

- 「CHQ 業務関連指針」を徹底し、各都道府県協会の積極的な活動をサポート、都道府県協会と協働して、日本サッカーの改革・発展を推進した。「CHQ Compliance」に基づき、特に、双方向のコミュニケーション・スピード・期限厳守・会計の透明性を重視した。
- 「JFA2005 年宣言」を多くの関係者と共有し、サッカーファミリーに浸透させ、JFA 事務局および都道府県協会における意識改革と具体的アクションの推進・具現化を図った。組織機構改革と未登録チームの登録推進では、改革をスタートした都道府県協会をフォローし、その取り組みを推進した。
- 全国を積極的に巡回し、「キャプテンズ・ミッション」を地域／都道府県協会を中心に強力に推進した。国内に留まらず国際的な活動も積極的に行い、JFA が 2015 年には世界のトップ 10 に仲間入りできる様、様々な挑戦を行いながら日本サッカーの普及と強化に努めた。

M 1 : 「JFA メンバーシップ制度」の推進 ～JFA メンバー 200 万人構想に向けて～

- JFA 内の各部署と連携したが、全体的な業務推進体制を改善・構築することはできなかった。
- 登録者への全体メリット／ベーシックサービス・カテゴリ毎の個別メリットを検討し、「JFA メンバーズサイト」の将来的な構築の基盤整備も進めた。しかし、未着手のカテゴリもあり、登録制度全体を構築・推進するには至らなかった。
- 「JFA メンバーズサイト」を整備・活用し、登録者に対する積極的な情報提供を行ったが、登録意義／メリットや登録料の活用方法等の明確化・積極的な PR を行うことはできなかった。

M 2 : 施設の確保・活用

- 施設委員会(事業部)・記念事業推進委員会・他のミッション等と連携し、JFA 独自の施設整備支援制度の検討・都道府県協会の活動支援・事例紹介・意見把握等を行い、施設関連団体等とも連携を図った。
- 今後は、プロジェクトでの取り組みを中心に、都道府県フットボールセンター整備推進事業の実施・施設リーフレット／ガイドブックの作成・全国での施設の確保・活用に向けた具体策の検討・実施等が必要である。

M 3 : 「JFA キッズプログラム」の推進

- 「モデル FA」の活動を中心に、全国レベルで「JFA キッズプログラム」の様々な活動を強力に推進した。
- 各都道府県においては、将来に向けた継続的な取り組みとして、キッズを中心に様々な取り組みと連動させ、地域に根差した活動を定着させた。各種ミーティング・海外研修等での J リーグアカデミーとの連携に加え、他スポーツ競技団体や教育団体・自治体・省庁等にも積極的に交流を図り、協働した。
- 2008 年度以降の全国展開の手法や具体的支援策・補助金の金額設定等の基本コンセプトをもとに、各都道府県の実情を踏まえて具体的な展開内容を検討した。

M 4 : 中学生年代の活性化

- 事業部・技術部等と連携し、「トライアル FA 制度」の対象 FA を中心に、中学生年代における諸課題の解決・改善の具体策の検討および都道府県協会との情報共有を進めた。

- 文部科学省との情報交換を行ったが、今後は、中体連等関係各所との積極的情報交換・連携を図り、更に具体的な取り組みを行う必要がある。

M 5：エリート養成システムの確立

- 「リード FA」の活動を中心に、具体的実施プログラム・タレント発掘／養成活動・指導者の養成・保護者への啓発活動等を推進した。
- 取り組み意義の理解促進に向け、都道府県協会を中心に積極的に展開し、各種ミーティング・海外研修等での J リーグアカデミーとの連携や他スポーツ競技団体・教育団体・自治体等、広く世間にアピールした。
- 2008 年度以降の全国展開の手法や具体的支援策・補助金の金額設定等の基本コンセプトをもとに、各都道府県の実情を踏まえて具体的な展開内容を検討した。

M 6：女子サッカーの活性化 ～競技人口の拡大～

- 競技人口の拡大に向け、女子チームを紹介するサイトの新設等の諸施策を推進し、「トライアル FA」の取り組みを中心に様々な活動をサポートした。女子委員会と連携を図り、都道府県協会・都道府県協会女子委員会と情報を共有し、活動を推進した。
- 2008 年度以降の「トライアル FA 制度」の支援策の検討を進めた。

M 7：フットサルの普及推進

- 「トライアル FA」の活動やファミリーフットサルフェスティバルの開催を通じて、各都道府県での課題解決に向けて、様々な事例を全国に積極的に展開し、活性化を促した。
- FIFA の登録や移籍に関する規定の検証はできず、登録制度の内容整理および具体的な改革案策定の検討も今後の課題である。フットサル委員会と連携し、日本体育施設協会等と協働したが、施設や関連団体への提供メリットの検討はできなかった。
- 2008 年度以降の「トライアル FA 制度」の支援策の検討を進めた。

M 8：リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- 「2・3 種リーグ改革プロジェクト」を中心に、CHQ・事業部・技術部等の各種施策とリンクし、普及・強化の両面でのリーグ戦の浸透・意識向上を全国的に推進し、各種リーグ戦の整理・過密日程解消にも取り組んだ。
- 今後は、「JFA 試合運営ガイドブック」・「競技ガイドライン」の改訂および更なる活用策の検討とともに、全国大会の横断的な検証・改善が必要である。

M 9：地域／都道府県協会の活性化

- 双方向コミュニケーションを常に心がけ、各種会議／イベント等に参加し、各都道府県協会の積極的な活動をサポートした。
- 都道府県協会の法人化・常勤事務局体制の整備・会計の透明化を推進した。重要テーマである組織機構改革と未登録チームの登録推進では、都道府県の活動状況・課題等の実態把握や活動支援を行った。
- 「チャレンジ FA 制度」については、対象 FA の活動をフォローアップし、制度の充実を図ったが、今後は好事例の展開が必要である。また、2007 年度以降の支援策の検討を進めた。
- 昨年度提示の「業務指針／マニュアル」をより効果的な資料とするため、位置付けの再検証・内容の改訂を行い、新たに「CHQ 関連業務指針」として都道府県協会と共有し、JFA の運営に反映させる様努めた。

M10：中長期展望に立った方針策定と提言

- ▶ 「JFA2005年宣言」について、多くの関係者と共有し、より多くのサッカーファミリーに浸透させた。JFAにおいては、ワールドカップの経験からの課題抽出および事務局員の意識調査結果のフィードバック等を通じて、「アクションプラン2015」「業務プラン2008」を一人一人が常に意識し、日常の業務に取り組む様努めた。また、人事研修プログラム・業務遂行管理・業務に対する価値観等について検討し、部長を中心に意識改革を推進した。都道府県協会に対しては、好事例を展開し、「JFA2005年宣言」や「キャプテンズ・ミッション」を踏まえた独自の目標設定や具体的アクション等（PDCAサイクル）を推進した。
- ▶ 常に中長期展望に立った広い視野を持って日本サッカー界の動向を見据え、既存の業務内容の検証や取り組むべき新規事業・施策、特に日本サッカー界全体の事業規模拡大に向けての具体的施策を検討した。
- ▶ 「CHQフューチャープロジェクト」では、「JFA2005年宣言」の具現化に加え、CHQ都道府県協会ミーティングの内容、都道府県協会の事業規模拡大や施設の確保・活用等の具体的施策について議論した。
- ▶ シニア年代については「トライアルFA制度」を中心に活性化を図った。

2 平成18年度下期 CHQ業務総括

CHQ業務全般

- ▶ 「都道府県協会チャート」と「都道府県協会収支状況」を発行し、各都道府県協会の事業規模拡大に向けた取り組みのサポートとなる指針を展開した。また2006年度上期に行った47都道府県訪問会議での要望を精査して「JFAメンバーシップ制度基本還元金」の改定を行った。
- ▶ 川淵キャプテンとともに9地域訪問会議をキッズイベントや施設の視察と併せ実施し、各地域の現状把握と情報交換を行った。特に、2007年度事業はじめ都道府県協会の事業規模拡大や会計（組織の整備・連結決算の推進）等についても共通した考えで進むべき方向性を確認・共有した。
- ▶ 記念事業推進委員会から引き継ぐ「サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備助成」と「スポーツ組織マネジメント能力開発事業」を中心にM2の改定とM11の新設を含めた新キャプテンズ・ミッション案を作り、2007年度からの新たな展開に備えた。

M1：「JFAメンバーシップ制度」の推進

- ▶ 2006年度におけるJFAメンバーとしては、キッズ関連事業参加者数等を含めたサッカーファミリーの人数が200万人を超える規模まで達成した。
- ▶ JFA内の各部署と連携し、全体的な業務推進体制を整備しつつも、実質的なアクションには至らなかった。
- ▶ 登録者への全体メリット／ベーシックサービスに関するコンセンサスや、カテゴリー毎の個別メリットの検討・充実、未着手のカテゴリーを含めた各カテゴリーの登録制度についてはまだ議論の段階であり、具体的アクションを起こすには至らなかった。
- ▶ 登録意義／メリットや登録料の活用方法等の明確化や積極的なPRには至らなかったが、「JFAメンバーズサイト」を各カテゴリーに跨って横断的に整備・活用し、登録者に対する情報提供を積極的に行った。

M2：施設の確保・活用

- ▶ 記念事業推進委員会による23ヶ所（22都道府県）の施設整備事業を引き継ぎ、都道府県フットボールセンター整備事業を制度化し（2007年度から2012年度までの6年間で総額18億円を確保）、当該事業における2007年度助成対象案件として、2件（島根／福岡）の交付決定を行った。

- 施設開放や更なる施設の確保・活用という観点については、現状の課題の把握に留まり、施設リーフレット／ガイドブックの作成には至らなかった。しかしながら、「JFA グリーンプロジェクト」の推進を決定し、今後、継続的な取り組みを行うことを決定した。

M 3：「JFA キッズプログラム」の推進

- 「モデル FA」の活動を中心に、全国で「JFA キッズプログラム」の様々な活動を強力に推進し、2007年度については47都道府県協会全てが「モデル FA 制度」に取り組むこととなった。
- 各都道府県においては、将来に向けた継続的な取り組みとして、キッズを中心に様々な取り組みと連動させ、地域に根差した活動を更に定着させた。また、Jリーグアカデミー・4種関連との更なる連携に加え、他スポーツ競技団体や教育団体・自治体・省庁等にも積極的に交流を図り、協働した。
- JFA キッズサッカーフェスティバルに46都道府県157会場で延べ50,895人が参加した。親子・女子・シニア・フットサル等と連携した横断的な取り組みが増加し、フェスティバルがサッカーの導入部門の活動として定着した。

M 4：中学生年代の活性化

- 2004年度から実施した「トライアル FA 制度」の対象 FA の活動報告書等を中心に3年間の活動を振り返りながら、この年代における諸課題の解決・改善の具体策を抽出する様、分析を行った。
- 国体のU-16化に伴い、3種と2種との連携が図り易い環境に変化し、一貫性のある選手育成が行われる様になった。

M 5：エリート養成システムの確立

- 「リード FA」の活動を中心に、複数の都道府県にてアカデミー構想が具体化する等、具体的実施プログラム・タレント発掘／養成活動・指導者の養成・保護者への啓発活動等を推進した。
- JFA としてエリート選定基準等を打ち出すには至らなかったが、「エリート」の概念を広く共有し、2007年度については27都道府県協会が「リード FA 制度」に取り組むこととなった。
- 取り組み意義の理解促進に向け、都道府県協会を中心に積極的に展開し、Jリーグアカデミーとの連携や他スポーツ競技団体・教育団体・自治体等、広く世間にアピールを行った。

M 6：女子サッカーの活性化 ～競技人口の拡大～

- 女子チームを紹介するサイトの設置や「トライアル FA」の活動等、諸施策を行い、2006年度新たに52チームが増加した。また、女子選手数は現在約35,000人で登録数の女性比率は約4.1%割合を占め、2005年度よりも競技人口が拡大した。
- 高校女子サッカー全国高体連加盟手続きに向けた諸準備、組織体制の整備・構築を推進した。
- JFA 女子サッカーフェスティバルに46都道府県154会場で延べ18,000人が参加した。親子サッカーや少人数制ゲームの取り組みが増加し、フェスティバルがサッカーの導入部門の活動として定着した。
- 「トライアル FA 制度」の対象 FA を中心に活動の事例を展開し、情報共有に努めた。

M 7：フットサルの普及推進

- 「トライアル FA」の活動やファミリーフットサルフェスティバルの開催を通じて、各都道府県での課題解決に向けて、様々な事例を全国に積極的に展開した。
- FIFA の登録・移籍に関する規定の検証や、登録制度の内容整理および具体的な改革案策定については、フットサル委員会が中心となって検討することとなった。
- フットサル運営者向けの「フットサル試合運営ガイドブック」を作成し、試合運営ガイドラインの明示、プレーヤーへのマナー遵守の徹底を啓発した。

- 日本体育施設協会等と協力を得ながら、施設に対してアンケート調査を実施し、フットサル体育館利用に関する実態把握した。
- JFA ファミリーフットサルフェスティバルに 47 都道府県 140 会場で延べ 15,000 人が参加した。リピーターチームの増加や、一部の地区ではファミリーフットサルリーグ新設に波及し、全国で活発な取り組みが行われた。

M 8：リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- 「2・3 種リーグ改革プロジェクト」を中心に、地域別ミーティングを通じて、普及・強化の両面でのリーグ戦の更なる浸透・意識向上に努めた。また、2 種年代においてはプリンスリーグに繋がる都道府県リーグ、3 種年代においては都道府県リーグに加え、隣県リーグや地域リーグを推進した。
- 都道府県協会の積極的な姿勢・協力により、望ましい形での「リーグ戦」が多く行われ、会議等を通じて好事例として紹介した。

M 9：地域／都道府県協会の活性化

- 双方向のコミュニケーションを常に心がけ、各種会議／イベント等を通じ、都道府県協会の積極的な活動をサポートした。
- 「都道府県協会チャート」や「都道府県協会収支状況」を制作・展開することによって、更なる活性化に努めた。
- CHQ タスクフォース(組織機構改革と未登録チームの登録推進)では、都道府県の活動状況・課題等の実態把握のためアンケートを実施し、現状分析を行い、都道府県協会と情報を共有した。

M10：中長期展望に立った方針策定と提言

- 「JFA2005 年宣言」について、多くの関係者と共有し、より多くのサッカーファミリーに更に浸透させた。JFA においては、ワールドカップの経験からの課題抽出および事務局員の意識調査結果のフィードバック等を通じて、「アクションプラン 2015」「業務プラン 2008」を推進した。また、人事研修プログラム・業務遂行管理・業務に対する価値観の策定検討等に関する具体的なアプローチとして、部長研修会・事務局運営の改善プロジェクト等に取り組み、また「業務プラン 2010」の策定にも着手した。都道府県協会に対しては、好事例を展開し、「JFA2005 年宣言」や「キャプテンズ・ミッション」を踏まえた独自の目標設定や具体的なアクション等（PDCA サイクル）を引き続き推進した。
- 「CHQ フューチャープロジェクト」では、地域／都道府県協会の活性化の観点から、「JFA2005 年宣言」の具現化・各種支援制度の継続計画・都道府県協会の事業規模拡大・施設の確保・活用(指定管理者制度の活用)等の具体策について議論した。
- シニア年代については「トライアル FA 制度」の対象 FA を中心に、会議等を通じて情報共有を図った。

VIII 2002FIFA ワールドカップ記念事業

1. サッカーを中心としたスポーツ環境整備モデル事業

(1) サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備助成

平成 18 年度「サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備助成」として、次の団体に助成金の交付決定を行い、助成金を交付した。

- ・ 特定非営利活動法人 徳島スポーツビレッジ
- ・ 昭和町／(社)山梨県サッカー協会
- ・ 仙台市
- ・ 独立行政法人 日本万博博覧会記念機構
- ・ 千曲市
- ・ 松山市
- ・ 廿日市市

(2) スポーツ組織マネジメント能力開発事業

平成 18 年度「スポーツ組織マネジメント能力開発事業」として、「JFA スポーツマネジャーズカレッジ 2006」を実施し、次の 28 名が修了した。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ・ 村野晋 | ・ 菅原智美 | ・ 齊藤織恵 |
| ・ 斉藤勉 | ・ 宇田裕治 | ・ 高橋健志 |
| ・ 昼田宗昭 | ・ 成燦溟 | ・ 氏家昭弘 |
| ・ 小岩井俊生 | ・ 中村篤次郎 | ・ 吉田貴宏 |
| ・ 川上恵介 | ・ 竹山勝自 | ・ 井上有希江 |
| ・ 濱崎芳己 | ・ 藤村和樹 | ・ 城内智人 |
| ・ 上田滋夢 | ・ 鬼塚慎一 | ・ 平井秀尚 |
| ・ 長田和茂 | ・ 今井祐樹 | ・ 上地義徳 |
| ・ 新城正樹 | ・ 真田幸明 | ・ 村山勉 |
| ・ 五香純典 | | |

2. 開催地スタジアム利活用事業

平成 18 年度「開催地スタジアム利活用事業」として、次の団体に助成金の交付決定を行い、助成金を交付した。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ・ 札幌市 | ・ 宮城県 | ・ 茨城県 |
| ・ 埼玉県 | ・ 横浜市 | ・ 新潟県 |
| ・ 静岡県 | ・ 大阪市 | ・ 神戸市 |
| ・ 大分県 | | |

3. キャンプ地等支援事業

平成 18 年度「キャンプ地等支援事業」として、次の団体に助成金の交付決定を行い、助成金を交付した。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| ・ 仙台市 | ・ 松本市 | ・ 十日町市 |
|-------|-------|--------|

- ・富山市
 - ・静岡市
 - ・淡路市
 - ・佐伯市
 - ・夕張市
 - ・前橋市
 - ・加賀市
 - ・豊岡町
- ・三国町
 - ・鈴鹿市
 - ・和歌山県
 - ・指宿市
 - ・七飯町
 - ・さいたま市
 - ・小松市
 - ・綾町
- ・藤枝市
 - ・伊賀市
 - ・出雲市
 - ・室蘭市
 - ・鹿嶋市
 - ・妙高市
 - ・豊田市

4. サッカー交流事業（アジアを含む）

平成 18 年度「サッカー交流事業」として、J F A が実施する次の事業を対象に助成を行った。

- ・キッズサッカー普及事業
- ・女子サッカー普及事業
- ・ファミリーフットサル普及事業

5. ミュージアム運営補助事業

平成 18 年度「ミュージアム運営補助事業」として、J F A が実施する「日本サッカーミュージアム」の運営事業を対象に助成を行った。

IX 日本サッカーミュージアム関連事業

日本サッカーミュージアム 報告

(2006年4月1日～2007年3月31日)

〈入場者数〉 ピッチ（地下2階）有料フロア入場者を対象

- 開館（2003年12月12日）から2007年3月31日（土）まで1,019営業日、183,953人の総入場者。
- 有料入場者169,259人（92.0%）、招待者14,694人（8.0%）にご来館いただいた。
- 一日最高入場者数は2006年2月25日（土）の3,110人。
- 一日最低入場者数は2007年1月24日（水）の18人。
- 招待者を含めた平均単価は420.7円（前売り入場券含む）。

- 2006（平成18）年度は305営業日、52,039人（1日平均170.6人）の総入場者。
- 有料入場者48,732人（93.6%）、招待者3,307人（6.4%）。
- 一日最高入場者数は2006年5月5日（祝）の1,176人。
- 一日最低入場者数は2007年1月24日（水）の18人。
- 招待者を含めた平均単価は416.5円（前売り入場券含む）。

- 5月12日（金）入場者14万人達成。佐藤みどりさん（三重県）。
- 6月11日（日）入場者15万人達成。白石将太郎さん（10歳・東京都文京区）。
- 8月12日（土）入場者16万人達成。遠山優晴さん（36歳・茨城県潮来市）。
- 11月17日（金）入場者17万人達成。二宮滋典さん（68歳・大阪府堺市西区）。
- 2月25日（日）入場者18万人達成。松下盛彦さん（44歳・茨城県牛久市）。

〈特別来客〉

- 4月20日（木）タイ・ニコラス（ニュージーランド）オセアニア連盟事務総長。
- 4月26日（水）ハイジ・ストール（元デンマーク女子主将）FIFA女子アンバサダー。
- 5月12日（金）ハمام（カタール）アジア連盟会長、プロリーグ委員会一行。
- 8月1日（火）ファンスカークバイク 南アフリカ環境・観光大臣一行。
- 8月4日（金）シェ（中国協会副会長）東アジア連盟会長一行。
- 8月8日（火）ウイストン・リー（シンガポール）SリーグCEO。
- 11月8日（水）オシム代表監督、反町U-21代表監督。
- 11月14日（火）阪神甲子園球場リニューアル計画担当者一行。
- 11月21日（火）日中韓交流試合に招待された韓国学生42人、日本学生46人。
- 12月6日（水）ヌコサザナ・ズマ南アフリカ外務大臣一行。
- 12月12日（火）アル・カリファ・シェイク・サルマン・ビン・イブラヒム バーレーン協会会長、ジョン・モリス ニュージーランド協会会長、グラハム・シーター ニュージーランド協会CEO。
- 12月17日（日）JFA招待AFC加盟国会長等18人。
- 12月19日（火）林徳嘉チャイニーズタイペイ協会秘書長一行。
- 12月27日（水）オスカー・モツワガエ ボツワナ在日大使。
- 1月21日（日）JFAアカデミー特別プログラム34人。
- 2月16日（金）J.F.セペダ グアム協会理事。
- 3月18日（日）JFAインターナショナルコーチングコース（AFC加盟各国コーチ）一行。
- 3月22日（木）ピア・サンハイゲFIFA女子アンバサダー（デンマーク）、ヤップASEAN連盟ES。
- 3月28日（水）城彰二元日本代表選手。

〈運営〉

- 3月21日（火）～4月2日（日）春休み特別営業期間。
- 4月27日（木）ワールドカップゾーン入口（ピッチ地下2階）プロジェクター交換。
- 4月29日（土）～5月7日（日）ゴールデンウィーク特別営業期間。
- 6月5日（月）ヴァーチャルスタジアム プロジェクターランプ交換
- 6月12日（月）入場券券売機定期保守点検。
- 6月22日（木）収蔵品検索システム定期保守点検。
- 7月9日（日）16:00頃「2ちゃんねる」の呼びかけで「川淵キャプテン批判デモ」を目的に十数人が来館。退館後に館内に貼り紙などがあり、これを撤去。
- 7月10日（月）1階、地下2階映像機器保守メンテナンス。
- 7月17日（祝）開館時よりヴァーチャルスタジアム映像不調。ハードディスクに問題があり、1日上映せず。
- 7月18日（火）ヴァーチャルスタジアム機器保守点検およびディスクを一部入れ替え。
- 7月19日（水）地下2階にて天井より漏水。
- 7月22日（土）～8月31日（木）夏休み特別営業期間を実施。
- 7月28日（金）正午頃、ミュージアム前にて「川淵キャプテン批判」横断幕を掲げる代表ユニフォームを着用した覆面姿の不審者をスタッフが発見、報告。来館者から子どもが怖がるなどのクレームがあり、所轄警察に対応をお願いした。
- 7月30日（日）6人がミュージアム前にて断続的に「川淵キャプテン批判」横断幕を掲げる。
- 7月20日（木）東京都交通局バス「おでかけ2006夏」持参者に割引（100円）。
- 8月12日（土）15:20頃、地下2階テクニカルゾーンに設置してある椅子から4歳女児が落下し、後頭部に裂傷。救急車にて東大病院に搬送。全治3日、通院加療も必要なしとの診察結果だった。
- 8月14日（月）首都圏停電に関しては、館内設備、運営に支障、異常はなかった。
- 8月31日（木）17:20頃震度3の地震発生。運営に支障はなかった。
- 10月12日（木）より有料ゾーン入場者にキリンチャレンジカップのレジャーシート配付開始（先着4,000名）。
- 10月16日（月）～10月30日（月）ロウアー（地下1階）、ピッチ（地下2階）のリニューアル工事のため休館。
- 10月30日（月）収蔵品検索システム定期保守点検およびアップグレード。
- 10月31日（火）13:00リニューアルオープン。先着200名にミュージアムオリジナルTシャツをプレゼント。
- 11月1日（水）午前中JFAハウス消防訓練に参加。
- 12月23日（祝）より年末年始特別営業開始。新年1月8日（祝）まで。
- 12月28日（木）ロウアー（地下1階）入場ゲート機器紙詰まりなどトラブルの点検。
- 1月9日（火）展示用など照明電球取替え多数。
- 2月5日（月）～6日（火）ヴァーチャルスタジアム映像装置保守メンテナンス点検。
- 2月16日（金）ヴァーチャルスタジアム照明機器メンテナンス。
- 3月27日（火）から春休み特別営業期間開始。4月8日（日）まで。

〈展示等〉

- 4月9日（月）「アジア代表日本」（九州国立博物館）、「OH!Soccer2006inKPO」（キリンプラザ大阪）、「藤沢市子ども博物館」に収蔵品貸出。
- 4月25日（火）ピッチ（地下2階）ワールドカップゾーンに入場者がコメントを記入できる「ビッグブルーフラッグ」を設置。
- 5月11日（木）地下2階ピッチエントランス壁面を「SAMURAI BLUE 2006」ロゴに変更。
- 5月12日（金）特別展示「SAMURAI BLUE STADIUM」開始。
- 5月25日（木）特別展示「SAMURAI BLUE STADIUM」にて使用中の写真付きシール機材1台、歴代代表ユニフォームなどを「SAMURAI BLUE PARK」（横浜赤レンガ倉庫）に貸出。

- 6月6日(火)1階「世界の壁」ビジュアルを2006FIFAワールドカップ仕様に変更。
- 6月13日(火)1階「世界の壁」にオーストラリア戦中村選手のゴール位置を簡易掲示。1階「世界の壁」横にブルーリング折鶴を展示。
- 6月14日(水)JAL SAMURAI BLUE 2006 塗装機模型を展示。
- 6月22日(木)1階「世界の壁」にブラジル戦玉田選手のゴール位置を簡易掲示。各所に「ご声援ありがとうございました」の掲示。
- 6月26日(月)1階「世界の壁」ビジュアルを2006FIFAワールドカップ仕様撤去。特別展示「SAMURAI BLUE STADIUM」に写真付きシール機材1台「SAMURAI BLUE PARK」(横浜赤レンガ倉庫)から搬入。
- 6月29日(月)特別展示「SAMURAI BLUE STADIUM」に2006FIFAワールドカップ日本代表3試合の試合球、中村、中田、玉田3選手のユニフォームを展示。
- 7月4日(火)1階エントランスの展示物を一部入れ替え。
- 7月5日(火)1階「世界の壁」に中村(対オーストラリア)、玉田(対ブラジル)両選手のゴール位置を貼付。
- 7月14日(金)地下2階「ワールドカップゾーン」に2006FIFAワールドカップ使用スタジアム仕様のシートを設置。
- 7月31日(月)サニーサイドアップより借用した書道家、武田双雲氏の書「輪」(2m×2m)をヴァーチャルスタジアムに展示。
- 8月9日(水)ヴァーチャルスタジアムにて、メガヴィジョン新作「SAMURAI BLUE 2006」を上映開始。
- 8月16日(水)1階エントランス JFA コーナーに2006FIFAワールドカップに主審として参加した上川氏着用の審判服、3位決定戦メダル、ホイッスルなどを展示。
- 8月28日(月)JFAハウス東南の柱巻ヴィジュアル(日本代表チーム集合写真)を対トリニダード・トバゴに張替え。
- 9月19日(木)AFC U-17選手権トロフィーなどを1階JFAコーナーに展示。
- 10月16日(月)～10月30日(月)ロウアー(地下1階)、ピッチ(地下2階)のリニューアル工事。ロウアーはJリーグ各クラブの情報展示、モニター9台でのJリーグ中継など。ピッチは日本サッカーの歴史を充実させた。
- 11月13日(月)ピッチ(地下2階)リニューアル展示修正などメンテナンス。
- 11月21日(火)特別展示「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2006」を企画展示室にて開始。「FIFA クラブワールドカップ」トロフィーを26日(日)まで展示。また、サッカーゴルフ、キックターゲットコーナーを新設。
- 11月27日(月)ヴァーチャルスタジアム ランプ交換などメンテナンス。ピッチ(地下2階)リニューアル展示修正などメンテナンス。また、地下2階映像機器保守メンテナンス。
- 11月28日(火)Jリーグ杯優勝シャーレ(銀皿)を1階Jリーグコーナーに展示。
- 12月5日(火)6日(水)特別展示「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2006」にトロフィーを再展示。
- 12月11日(月)ピッチ(地下2階)に㈱モルテンの協力により、サッカーボールの説明シートを貼付。
- 12月23日(祝)1階エントランスに「JFA こころのプロジェクト」によるロナウジーニョ選手のメッセージ3枚を展示。
- 12月26日(火)ピッチ(地下2階)臨場館に三浦知、北澤、井原、高木、中山、ラモス選手のプレーシーンを追加。
- 12月28日(木)ロウアー(地下1階)に2006Jリーグ最優秀選手賞受賞のトゥーリオ選手の足型設置。
- 1月24日(水)1階JリーグコーナーにXEROX スーパーカップを展示。
- 2月1日(木)福岡市在住の波多江輝子さんより1970年以降の貴重な物品、雑誌などを多数ご寄贈いただく。
- 2月9日(木)故川本泰三選手着用のベルリンオリンピック時ユニフォームをご子息の川本章夫氏よりご寄贈いただく。
- 2月15日(木)篠島春枝さんより故篠島秀雄氏着用の東京帝国大学のユニフォーム、故竹腰氏(元

JFA 理事長)からの書簡などをご寄贈いただく。

- 2月17日(土) ヴァーチャルスタジアムにてミュージアムウエディング(3回目)を行う。
- 2月21日(水) 東京オリンピック時ユニフォームを元日本代表選手 鈴木良三氏よりご寄贈いただく。
- 3月26日(月) ピッチ(地下2階)にベルリン、東京オリンピック時ユニフォーム、1930年当時の東京帝国大学のセーター、故竹腰氏(元 JFA 理事長)からの書簡などを展示。

〈イベント等〉

- 4月10日(月) カシオ FIFA ワールドカップ 2006 ドイツ決勝カウントダウン時計贈呈式(1階エントランス)。
- 4月24日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「日本代表壮行イベント『勝つぞっ!』記者発表会開催。
- 4月29日(土)～5月7日(日) ゴールデンウィーク特別営業期間、Jリーグ スタンプラリーを実施。
- 4月29日(土) 有料ゾーン入場者先着400人に「なでしこ栽培キット」をプレゼント。
- 4月30日(日) 東京ガーデンパレスとの提携企画「ミュージアムウエディング」を開催。
- 5月5日(祝) 小中学生無料を実施。
- 5月15日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「文京区少年サッカーチーム姉妹都市合同訪問団壮行会」を開催。
- 5月23日(火) ヴァーチャルスタジアムにて「第二回日本サッカー殿堂掲額式典」を開催。
- 5月27日(土) 湯島天満宮 例大祭・神幸祭受け入れ。
- 6月11日(日) JAL SAMURAI BLUE 2006 塗装機ポスター400枚を配付。
- 6月14日(水) JAL SAMURAI BLUE 2006 塗装機ポスター300枚を配布、またステッカーを先着1,000名にプレゼント。
- 7月8日(土) 正午よりヴァーチャルスタジアムにて2回目の「日本サッカーミュージアムウエディング」を実施。12:40より上映再開。
- 8月11日(金) キリンチャレンジカップ(8/9 トリニダード・トバゴ) 来場者プレゼントの紙扇子を先着4,000人にプレゼント。
- 9月10日(日) ヴァーチャルスタジアムにて第3回日本サッカー殿堂掲額式典を開催。14:40より上映再開。
- 10月12日(木) ヴァーチャルスタジアムにて「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2006」組み合わせ抽選会開催。
- 10月23日(月) 「JFA ハウス職員向け公認 D 級コーチ養成講習会」にヴァーチャルスタジアムを使用。
- 10月26日(木) 1階エントランス、ヴァーチャルスタジアムにて JFA グリーティングカード撮影。
- 10月30日(月) 「JFA ハウス職員向け公認 D 級コーチ養成講習会」にヴァーチャルスタジアムを使用。
- 11月6日(月) 「JFA ハウス職員向け公認 D 級コーチ養成講習会」にヴァーチャルスタジアムを使用。
- 11月12日(日) ヴァーチャルスタジアムにて「なでしこリーグ 2006 表彰式」開催。
- 1月24日(水) ヴァーチャルスタジアムにて「日本フットサルリーグ正式名称記者会見」を実施。
- 1月25日(木) ヴァーチャルスタジアムにて「2007 Jリーグ日程発表記者会見」を実施。
- 2月13日(火) ヴァーチャルスタジアムにて「2007 日本代表日程発表記者会見」を実施。
- 2月17日(土) ヴァーチャルスタジアムにて「ミュージアムウエディング」(3回目)を実施。
- 2月27日(火) ヴァーチャルスタジアムにて 19:00よりぴあ主催「ぴあトークバトル」～どうなる!? 2007年 Jリーグ～を開催。ホストは水内猛、栢山南美、出演は澤登正朗、城彰二、岡山一成(柏レイソル)、伊藤宏樹(川崎フロンターレ)。約200名が来場。
- 3月29日(木) ヴァーチャルスタジアムにて「JFA ころのプロジェクト記者会見」を実施。

〈パブリシティ等〉

- 4月24日(月) NHK 教育「知るを楽しむ・この人この世界」(川淵キャプテン) 収録。
- 4月29日(祝) 韓国 MBC 撮影取材。
- 5月5日(祝) テレビ東京ワールドカップ事前番組収録(14日16:00放送)。
- 5月7日(日) 「HOLA DOMINGO」J-WAVE 番組中継。
- 5月9日(火) NHK「おはよう日本」7:10より生中継。「首都圏ネットワーク」撮影収録(11日18:10放送) 番組収録。テレビ朝日「グレートマザー物語(釜本邦茂の母編) 撮影収録(28日18:30放送)。
- 5月11日(木) フジテレビ「めざましテレビ」撮影収録(16日6:55放送)。
- 5月12日(金) 読売新聞夕刊に紹介記事掲載。
- 5月13日(土) 日刊スポーツに特別展示「SAMURAI BLUE STADIUM」記事掲載。テレビ朝日「スーパーモーニング」撮影収録(16日9:30放送)。ヨーロッパ写真通信社撮影取材。
- 5月15日(月) 文京区・文京経済交流会主催の「箱店」(文京シビックセンター5階)に出展。
- 5月16日(火)～6月30日(金) 渋谷駅を基点とした5路線で都営バス「SAMURAI BLUE 2006」一台を運行。
- 5月16日(火) フジテレビ「スーパーニュース」撮影収録(同日18:30放送)。日経BP「団塊の世代へのメッセージ」撮影取材。
- 5月17日(水) NHK「ニュースウオッチ9」撮影収録。フジテレビ「子育てテレビ」撮影収録。「常陽新聞」取材。「るるぶじゃぱん」取材。
- 5月18日(木) フジテレビ「スーパーニュース」撮影収録。NHK「週間ニュース」撮影収録。「群馬よみうり新聞」取材。
- 5月24日(水)～28日(日) 湯島天満宮にワールドカップ最終予選時の大黒選手着用ユニフォームをパブリシティ展示。
- 5月25日(木) 「毎日新聞」東京版に紹介記事掲載。
- 5月27日(土) 「朝日新聞」東京版に紹介記事掲載。
- 5月28日(日) 「週刊サッカーマガジン」撮影取材(6/12No.1083に掲載)。フジテレビ「週刊フジテレビ批評」撮影収録。
- 5月31日(水) 日本テレビ「THE ワイド」ミュージアムウエディング取材撮影収録(6月13日放送)。「エフエム岩手」電話インタビュー取材収録。
- 6月1日(木) 東京都交通局とのタイアップで都営地下鉄各駅にポスター掲示、都バスパンフレット「乗り隊歩き隊蹴球号」配付。
- 6月1日(木) NHK 北海道「ほくほくテレビニュース」撮影取材(6日18:10放送)。
- 6月3日(土) フジテレビ「スーパーニュース」17:45より生中継。
- 6月4日(日) 「FM FUJI」取材。
- 6月6日(火) 「共同通信社」文化部、撮影および取材。
- 6月8日(木) 「東京楽天地」取材。
- 6月18日(日) 東京都交通局オリジナルバスカード限定3,000枚発売発行。
- 6月14日(水) 日本テレビ「真相報道バンキシャ!」撮影収録(11日18:30放送)。
- 6月16日(金) NHK ラジオ第一「ラジオタ刊」18:20より電話インタビュー生中継。「テレビ愛媛」取材収録。
- 7月27日(木)～8月26日(土) 東京メトロ千代田線にて窓上広告掲示。
- 8月29日(火) 韓国「X-Sports」(スポーツ専門チャンネルテレビ) 取材収録。
- 9月4日(月) 地下2階にてスカイパーフェクトTVプロモーション番組「川淵三郎-金子勝彦対談」収録。
- 9月6日(水) 韓国「X-Sports」(スポーツ専門チャンネルテレビ) 取材収録。
- 9月15日(金) 「週刊サッカーマガジン」収蔵品撮影取材(10/10No.1103に掲載)。
- 9月19日(火) フジテレビ739「サッカー日本代表TV」で殿堂掲額式典を放送。
- 10月27日(金)～11月26日(日) 東京メトロ丸の内線、都営地下鉄大江戸線、東武線、にてリニューアルオープン窓上広告掲示。
- 10月末より「R25」、「Number」など数誌にリニューアル広告出稿。

- 10月31日(火) 10:30よりリニューアルオープン メディア内覧を行う。
- 11月1日(水) 「日刊スポーツ」などスポーツ紙にリニューアルオープン記事掲載。
- 11月8日(水) 「るるぶ」取材。
- 11月9日(木) 地域情報誌「空」取材。
- 11月28日(火) 「スポーツ報知」にJリーグ杯優勝シャーレ(銀皿) 展示記事掲載。
- 12月1日(金) 「日本経済新聞」首都圏版取材(12月9日掲載)。
- 12月18日(月) BSデジタル放送5局共同編成番組「The WORD」取材(12月28日より順次放送)。
- 1月10日(水) 「JFA少年サッカー手帳」撮影取材。
- 1月12日(金) 「Jリーグユニフォームガイド」撮影取材。
- 1月24日(火) 東京ケーブルテレビ「金花商店街」収録取材。
- 1月26日(金) 「月刊体育施設」取材。
- 2月16日(金) 湯島天満宮「梅まつり」に案内看板を設置。3月8日まで。
- 2月22日(木) 産経新聞「ミュージアム通信」掲載。UEFAテレビ撮影取材。
- 3月2日(金) SportsLink International(香港メディア) 11日刊紙取材。

〈その他〉

- 10月26日(木) 文京区、文京アカデミーの呼びかけた「文の京ミュージアムネットワーク」結成会議に出席。区内19美術館・博物館(印刷博物館、東大総合研究博物館、野球博物館など)、4庭園(小石川後樂園、六義園など)が参加。座長は樺山紘一印刷博物館長。
- 1月20日(土) JFAアカデミー特別プログラムにて、カップ・トロフィーなどの参考資料、物品を提供。
- 2月21日(水) 第2回文の京ミュージアムネット全体会議に出席。
- 3月9日(金) 11月開催予定の「文の京ミュージアムフェスタ」実行委員会に出席。

〈総括〉

- 昨年度に引き続き、関係各部、各所の協力もあり、大きなトラブルも無く1年間運営することができた。
- 入場者に関しては、ワールドカップ開催年度ということもあり、70,000人を目標数としたが、約52,000人とどまった。ゴールデンウィーク以降、ワールドカップで日本代表が敗れるまでは、平日を含め目標を大幅に更新する入場者数を記録したが、その後は伸び悩み、夏休み以降も昨年度を下回った。10月のリニューアルにより客足は若干戻ったが、総数では昨年を下回った。
- ヴァーチャルスタジアムではワールドカップグループリーグ3試合を中心にした新コンテンツ「SAMURAI BLUE2006」を公開。
- 特別展は、昨年度から引き続き「2006Jリーグ展」、FIFAワールドカップ2006日本代表チーム応援企画「SAMURAI BLUE STADIUM」、また昨年同様に「TOYOTA プレゼンツ FIFAクラブワールドカップ ジャパン 2006 展」を実施した。
- 5月、9月に日本サッカー殿堂掲額式典を開催。今後は毎年1回(9月10日)の掲額式典を開催する予定。